



令和元年度

伊勢原市まちづくり

市民意識調査報告書

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収状況	3
4. 標本誤差	3
5. 報告書の見方	4
第2章 調査回答者の属性	5
1. 性別	7
2. 年齢	7
3. 世帯の状況	7
4. 本市での居住年数	7
5. 居住地区	8
6. 職業	8
第3章 調査結果〔40本の施策〕	9
1. 調査項目	11
2. 集計方法	11
3. 施策とこれまでの主な取組一覧	12
4. 施策別調査結果集計表	17
5. 評価点	23
6. 満足度と重要度の相関図による分析	33
7. 基本政策（10本）との相関分析	36
8. 地区別の満足度と今後の重要度	40
9. 調査結果のまとめ	47
第4章 調査結果〔その他〕	57
1. 今後のまちづくりについて	59
2. 「しあわせ」実感について	63
3. 市政情報について	67
4. 伊勢原に対する愛着や誇り等について	74
第5章 自由意見	79
第6章 使用した調査票	89

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市が推進するまちづくりへの意見をアンケート形式で伺い、第5次総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）に掲げる施策等に対する市民の現状の「満足度」、今後の「重要度」などを把握し、後期基本計画の施策評価に活用するとともに、次期総合計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- （1）調査対象：3,000人（無作為抽出による伊勢原市に居住する18歳以上の市民）
- （2）調査方法：調査票の配布は郵送、回収は郵送又はインターネット回答
- （3）調査期間：令和元年10月31日（木）～11月22日（金）
- （4）調査項目
 - ①回答者属性
 - ②伊勢原市のまちづくり施策
 - ③伊勢原に対する愛着や誇りなど
 - ④「しあわせ」実感
 - ⑤今後のまちづくり
 - ⑥市政情報の入手方法など

3. 回収状況

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,366件	45.5%

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（伊勢原市に住む18歳以上の市民）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

＜標本誤差算出式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N＝母集団数（伊勢原市18歳以上の男女）
 n＝比率算出の基数（回答者数）
 p＝回答の比率（％）

第1章 調査の概要

回答比率(p) 回答者数(n)	5%又は 95%程度	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
100	±4.27%	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
200	±3.02%	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
500	±1.91%	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
1,000	±1.35%	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
1,366	±1.16%	±1.59%	±2.12%	±2.43%	±2.60%	±2.65%
5,000	±0.60%	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の信頼度は95%である。

注／標本誤差表の見方

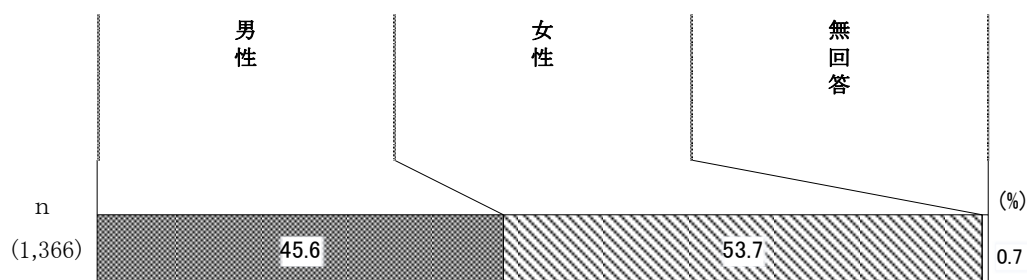
今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算したのが、上表である。この表の見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,366人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.60%以内（57.40～62.60%）である」とみることができる。

5. 報告書の見方

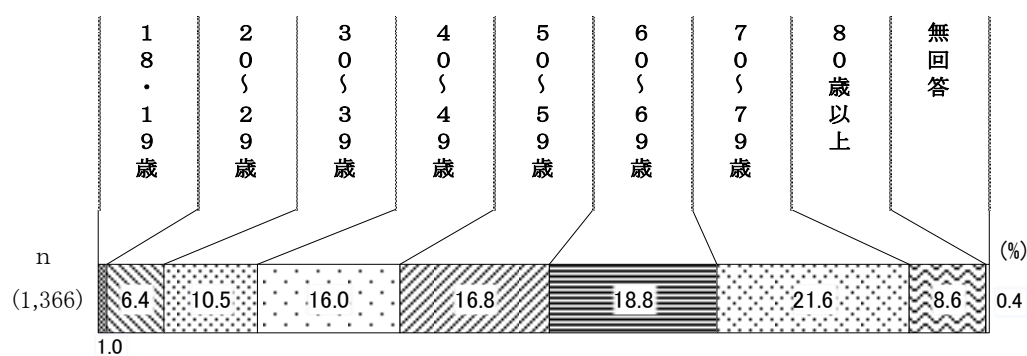
- ・図表中のnとは回答者数のことである。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響により、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。

第 2 章 調査回答者の属性

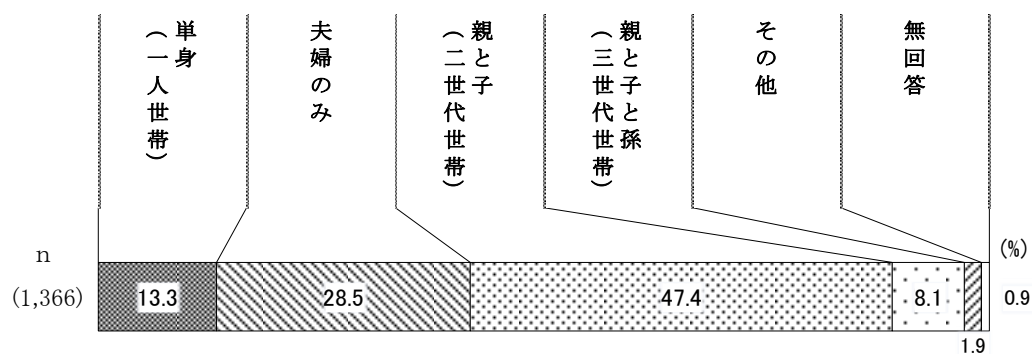
1. 性別



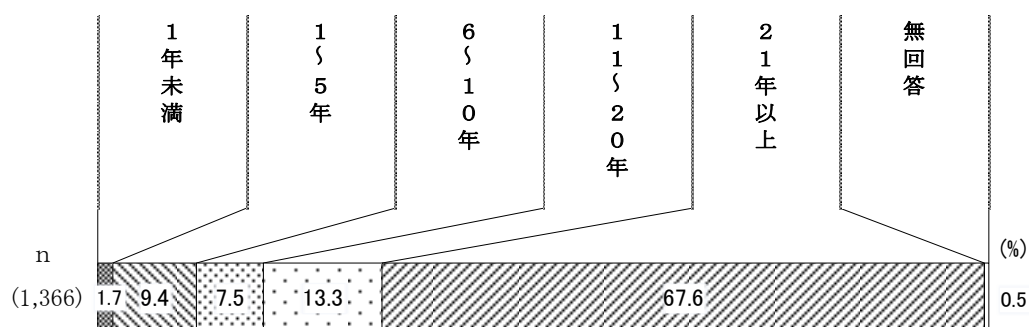
2. 年齢



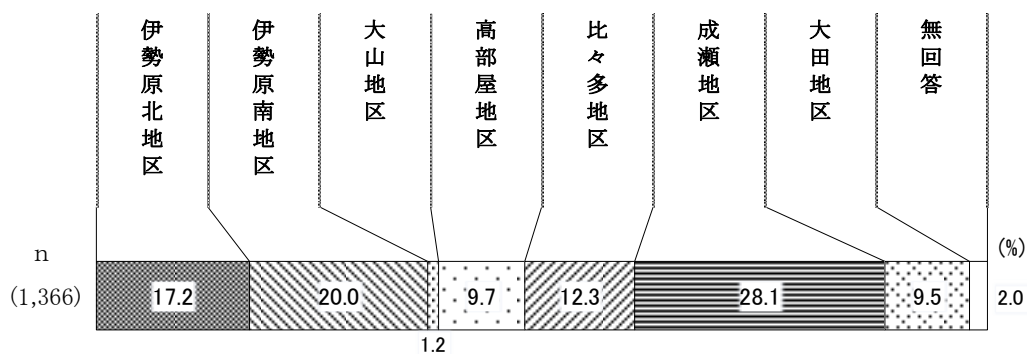
3. 世帯の状況



4. 本市での居住年数



5. 居住地区

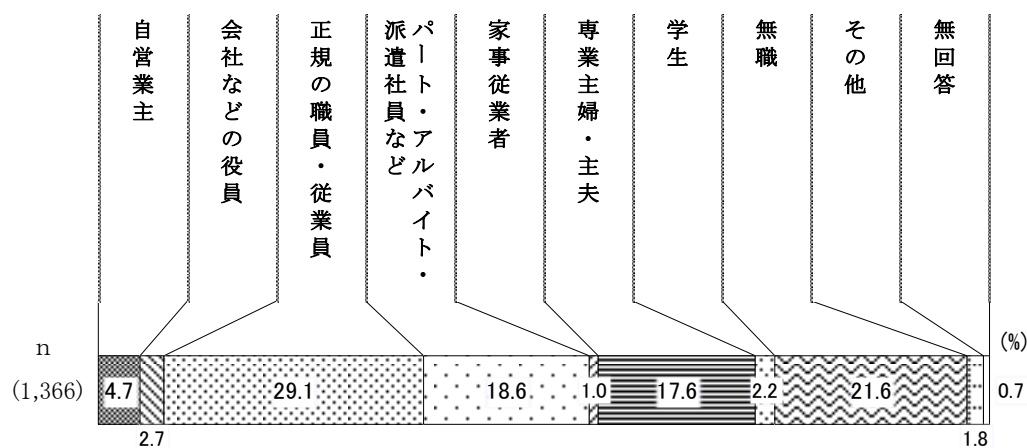


居住地区

地区分類	町丁名
伊勢原北地区	東大竹1～2丁目、田中、板戸、伊勢原1～4丁目
伊勢原南地区	池端、東大竹、岡崎、八幡台1～2丁目、桜台1～5丁目
大山地区	大山、子易
高部屋地区	上粕屋、西富岡、日向
比々多地区	神戸、串橋、坪ノ内、笠窪、善波、白根、三ノ宮、鈴川、大住台1～3丁目
成瀬地区	下糟屋、東富岡、栗窪、高森、高森1～7丁目、石田、見附島、下落合、東成瀬、高森台1～3丁目、歌川1～3丁目
大田地区	上谷、下谷、小稲葉、上平間、下平間、沼目、沼目1～7丁目

※地区分類は、自治会の区域分類としているが、町丁名と一致していない地区がある。

6. 職業



第 3 章 調査結果〔40本の施策〕

1. 調査項目

平成30(2018)年度から令和4(2022)年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画が掲げる40本の施策について、施策ごとに「満足度」及び「重要度」を調査した。

また、まちづくり全般に対する意見を伺った。

5つの力	基本政策	施策本数
暮らし力	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	5
	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	3
	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	5
安心力	災害に強い安全なまちづくり	3
	暮らしの安心がひろがるまちづくり	4
活力	産業の活力があふれる元気なまちづくり	5
	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり	2
都市力	自然と調和した住みよいまちづくり	4
	快適で暮らしやすいまちづくり	5
自治力	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	4

2. 集計方法

①施策に対する現状の評価と今後の重要度

現状の満足度及び今後の重要度について、単純集計に加え、回答者の選択肢の「満足である」と「やや満足である」を合わせた「満足」と、「あまり満足でない」と「満足でない」を合わせた「不満」の集計を行った。（重要度についてもこれに準ずる。）

なお、百分比は回収数を100%としているため、項目ごとに100%にならない場合がある。

②評価点

現状の満足度及び今後の重要度をそれぞれ4段階評価で聞いた。

また、「満足度」「重要度」を下表の数値評価に置き換え、加重平均にて評価点を算出した。

評価点が高いほど「満足度」では満足、「重要度」では重要と考えている指標となる。

17ページから22ページは分野ごとに分野別平均点を出し、さらに施策ごとに上段に回答者比率を、下段に評価点の平均値を記載している。

また、市域7地区別及び年齢別のクロス集計を行った。

<満足度>

評価	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない
評価点	2点	1点	－1点	－2点

<重要度>

評価	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
評価点	2点	1点	－1点	－2点

3. 施策とこれまでの主な取組一覧

【暮らし力】

施策 01	こころと体の健康づくりの推進
健康づくりの支援や生活習慣の改善を促し、いつまでも心身ともに健康に暮らせる環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・糖尿病予防等の健康教育や、保健師・栄養士による相談助言の実施 ・各種がん健診や、健康バス測定会の実施 など	
施策 02	安心できる地域医療体制の充実
いつでも適切な医療を受けられるよう、地域の医療環境と救急医療体制の維持を図ります。	
■これまでの主な取組 ・かかりつけ医の普及・定着に向けた講座などの開催 ・安定した救急医療環境を確保するための財政支援の実施 など	
施策 03	多様な連携による地域福祉の推進
共助に関する理解を促進し、市民や事業者と連携しながら、地域の福祉活動が活発なまちづくりを推進します。	
■これまでの主な取組 ・地域住民による支え合い組織への側面支援 ・成年後見制度^(※1)の利用促進及び市民後見人の育成 など (※1) 判断能力が不十分な人や加齢に伴い将来に不安がある方などを、法的に保護し、支えるための制度	
施策 04	高齢者の地域生活支援の充実
高齢者の社会参加を促すとともに、地域で生活を支える仕組みをつくり、高齢者がいつまでも自分らしく暮らせる環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・介護予防教室の開催やミニデイ（サロン）の活動支援 ・地域包括支援センター^(※1)による高齢者とその家族への支援 など (※1) 高齢者や介護のことでお困りの方などの地域の総合相談窓口	
施策 05	障がい者の地域生活支援の充実
障がい者の地域での暮らしや就労を支援し、障がい者が住み慣れた地域で生活できる環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・相談支援事業所の機能強化や、設置箇所の増設 ・就労移行支援^(※1)などの実施 など (※1) 一般企業等へ就労を希望する方の能力向上のための訓練支援	
施策 06	子育て家庭への支援の充実
子育て家庭の相談・交流の場の提供や、経済的支援を通じて、子育てしやすい環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・地域の子育て支援拠点として、子育て支援センターや「つどいの広場」、「子育てひろば」を運営 ・妊婦健康診査費用や妊婦歯科検診費用の助成 など	
施策 07	多様な働き方が選択できる保育の充実
保育環境の充実により、仕事と子育てを無理なく両立できる環境を整備します。	
■これまでの主な取組 ・保育の提供体制の拡充に向けた保育関連施設の整備 ・児童コミュニティクラブの効率的な運営の推進 など	
施策 08	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進
子どもや若者が安全・安心な環境で健やかに成長し、自立できる環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・放課後の児童の安心・安全な居場所として、地域住民の協力を得て行う「放課後子ども教室」の新規開設 ・青少年に関する相談や街頭指導の実施 など	

施策 09 きめ細やかな教育の推進	
社会環境の変化や個々のニーズに対応した指導体制の充実により、児童生徒の成長を支える環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・小・中学校へのALT（外国語指導助手）の配置や小学校高学年における教科担当制の推進 ・スクールカウンセラーや教育相談員の配置 など	
施策 10 安全で快適な教育環境の整備	
児童生徒の心身の健やかな成長を支えるために、安全で快適な教育環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・普通教室等へのエアコン設置や、小中学校校舎・体育館におけるトイレの洋式化などのリニューアルの推進（R元年度2施設リニューアル） ・令和2年1月から試行する中学校給食の導入に向けた準備 など	
施策 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	
市民が生涯にわたって学習できる機会を充実させ、様々な世代の交流や地域の活性化を促します。	
■これまでの主な取組 ・市民活動団体や地域団体との連携事業の実施（いせはら市民大学講座 など） ・図書館事業を支援するボランティアの育成・支援講座の開催 など	
施策 12 誰もが親しめるスポーツ活動の推進	
市民誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境を整えます。	
■これまでの主な取組 ・市選手権大会、市総合体育大会、スポーツ指導者養成講座の実施や、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加 ・タグラグビーや、パラリンピックの正式競技種目であるボッチャなどの教室や講習会などの実施 など	
施策 13 歴史・文化遺産の活用と継承	
文化財の保護や多角的な活用により、様々な人が本市の歴史や文化に親しみ、継承していく仕組みづくりを推進します。	
■これまでの主な取組 ・展示会や文化財ウォークなどの文化財関連イベントの開催 ・日本遺産事業を推進する伊勢原市日本遺産協議会の運営支援 など	

【安心力】

施策 14 みんなで取り組む地域防災力の強化	
地域住民や事業者等と協働し、地域の防災体制を整えます。	
■これまでの主な取組 ・防災アドバイザー制度の創設や防災協力事業所数の拡大に向けた取組 ・大規模災害の発生を想定した総合防災訓練の実施 など	
施策 15 いざという時の危機対応力の強化	
様々な災害や危機事態から市民を守る、危機管理体制を強化します。	
■これまでの主な取組 ・民間事業者などとの災害時協力協定の締結に向けた取組 ・新東名高速道路の高架下を利用した中央備蓄倉庫の整備に向けた取組 など	
施策 16 被害を最小限に抑える減災対策の推進	
平時からの計画的な備えにより、災害による被害が最小限となるまちづくりを推進します。	
■これまでの主な取組 ・公共下水道の耐震対策工事・浸水対策工事の実施 ・浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの情報を掲載するハザードマップの更新に向けた取組 など	

施策 17 地域とともに取り組む防犯対策の推進
地域における防犯体制の整備と防犯意識の啓発により、安全なまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・防災、防犯などに関する緊急情報や、市民生活に役立つ情報を配信する「いせはらくらし安心メール」の運用 ・犯罪の発生抑止などを目的とした防犯カメラの設置 など
施策 18 迅速で適切な消防・救急体制の強化
市民の生命や財産が守られ、安全・安心を実感できるまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・消防水利が不足する地域への消火栓の計画的な整備 ・新東名高速道路のトンネル災害に対応する資機材の整備 など
施策 19 人権尊重・男女共同参画社会の推進
すべての人が尊重され、男女が自らの意思で様々な分野の活動に参画できる社会を築きます。
■これまでの主な取組 ・男女共同参画フォーラムや啓発講座の開催 ・児童や高齢者、障がい者に対する虐待の未然防止に向けた啓発の実施 など
施策 20 平和と多文化共生社会の推進
平和な社会を次代へ継承するとともに、国籍などの異なる人々が、多様な価値観を認め合いながら、ともに暮らせる社会を築きます。
■これまでの主な取組 ・平和の尊さを未来へ語り継ぐ「平和のつどい」の開催 ・外国籍市民などとの交流活動の実施 など

【活力】

施策 21 地域を支える商業・工業の振興
地域経済を支える工業やまちに賑わいを生む商業の振興により、地域経済の活性化を図ります。
■これまでの主な取組 ・関係機関などと連携した企業誘致活動の実施 ・商店街活性化イベントへの支援や、空き店舗補助金制度を活用した創業者などへの支援の実施 など
施策 22 誰もが働きやすい環境の整備
女性や高齢者等、様々な人々が市内で自分の希望に沿って働くことのできる環境を整えます。
■これまでの主な取組 ・関係機関などと連携した創業相談や創業セミナーの実施 ・ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催 など
施策 23 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
農業経営の安定化と農畜産物の付加価値向上により、持続的に農業が営まれる環境づくりを推進します。 また、市の貴重な財産である森林資源が、次代に確実に引き継がれる環境を整えます。
■これまでの主な取組 ・担い手への農地の集積、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲や防除対策の実施 ・関係機関との連携による地域ブランド「日本遺産のまち 伊勢原うまいものセレクト」制度の立ち上げ など
施策 24 魅力ある観光の振興
地域資源等を活用した交流の活性化により、1年を通じて国内外から多くの観光客で賑わうまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・観光行事・イベントの実施や観光客の受入態勢の強化 ・日向地区におけるハイキングコースの整備や、比々多地区における観光企画イベント・登山道修繕の実施 など

施策 25 シティプロモーションの推進
積極的な情報発信により市内外に伊勢原の魅力を分かりやすく伝え、認知度や都市イメージの向上、愛郷心の醸成を図ります。
■これまでの主な取組 ・市公式イメージキャラクター「クルリン」の活用 ・若者のアイデアを活かしたシティプロモーション動画の作成・配信 など
施策 26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出
新たな産業用地の創出によって、企業を集積し雇用機会を拡充することで、地域経済の活性化を図ります。
■これまでの主な取組 ・成瀬地域の東部第二土地区画整理組合に対する技術的・財政的支援 ・高部屋地域の伊勢原大山インター周辺地区における、土地区画整理組合の設立に向けた取組 など
施策 27 交流がひろがる拠点の形成
伊勢原駅周辺の市街地整備が進み、多くの人が行き交う賑わいのあるまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・都市計画道路伊勢原駅前線の用地先行取得 など

【都市力】

施策 28 個性と魅力あふれるまちづくりの推進
様々な主体との協働により、豊かな自然や地域の魅力を生かした景観まちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・大山地区における景観まちづくりの考え方をまとめた「大山まちなみ継承地区ガイドライン」の作成 ・景観写真展及び景観シンポジウムの開催や、地域景観資源の登録 など
施策 29 快適で親しみのある地域づくりの推進
市民が主体となって取り組む良好で身近な生活環境づくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・ポイ捨てなどの防止パトロールや監視カメラの貸し出しの実施 ・公園の美化活動を推進する公園愛護会への支援 など
施策 30 自然共生社会の構築
市民の自然環境を大切にする意識を高め、人と自然が共生できる地域づくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・市民環境団体との協働による環境啓発イベントの開催 ・単独処理浄化槽^(※1) などから合併処理浄化槽^(※2) への転換に対する補助の実施 など (※1) トイレの汚水のみを処理し、浄化する浄化槽 (※2) トイレの汚水だけでなく、台所、お風呂の雑排水も一緒に処理する浄化槽
施策 31 低炭素・循環型社会の構築
限りある資源を有効に活用することにより、環境負荷の少ない持続可能な社会を構築します。
■これまでの主な取組 ・市民向け省エネルギーセミナーの開催や、みどりのカーテン育て方教室の実施 ・燃やすごみのうち、せん定枝などの資源化の推進 など
施策 32 地域公共交通の充実
公共交通の利便性の向上により、安全・安心に移動できるまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・公共交通事業者と連携した、公共交通の利用啓発や情報提供の実施 ・国やバス事業者との協調によるノンステップバス^(※1) 導入の促進 など (※1) 乗降ステップをなくし、高齢者や児童にも乗り降りが容易なバス

施策 33 安全な交通環境の整備
歩行空間の改善や交通ルール遵守とマナー向上により、誰もが安全に移動できる環境づくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・通学路点検などに基づく歩道整備工事などの実施 ・小中学校などにおける、警察などと連携した交通安全教室の開催 など
施策 34 都市の機能を高める基盤施設の整備
広域幹線道路や市域の幹線道路、公共下水道の整備などにより、都市の機能向上と快適な生活環境の充実に努めます。
■これまでの主な取組 ・都市計画道路田中笠窪線の整備推進や、新東名高速道路等の広域幹線道路の整備促進（H31年3月新東名 厚木南IC～伊勢原JCT開通） ・公共下水道未整備地区の解消に向けた整備工事の実施 など
施策 35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進
公共施設やインフラの適切な維持管理や有効活用により、公共施設を長期間にわたり安全・安心に利用できる環境をつくります。
■これまでの主な取組 ・震災時の緊急輸送路などに位置付けられている橋りょうの修繕や耐震化の実施 ・大田公民館と大田ふれあいセンターとの機能統合や、公共施設使用料見直しの実施 など
施策 36 みんなで楽しめる公園づくりの推進
魅力ある公園づくりや公園の計画的な維持管理を推進することにより、多くの市民が集い、憩える場を形成します。
■これまでの主な取組 ・総合運動公園の再整備に向けた実施設計の実施 ・スポーツ施設の更新や身近な公園の老朽化した遊具などの更新整備の実施 など

【自治力】

施策 37 市民協働と地域コミュニティの活性化
自治会をはじめとする様々な主体が協働しながら、地域課題の解決に取り組む自律的なまちづくりを推進します。
■これまでの主な取組 ・市民活動を支援する市民活動サポートセンターの運営 ・運営交付金や地域集会所修繕の補助などによる自治会活動への支援 など
施策 38 市民に身近な市役所づくりの推進
市民誰もが必要とする情報を共有し、行政サービスを容易に利用することができる透明性の高い行政運営を推進します。
■これまでの主な取組 ・広報いせはらや公式ホームページなどの充実に向けた取組 ・マイナポータル^(※1) による子育てワンストップサービスへの対応 など （※1）子育てに関する手続きなどができる、政府が運営するオンラインサービス
施策 39 健全で安定した財政運営の強化
財政健全化の推進により、将来にわたって持続可能な財政構造の構築を図ります。
■これまでの主な取組 ・財政健全化の実現に向けた、事務事業や補助金の見直しなど、歳出の節減合理化の取組 ・債権差押を中心とした滞納処分の強化や、不動産や自動車などの差押財産の公売の推進 など
施策 40 市民に信頼される市政の推進
市の財源、組織、職員などの効果的な活用により、市民に必要な行政サービスを適切に提供します。
■これまでの主な取組 ・市役所職員の定員の適正な管理 ・様々な分野における課題解決を目的とした産業能率大学との連携・協力に関する包括協定の締結 など

4. 施策別調査結果集計表

問 この項目では、「伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画」に掲げる40本の施策に関する現状の満足度や今後の重要度についてうかがいます。

回答欄の左側にある施策の概要等をお読みいただき、あなたの実感やお考えに近いものを、それぞれ1つ選んで番号に○を付けてください。

各施策の評価点は、下式をもとに算出した。

$$\frac{(\text{「満足である」} \times 2 \text{ 点}) + (\text{「やや満足である」} \times 1 \text{ 点}) + (\text{「あまり満足でない」} \times (-1 \text{ 点})) + (\text{「満足でない」} \times (-2 \text{ 点}))}{\text{回答者数}}$$

回答者数

※回答者数には無回答を含む

※重要度でも算出方法は同様である。

評価点は-2.00点～2.00点の間に分布し、0.00点が中間点、2.00点に近いほど評価は良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことを表す。

①施策別評価点「暮らし力」

基本政策：健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
こころと体の健康づくりの推進	16.5	48.0	26.8	5.5	3.1	52.0	34.3	8.9	1.1	3.7
	0.43					1.27				
安心できる地域医療体制の充実	23.0	46.1	23.0	4.6	3.3	64.8	27.4	4.1	0.6	3.1
	0.60					1.52				
多様な連携による地域福祉の推進	12.7	46.1	32.4	4.5	4.2	49.3	36.8	9.4	1	3.5
	0.30					1.24				
高齢者の地域生活支援の充実	16.1	47.2	26.7	5.9	4.1	58.1	30.6	6.1	2.3	2.8
	0.41					1.36				
障がい者の地域生活支援の充実	14.3	45.2	29.5	5.9	5.2	52.7	34.8	6.7	1.7	4.1
	0.33					1.30				
分野別平均点	0.41					1.34				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

基本政策：子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
子育て家庭への支援の充実	15.9	42.5	26.7	8.3	6.6	61.6	27.4	4.4	1.5	5.1
	0.31					1.43				
多様な働き方が選択できる保育の充実	14.2	41.7	29.4	7.2	7.5	61.4	26.1	5.4	1.5	5.5
	0.26					1.40				
次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	15.2	41.4	30.5	7.1	5.9	57.3	30.8	6.5	1.4	4.0
	0.27					1.36				
分野別平均点	0.28					1.40				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

基本政策：人がつながり未来を拓く 学び合うまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
きめ細やかな教育の推進	13.3	45.4	27.8	6.0	7.5	54.4	32.2	6.4	1.8	5.2
	0.32					1.31				
安全で快適な教育環境の整備	19.8	42.6	24.2	6.7	6.8	57.1	29.9	6.9	1.3	4.8
	0.45					1.35				
学習成果を生かせる生涯学習の推進	15.0	45.5	28.9	3.9	6.7	31.5	44.8	16	3.0	4.8
	0.39					0.86				
誰もが親しめるスポーツ活動の推進	17.0	43.9	27.8	6.2	5.1	27.9	42.0	21.4	5.3	3.4
	0.38					0.66				
歴史・文化遺産の活用と継承	18.9	47.8	23.8	3.9	5.6	30.2	40.8	19.1	5.2	4.6
	0.54					0.72				
分野別平均点	0.41					0.98				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

②施策別評価点「安心力」

基本政策：災害に強い安全なまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
みんなで取り組む地域防災力の強化	13.5	42.2	33.7	5.9	4.6	60.5	28.4	6.0	1.0	4.1
	0.24					1.41				
いざという時の危機対応力の強化	13.8	44.2	30.8	6.8	4.4	72.5	21.2	2.6	0.9	2.9
	0.27					1.62				
被害を最小限に抑える減災対策の推進	14.6	43.4	31.3	7.0	3.8	74.7	19.1	2.8	0.7	2.8
	0.27					1.64				
分野別平均点	0.26					1.56				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

基本政策：暮らしの安心がひろがるまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
地域とともに取り組む防犯対策の推進	16.0	42.8	29.9	7.3	4.0	65.9	26.9	3.1	1.0	3.1
	0.30					1.54				
迅速で適切な消防・救急体制の強化	16.9	49.0	24.7	3.9	5.5	58.7	32.1	4.5	1.0	3.6
	0.50					1.43				
人権尊重・男女共同参画社会の推進	14.2	46.9	28.2	4.5	6.1	46.3	36.6	10.7	2.6	3.7
	0.38					1.13				
平和と多文化共生社会の推進	14.5	48.8	25.2	5.1	6.5	31.4	43.0	15.7	5.6	4.2
	0.42					0.79				
分野別平均点	0.40					1.22				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

③施策別評価点「活力」

基本政策：産業の活力があふれる元気なまちづくり

施策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
地域を支える商業・工業の振興	10.2	33.0	39.0	11.3	6.5	39.3	40	13.8	1.9	5.1
	-0.08					1.01				
誰もが働きやすい環境の整備	8.1	33.4	41.8	10.3	6.4	43.8	38.1	10.6	2.6	4.9
	-0.13					1.10				
地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	13.4	46.0	28.0	6.7	5.9	43.8	40.4	8.6	2.3	4.8
	0.31					1.15				
魅力ある観光の振興	17.9	45.8	25.9	6.0	4.3	50.5	36.8	7.8	2.1	2.7
	0.44					1.26				
シティプロモーションの推進	16.8	43.4	27.3	7.4	5.1	32.8	43.1	15.1	4.7	4.3
	0.35					0.84				
分野別平均点	0.18					1.07				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

基本政策：都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

施策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	13.1	44.5	29.1	7.2	6.1	43.9	38.4	10.6	2.3	4.8
	0.27					1.11				
交流がひろがる拠点の形成	11.3	36.1	34.3	13.5	4.8	51.1	34.2	9.1	2.0	3.6
	-0.03					1.23				
分野別平均点	0.12					1.17				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

④施策別評価点「都市力」

基本政策：自然と調和した住みよいまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
個性と魅力あふれるまちづくりの推進	14.0	46.9	28.1	5.9	5.1	33.2	43.6	15.5	3.7	4.0
	0.35					0.87				
快適で親しみのある地域づくりの推進	13.0	44.8	31.8	6.0	4.4	45.5	40.5	9.6	1.5	2.9
	0.27					1.19				
自然共生社会の構築	13.0	49.1	28.3	4.2	5.3	45.8	38.7	10.0	1.2	4.2
	0.38					1.18				
低炭素・循環型社会の構築	15.2	46.2	29.1	4.2	5.3	48.7	36.2	8.9	2.0	4.2
	0.39					1.21				
分野別平均点	0.35					1.11				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

基本政策：快適で暮らしやすいまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
地域公共交通の充実	14.9	45.7	27.7	7.0	4.7	53.7	35.0	6.7	1.4	3.2
	0.34					1.33				
安全な交通環境の整備	13.4	43.1	30.3	9.2	4.0	63.5	29.1	4.0	0.6	2.8
	0.21					1.51				
都市の機能を高める基盤施設の整備	16.9	50.5	21.5	5.9	5.2	50.9	37.6	6.1	1.2	4.1
	0.51					1.31				
公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	13.7	47.6	27.2	6.1	5.4	51.5	34.8	7.9	1.1	4.6
	0.36					1.28				
みんなで楽しめる公園づくりの推進	13.1	44.9	29.2	8.9	3.9	37.2	44.8	12.2	2.6	3.2
	0.24					1.02				
分野別平均点	0.33					1.29				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

第3章 調査結果〔40本の施策〕

⑤施策別評価点「自治力」

基本政策：市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

施 策	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度の評価点(点)					重要度の評価点(点)				
市民協働と地域コミュニティの活性化	12.2	47.3	29.5	5.6	5.4	28.0	44.9	18.3	4.2	4.7
	0.31					0.74				
市民に身近な市役所づくりの推進	15.3	47.4	24.9	6.7	5.7	40.7	42.8	10.1	1.8	4.6
	0.40					1.11				
健全で安定した財政運営の強化	11.7	43.5	29.6	8.4	6.8	57.5	30.1	5.5	1.0	5.9
	0.20					1.38				
市民に信頼される市政の推進	12.4	43.6	29.1	9.5	5.3	54.0	33.1	7.4	1.0	4.5
	0.20					1.32				
分野別平均点	0.28					1.14				

※濃い網：40施策中の上位10施策

薄い網：40施策中の下位10施策

5. 評価点

①満足度

満足度の上位及び下位10施策をみると、最も評価点が高いのは「安心できる地域医療体制の充実」(0.60)となっており、「歴史・文化遺産の活用と継承」(0.54)、「都市の機能をもつめる基盤施設の整備」(0.51)、「迅速で適切な消防・救急体制の強化」(0.50)と続いている。

一方、評価点が最も低かった施策は「誰もが働きやすい環境の整備」(-0.13)となっており、「地域を支える商業・工業の振興」(-0.08)、「交流がひろがる拠点の形成」(-0.03)と続いている。

満足度評価点の上位10施策及び下位10施策

順位	上位施策	満足度 評価点	順位	下位施策	満足度 評価点
1位	安心できる地域医療体制の充実	0.60	31位	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	0.27
2位	歴史・文化遺産の活用と継承	0.54	32位	多様な働き方が選択できる保育の充実	0.26
3位	都市の機能をもつめる基盤施設の整備	0.51	33位	みんなで楽しめる公園づくりの推進	0.24
4位	迅速で適切な消防・救急体制の強化	0.50	34位	みんなで取り組む地域防災力の強化	0.24
5位	安全で快適な教育環境の整備	0.45	35位	安全な交通環境の整備	0.21
6位	魅力ある観光の振興	0.44	36位	健全で安定した財政運営の強化	0.20
7位	こころと体の健康づくりの推進	0.43	37位	市民に信頼される市政の推進	0.20
8位	平和と多文化共生社会の推進	0.42	38位	交流がひろがる拠点の形成	-0.03
9位	高齢者の地域生活支援の充実	0.41	39位	地域を支える商業・工業の振興	-0.08
10位	市民に身近な市役所づくりの推進	0.40	40位	誰もが働きやすい環境の整備	-0.13

※小数点第5位までの順位付け

【居住地区別】

地区別にみると、「安心できる地域医療体制の充実」は全ての地区で満足度の評価が高く、4つの地区で1位となっている。また、「迅速で適切な消防・救急体制の強化」「歴史・文化遺産の活用と継承」も6つの地区で満足度が高くなっている。

一方、「誰もが働きやすい環境の整備」は全ての地区で満足度の評価が低く、4つの地区で最下位となっている。また、「地域を支える商業・工業の振興」「交流がひろがる拠点の形成」も6つの地区で満足度が低くなっている。

地区別の満足度評価点（上位5施策）

地区別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,366	安心できる地域医療体制の充実 0.60	歴史・文化遺産の活用と継承 0.54	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.51	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.50	安全で快適な教育環境の整備 0.45
伊勢原北地区 n=235	安心できる地域医療体制の充実 0.71	平和と多文化共生社会の推進 0.57	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.56	魅力ある観光の振興 0.54	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.51
伊勢原南地区 n=273	歴史・文化遺産の活用と継承 0.63	安心できる地域医療体制の充実 0.62	こころと体の健康づくりの推進 0.50	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.48	地域公共交通の充実 0.48
大山地区 n=16	安心できる地域医療体制の充実 0.81	歴史・文化遺産の活用と継承 0.69	誰もが親しめるスポーツ活動の推進／地域とともに取り組む防犯対策の推進 0.56		こころと体の健康づくりの推進／迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.50
高部屋地区 n=133	安心できる地域医療体制の充実 0.70	歴史・文化遺産の活用と継承 0.68	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.58	安全で快適な教育環境の整備 0.56	低炭素・循環型社会の構築 0.51
比々多地区 n=168	安心できる地域医療体制の充実 0.63	安全で快適な教育環境の整備 0.61	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.54	市民に身近な市役所づくりの推進 0.51	歴史・文化遺産の活用と継承 0.48
成瀬地区 n=384	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.59	歴史・文化遺産の活用と継承 0.54	安心できる地域医療体制の充実 0.49	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.47	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進 0.45
大田地区 n=130	こころと体の健康づくりの推進 0.62	低炭素・循環型社会の構築／都市の機能を高める基盤施設の整備 0.60		安心できる地域医療体制の充実 0.58	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.53

地区別の満足度評価点（下位5施策）

地区別	第36位	第37位	第38位	第39位	第40位
全 体 n=1,366	健全で安定した 財政運営の強化 0.20	市民に信頼され る市政の推進 0.20	交流がひろがる 拠点の形成 -0.03	地域を支える商 業・工業の振興 -0.08	誰もが働きやす い環境の整備 -0.13
伊勢原北地区 n=235	地域特性を生か した新たな産業 基盤の創出 0.25	健全で安定した 財政運営の強化 0.18	交流がひろがる 拠点の形成 0.00	地域を支える商 業・工業の振興 -0.03	誰もが働きやす い環境の整備 -0.06
伊勢原南地区 n=273	安全な交通環境 の整備 0.16	市民に信頼され る市政の推進 0.12	地域を支える商 業・工業の振興 -0.09	誰もが働きやす い環境の整備 -0.09	交流がひろがる 拠点の形成 -0.13
大山地区 n=16	安全な交通環境 の整備 -0.13	誰もが働きやす い環境の整備 -0.19	地域とつながる 都市農業・森林 づくりの推進 -0.25	みんなで楽しめる公園づくりの推進／ 公共施設の効率的な活用と維持管理・ 保全の推進 -0.38	
高部屋地区 n=133	安全な交通環境の整備／ 地域公共交通の充実 0.17		交流がひろがる 拠点の形成 0.13	誰もが働きやす い環境の整備 0.00	地域を支える商 業・工業の振興 -0.11
比々多地区 n=168	市民に信頼される 市政の推進／快適 で親しみのある地 域づくりの推進 0.19	地域とつながる 都市農業・森林 づくりの推進 0.15	交流がひろがる 拠点の形成 0.13	地域を支える商 業・工業の振興 -0.08	誰もが働きやす い環境の整備 -0.27
成瀬地区 n=384	次代を担う子ども・若者の育成 支援の推進 0.15	安全な交通環境 の整備 0.12	交流がひろがる 拠点の形成 -0.08	地域を支える商 業・工業の振興 -0.12	誰もが働きやす い環境の整備 -0.20
大田地区 n=130	みんなで楽しめる公園づくりの 推進 0.12	市民に信頼され る市政の推進 0.10	交流がひろがる 拠点の形成 -0.05	地域を支える商 業・工業の振興 -0.06	誰もが働きやす い環境の整備 -0.08

【年齢別】

年齢別にみると、「都市の機能を高める基盤施設の整備」は30～39歳を除く全ての年齢層で満足度の評価が高くなっている。「安心できる地域医療体制の充実」は49歳までの年齢層では上位にあげられていないが、50歳以上の年齢層では満足度が最も高くなっている。49歳までの年齢層では「迅速で適切な消防・救急体制の強化」が上位にあげられている点は共通するが、これ以外は「歴史・文化遺産の活用と継承」「平和と多文化共生社会の推進」など評価が分散している。

一方、「誰もが働きやすい環境の整備」は、多くの年齢層で最も満足度の評価が低くなっている。また、「地域を支える商業・工業の振興」「交流がひろがる拠点の形成」も特に40歳以上の年齢層を中心に満足度が低く、「多様な働き方が選択できる保育の充実」「子育て家庭への支援の充実」は39歳以下の年齢層で満足度が低くなっている。

年齢別の満足度評価点（上位5施策）

年齢別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,366	安心できる地域医療体制の充実 0.60	歴史・文化遺産の活用と継承 0.54	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.51	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.50	安全で快適な教育環境の整備 0.45
18～29歳 n=100	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.91	歴史・文化遺産の活用と継承 0.78	安全で快適な教育環境の整備 0.75	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進 0.74	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.69
30～39歳 n=143	迅速で適切な消防・救急体制の強化／魅力ある観光の振興 0.56	平和と多文化共生社会の推進 0.48	人権尊重・男女共同参画社会の推進 0.47	個性と魅力あふれるまちづくりの推進 0.45	
40～49歳 n=218	歴史・文化遺産の活用と継承 0.55	平和と多文化共生社会の推進 0.51	迅速で適切な消防・救急体制の強化／都市の機能を高める基盤施設の整備 0.47	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進 0.45	
50～59歳 n=230	安心できる地域医療体制の充実 0.58	迅速で適切な消防・救急体制の強化 0.52	都市の機能を高める基盤施設の整備 0.47	魅力ある観光の振興 0.43	平和と多文化共生社会の推進 0.41
60～69歳 n=257	安心できる地域医療体制の充実 0.68	安全で快適な教育環境の整備 0.57	こころと体の健康づくりの推進 0.56	子育て家庭への支援の充実 0.50	迅速で適切な消防・救急体制の強化／都市の機能を高める基盤施設の整備 0.48
70～79歳 n=295	安心できる地域医療体制の充実 0.73	歴史・文化遺産の活用と継承 0.63	こころと体の健康づくりの推進 0.62	安全で快適な教育環境の整備 0.52	誰もが親しめるスポーツ活動の推進／都市の機能を高める基盤施設の整備 0.49
80歳以上 n=118	安心できる地域医療体制の充実 0.76	こころと体の健康づくりの推進 0.72	歴史・文化遺産の活用と継承／都市の機能を高める基盤施設の整備 0.69	低炭素・循環型社会の構築 0.66	

年齢別の満足度評価点（下位5施策）

年齢別	第36位	第37位	第38位	第39位	第40位
全 体 n=1,366	健全で安定した 財政運営の強化 0.20	市民に信頼され る市政の推進 0.20	交流がひろがる 拠点の形成 -0.03	地域を支える商 業・工業の振興 -0.08	誰もが働きやす い環境の整備 -0.13
18～29 歳 n=100	地域とともに取り組む防犯対策の 推進／ 子育て家庭への支援の充実 0.21		地域を支える商 業・工業の振興 0.19	多様な働き方が 選択できる保育 の充実 0.05	誰もが働きやす い環境の整備 -0.06
30～39 歳 n=143	みんなで楽しめる公園づくりの 推進 -0.06	多様な働き方が 選択できる保育 の充実 -0.11	次代を担う子ども・若者の育成 支援の推進 -0.13	子育て家庭への 支援の充実 -0.20	誰もが働きやす い環境の整備 -0.21
40～49 歳 n=218	安全な交通環境 の整備 0.07	健全で安定した 財政運営の強化 0.06	交流がひろがる 拠点の形成 -0.08	地域を支える商 業・工業の振興 -0.13	誰もが働きやす い環境の整備 -0.23
50～59 歳 n=230	安全な交通環境 の整備 0.16	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.12	誰もが働きやす い環境の整備 -0.13	地域を支える商 業・工業の振興 -0.13	交流がひろがる 拠点の形成 -0.21
60～69 歳 n=257	健全で安定した 財政運営の強化 0.18	市民に信頼され る市政の推進 0.16	交流がひろがる 拠点の形成 -0.05	地域を支える商 業・工業の振興 -0.12	誰もが働きやす い環境の整備 -0.14
70～79 歳 n=295	地域とつながる 都市農業・森林 づくりの推進 0.19	快適で親しみ のある地域づくり の推進 0.18	交流がひろがる 拠点の形成 -0.08	地域を支える商 業・工業の振興 -0.11	誰もが働きやす い環境の整備 -0.12
80 歳以上 n=118	健全で安定した 財政運営の強化 0.34	快適で親しみ のある地域づくり の推進 0.33	交流がひろがる 拠点の形成 0.29	誰もが働きやす い環境の整備 0.09	地域を支える商 業・工業の振興 -0.02

②重要度

重要度の上位及び下位10施策をみると、最も評価点が高いのは「被害を最小限に抑える減災対策の推進」(1.64)となっており、「いざという時の危機対応力の強化」(1.62)、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」(1.54)、「安心できる地域医療体制の充実」(1.52)、「安全な交通環境の整備」(1.51)と続いている。

一方、評価点が最も低い施策は「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」(0.66)となっており、「歴史・文化遺産の活用と継承」(0.72)、「市民協働と地域コミュニティの活性化」(0.74)、「平和と多文化共生社会の推進」(0.79)と続いている。

重要度評価点の上位10施策及び下位10施策

順位	上位施策	重要度 評価点	順位	下位施策	重要度 評価点
1位	被害を最小限に抑える減災対策の推進	1.64	31位	誰もが働きやすい環境の整備	1.10
2位	いざという時の危機対応力の強化	1.62	32位	みんなで楽しめる公園づくりの推進	1.02
3位	地域とともに取り組む防犯対策の推進	1.54	33位	地域を支える商業・工業の振興	1.01
4位	安心できる地域医療体制の充実	1.52	34位	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	0.87
5位	安全な交通環境の整備	1.51	35位	学習成果を生かせる生涯学習の推進	0.86
6位	子育て家庭への支援の充実	1.43	36位	シティプロモーションの推進	0.84
7位	迅速で適切な消防・救急体制の強化	1.43	37位	平和と多文化共生社会の推進	0.79
8位	みんなで取り組む地域防災力の強化	1.41	38位	市民協働と地域コミュニティの活性化	0.74
9位	多様な働き方が選択できる保育の充実	1.40	39位	歴史・文化遺産の活用と継承	0.72
10位	健全で安定した財政運営の強化	1.38	40位	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	0.66

【居住地区別】

地区別にみると、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」は全ての地区で重要度の評価が高く、6つの地区で最も重要度が高くなっている。また、「いざという時の危機対応力の強化」「安心できる地域医療体制の充実」は全ての地区で、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」も6つの地区で重要度が高くなっている。

一方、「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」が全ての地区で重要度の評価が低く、5つの地区で最も重要度が低くなっている。また、「歴史・文化遺産の活用と継承」「市民協働と地域コミュニティの活性化」も全ての地区で重要度が低くあり、「平和と多文化共生社会の推進」は6つの地区で、「シティプロモーションの推進」は5つの地区で重要度が低くなっている。

地区別の重要度評価点（上位5施策）

地区別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,366	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.64	いざという時の危機対応力の強化 1.62	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.54	安心できる地域医療体制の充実 1.52	安全な交通環境の整備 1.51
伊勢原北地区 n=235	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.66	いざという時の危機対応力の強化 1.64	多様な働き方が選択できる保育の充実 1.55	安心できる地域医療体制の充実 1.51	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.51
伊勢原南地区 n=273	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.66	いざという時の危機対応力の強化 1.62	安心できる地域医療体制の充実／ 地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.54	安全な交通環境の整備 1.52	
大山地区 n=16	安心できる地域医療体制の充実 1.75	いざという時の危機対応力の強化／ 被害を最小限に抑える減災対策の推進／ 地域公共交通の充実 1.69		高齢者の地域生活支援の充実／地域とともに取り組む防犯対策の推進／迅速で適切な消防・救急体制の強化／健全で安定した財政運営の強化 1.63	
高部屋地区 n=133	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.63	いざという時の危機対応力の強化 1.59	安全な交通環境の整備 1.56	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.55	安心できる地域医療体制の充実 1.54
比々多地区 n=168	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.58	いざという時の危機対応力の強化 1.56	安心できる地域医療体制の充実／ 安全な交通環境の整備 1.49	迅速で適切な消防・救急体制の強化 1.45	
成瀬地区 n=384	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.65	いざという時の危機対応力の強化 1.63	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.55	安全な交通環境の整備 1.51	安心できる地域医療体制の充実 1.48
大田地区 n=130	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.74	いざという時の危機対応力の強化／ 地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.72	安全な交通環境の整備 1.63	安心できる地域医療体制の充実 1.58	

地区別の重要度評価点（下位5施策）

地区別	第36位	第37位	第38位	第39位	第40位
全 体 n=1,366	シティプロモーションの推進 0.84	平和と多文化共生社会の推進 0.79	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.74	歴史・文化遺産の活用と継承 0.72	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.66
伊勢原北地区 n=235	シティプロモーションの推進 0.90	平和と多文化共生社会の推進 0.86	歴史・文化遺産の活用と継承 0.82	市民協働と地域コミュニティの活性化／誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.76	
伊勢原南地区 n=273	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.76	平和と多文化共生社会の推進 0.69	歴史・文化遺産の活用と継承 0.64	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.64	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.57
大山地区 n=16	地域を支える商業・工業の振興／平和と多文化共生社会の推進／歴史・文化遺産の活用と継承 1.06	人権尊重・男女共同参画社会の推進 1.00	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.88	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.81	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.69
高部屋地区 n=133	シティプロモーションの推進 0.93	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.85	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.77	歴史・文化遺産の活用と継承 0.75	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.70
比々多地区 n=168	シティプロモーションの推進 0.76	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.71	平和と多文化共生社会の推進 0.70	歴史・文化遺産の活用と継承 0.58	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.54
成瀬地区 n=384	シティプロモーションの推進 0.81	平和と多文化共生社会の推進 0.80	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.77	歴史・文化遺産の活用と継承 0.73	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.59
大田地区 n=130	個性と魅力あふれるまちづくりの推進／誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.91	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.88	シティプロモーションの推進 0.83	歴史・文化遺産の活用と継承 0.80	平和と多文化共生社会の推進 0.78

【年齢別】

年齢別にみると、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」は全ての年齢層で重要度の評価が高く、50～59歳を除き重要度が最も高くなっている。また、「いざという時の危機対応力の強化」「地域とともに取り組む防犯対策の推進」も全ての年齢層で重要度が高くなっている。このほか、「安心できる地域医療体制の充実」は18～29歳を除く全ての年齢層で重要度が高くなっており、39歳までの年齢層では「多様な働き方が選択できる保育の充実」「子育て家庭への支援の充実」が上位にあげられている。

一方、「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」「市民協働と地域コミュニティの活性化」は全ての年齢層で重要度の評価が低くなっている。また、「歴史・文化遺産の活用と継承」は80歳以上を除く全ての年齢層で、「平和と多文化共生社会の推進」は70～79歳を除く全ての年齢層で重要度が低くなっている。

年齢別の重要度評価点（上位5施策）

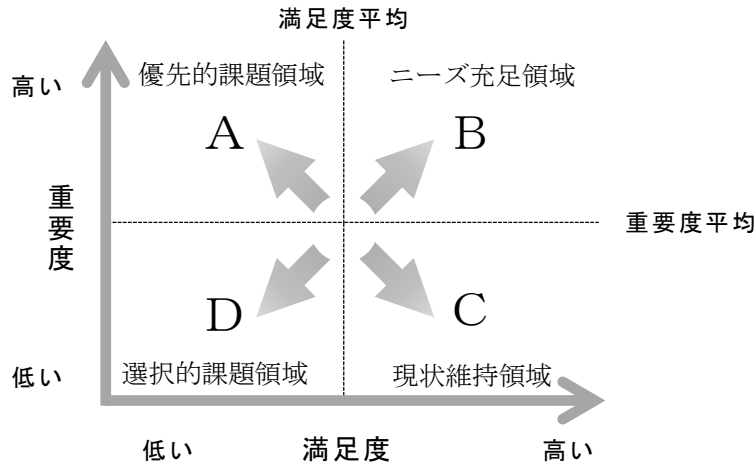
年齢別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=1,366	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.64	いざという時の危機対応力の強化 1.62	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.54	安心できる地域医療体制の充実 1.52	安全な交通環境の整備 1.51
18～29歳 n=100	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.78	いざという時の危機対応力の強化 1.74	多様な働き方が選択できる保育の充実 1.69	子育て家庭への支援の充実 1.61	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.60
30～39歳 n=143	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.61	いざという時の危機対応力の強化 1.58	多様な働き方が選択できる保育の充実 1.52	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.52	安心できる地域医療体制の充実／子育て家庭への支援の充実／安全な交通環境の整備 1.47
40～49歳 n=218	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.69	いざという時の危機対応力の強化 1.64	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.59	安心できる地域医療体制の充実 1.57	健全で安定した財政運営の強化 1.50
50～59歳 n=230	いざという時の危機対応力の強化 1.74	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.71	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.63	安心できる地域医療体制の充実 1.59	安全な交通環境の整備 1.56
60～69歳 n=257	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.68	いざという時の危機対応力の強化 1.63	安全な交通環境の整備 1.60	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.56	安心できる地域医療体制の充実 1.53
70～79歳 n=295	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.55	いざという時の危機対応力の強化 1.51	安全な交通環境の整備 1.49	安心できる地域医療体制の充実 1.47	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.44
80歳以上 n=118	いざという時の危機対応力の強化／被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.54		地域とともに取り組む防犯対策の推進／地域公共交通の充実 1.46	安心できる地域医療体制の充実 1.45	

年齢別の重要度評価点（下位5施策）

年齢別	第36位	第37位	第38位	第39位	第40位
全 体 n=1,366	シティプロモーションの推進 0.84	平和と多文化共生社会の推進 0.79	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.74	歴史・文化遺産の活用と継承 0.72	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.66
18～29 歳 n=100	平和と多文化共生社会の推進 0.82	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.74	市民協働と地域コミュニティの活性化／シティプロモーションの推進 0.72		歴史・文化遺産の活用と継承 0.69
30～39 歳 n=143	平和と多文化共生社会の推進 0.50	個性と魅力あふれるまちづくりの推進 0.43	歴史・文化遺産の活用と継承 0.32	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.31	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.25
40～49 歳 n=218	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.78	平和と多文化共生社会の推進 0.63	歴史・文化遺産の活用と継承 0.61	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.54	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.54
50～59 歳 n=230	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.79	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.77	平和と多文化共生社会の推進 0.74	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.57	歴史・文化遺産の活用と継承 0.52
60～69 歳 n=257	歴史・文化遺産の活用と継承 0.88	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.87	平和と多文化共生社会の推進 0.83	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.81	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.71
70～79 歳 n=295	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.96	市民協働と地域コミュニティの活性化 0.93	歴史・文化遺産の活用と継承 0.91	シティプロモーションの推進 0.90	誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.86
80 歳以上 n=118	平和と多文化共生社会の推進 1.01	市民協働と地域コミュニティの活性化／みんなで楽しめる公園づくりの推進 0.99		シティプロモーションの推進／誰もが親しめるスポーツ活動の推進 0.87	

6. 満足度と重要度の相関図による分析

「満足度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリクス上に示すことで、各分野の位置付けを以下のように整理することができる。



満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く満足度が低い（優先的課題領域）

今後のまちづくりにおける重要度は高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（ニーズ充足領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く満足度が高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持しているか、あるいは施策の在り方を含めて見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（選択的課題領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策の在り方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

【相関図の全体的な傾向】

A. 重要度が高く満足度が低い施策（優先的課題領域） 12本

- 3 多様な連携による地域福祉の推進／6 子育て家庭への支援の充実
- 7 多様な働き方が選択できる保育の充実／8 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進
- 14 みんなで取り組む地域防災力の強化／15 いざという時の危機対応力の強化
- 16 被害を最小限に抑える減災対策の推進／17 地域とともに取り組む防犯対策の推進
- 27 交流がひろがる拠点の形成／33 安全な交通環境の整備
- 39 健全で安定した財政運営の強化／40 市民に信頼される市政の推進

B. 重要度、満足度ともに高い施策（ニーズ充足領域） 11本

- 1 こころと体の健康づくりの推進／2 安心できる地域医療体制の充実
- 4 高齢者の地域生活支援の充実／5 障がい者の地域生活支援の充実
- 9 きめ細やかな教育の推進／10 安全で快適な教育環境の整備
- 18 迅速で適切な消防・救急体制の強化／24 魅力ある観光の振興
- 32 地域公共交通の充実／34 都市の機能を高める基盤施設の整備
- 35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進

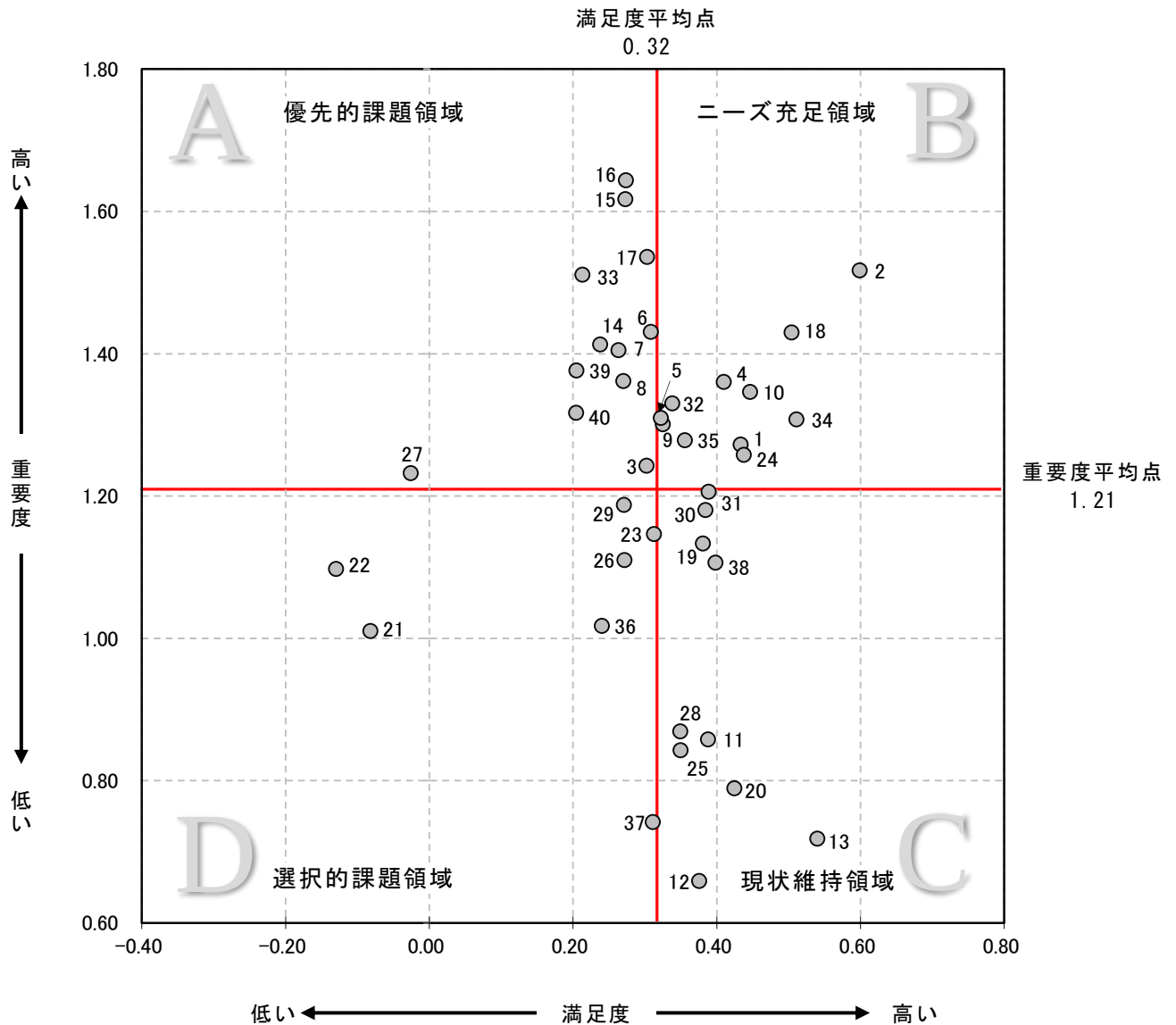
C. 重要度が低く満足度が高い施策（現状維持領域） 10本

- 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進／12 誰もが親しめるスポーツ活動の推進
- 13 歴史・文化遺産の活用と継承／19 人権尊重・男女共同参画社会の推進
- 20 平和と多文化共生社会の推進／25 シティプロモーションの推進
- 28 個性と魅力あふれるまちづくりの推進／30 自然共生社会の構築
- 31 低炭素・循環型社会の構築／38 市民に身近な市役所づくりの推進

D. 重要度、満足度ともに低い施策（選択的課題領域） 7本

- 21 地域を支える商業・工業の振興／22 誰もが働きやすい環境の整備
- 23 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
- 26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出
- 29 快適で親しみのある地域づくりの推進
- 36 みんなで楽しめる公園づくりの推進／37 市民協働と地域コミュニティの活性化

現状の評価と今後の重要度の相関図



領域	施策	施策No.
A	多様な連携による地域福祉の推進	3
	子育て家庭への支援の充実	6
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17
	交流がひろがる拠点の形成	27
	安全な交通環境の整備	33
B	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
	こころと体の健康づくりの推進	1
	安心できる地域医療体制の充実	2
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	障がい者の地域生活支援の充実	5
	きめ細やかな教育の推進	9
	安全で快適な教育環境の整備	10
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	魅力ある観光の振興	24

領域	施策	施策No.
B	地域公共交通の充実	32
	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
C	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	平和と多文化共生社会の推進	20
	シティプロモーションの推進	25
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	自然共生社会の構築	30
	低炭素・循環型社会の構築	31
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	地域を支える商業・工業の振興	21
D	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37

7. 基本政策（10本）との相関分析

ここでは、40本の施策における相関図分析結果から、第5次総合計画の施策体系に基づき、基本政策と施策展開の方向の相関分析領域を確認する。

基本政策：健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1施策、領域Bが4施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、全ての施策展開の方向で領域Bに、また、基本政策に関する相関分析領域も、領域Bに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
健やかに生き 生きと暮らせ るまちづくり	B	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	B	こころと体の健康づくりの推進	B
				安心できる地域医療体制の充実	B
		みんなで支え合う福祉のまちをつくる	B	多様な連携による地域福祉の推進	A
				高齢者の地域生活支援の充実	B
				障がい者の地域生活支援の充実	B

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、3施策とも領域Aとなっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、全ての施策展開の方向で領域Aに、また、基本政策に関する相関分析領域も、領域Aに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
子どもの成長 をみんなで見 守るまちづく り	A	子どもを産み育てやすいまちをつくる	A	子育て家庭への支援の充実	A
				多様な働き方が選択できる保育の充実	A
		子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる	A	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	A

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Bが2施策、領域Cが3施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる」が領域B、「いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる」が領域Cに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Cに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
人がつながり 未来を拓く学 び合うまちづ くり	C	子どもの生きる力をはぐくむ まちをつくる	B	きめ細やかな教育の推進	B
				安全で快適な教育環境の整備	B
		いつまでも学び生きがいがある まちをつくる	C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	C
				誰もが親しめるスポーツ活動の推進	C
				歴史・文化遺産の活用と継承	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：災害に強い安全なまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、3施策とも領域Aとなっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析の領域は領域Aに、また、基本政策に関する相関分析領域も、領域Aに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
災害に強い安 全なまちづく り	A	災害から市民のいのちを守る まちをつくる	A	みんなで取り組む地域防災力の強化	A
				いざという時の危機対応力の強化	A
				被害を最小限に抑える減災対策の推進	A

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：暮らしの安心がひろがるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1施策、領域Bが1施策、領域Cが2施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「暮らしの安全を守るまちをつくる」が領域B、「一人ひとりが大切にされるまちをつくる」が領域Cに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Bに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
暮らしの安心 がひろがるま ちづくり	B	暮らしの安全を守るまちをつ くる	B	地域とともに取り組む防犯対策の 推進	A
				迅速で適切な消防・救急体制の強化	B
		一人ひとりが大切にされるま ちをつくる	C	人権尊重・男女共同参画社会の推進	C
				平和と多文化共生社会の推進	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：産業の活力があふれる元気なまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Bが1施策、領域Cが1施策、領域Dが3施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる」が領域C、「地域の産業が盛んなまちをつくる」が領域Dに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
産業の活力があふれる元気なまちづくり	D	地域の産業が盛んなまちをつくる	D	地域を支える商業・工業の振興	D
				誰もが働きやすい環境の整備	D
				地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D
		多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる	C	魅力ある観光の振興	B
				シティプロモーションの推進	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1施策、領域Dが1施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は領域Dに、また、基本政策に関する相関分析領域も、領域Dに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり	D	都市の骨格を支えるまちをつくる	D	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	D
				交流がひろがる拠点の形成	A

基本政策：自然と調和した住みよいまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Cが3施策、領域Dが1施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる」が領域C、「愛着のある美しいまちをつくる」が領域Dに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Cに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
自然と調和した住みよいまちづくり	C	愛着のある美しいまちをつくる	D	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	C
				快適で親しみのある地域づくりの推進	D
		みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる	C	自然共生社会の構築	C
				低炭素・循環型社会の構築	C

基本政策：快適で暮らしやすいまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1施策、領域Bが3施策、領域Dが1施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「安全で円滑な移動ができるまちをつくる」が領域A、「便利で機能的なまちをつくる」が領域Cに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Bに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
快適で暮らしやすいまちづくり	B	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	A	地域公共交通の充実	B
				安全な交通環境の整備	A
		便利で機能的なまちをつくる	C	都市の機能を高める基盤施設の整備	B
				公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	B
				みんなで楽しめる公園づくりの推進	D

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策：市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが2施策、領域Cが1施策、領域Dが1施策となっている。

施策からみた施策展開の方向における相関分析領域は、「次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる」が領域A、「地域の力が発揮できるまちをつくる」が領域Cに、また、基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに位置している。

基本政策	領域	施策展開の方向	領域	施策	領域
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	D	地域の力が発揮できるまちをつくる	C	市民協働と地域コミュニティの活性化	D
				市民に身近な市役所づくりの推進	C
		次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	A	健全で安定した財政運営の強化	A
				市民に信頼される市政の推進	A

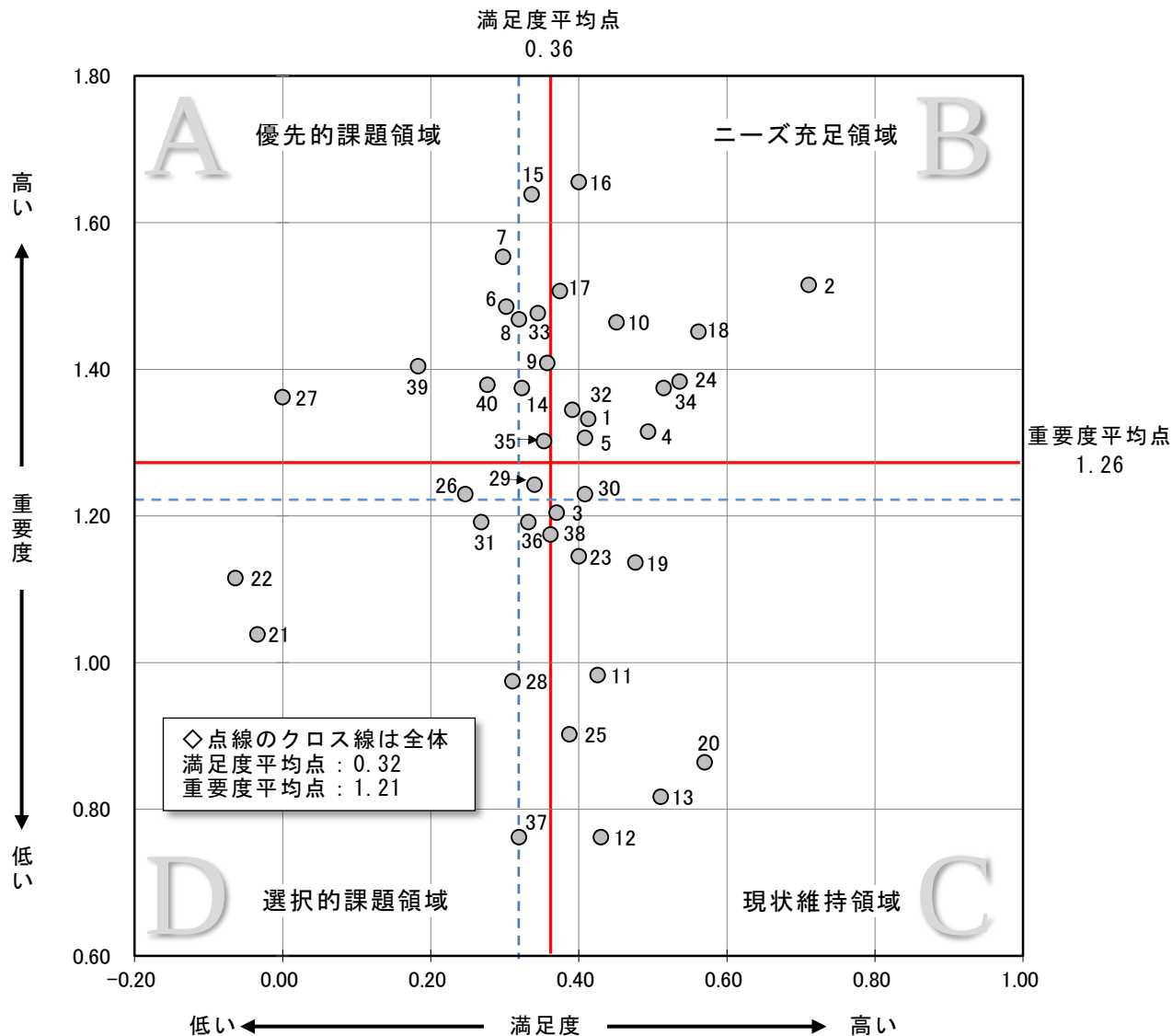
※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

8. 地区別の満足度と今後の重要度

伊勢原北地区

40本の施策について、伊勢原北地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.36、重要度の平均値は1.26（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。

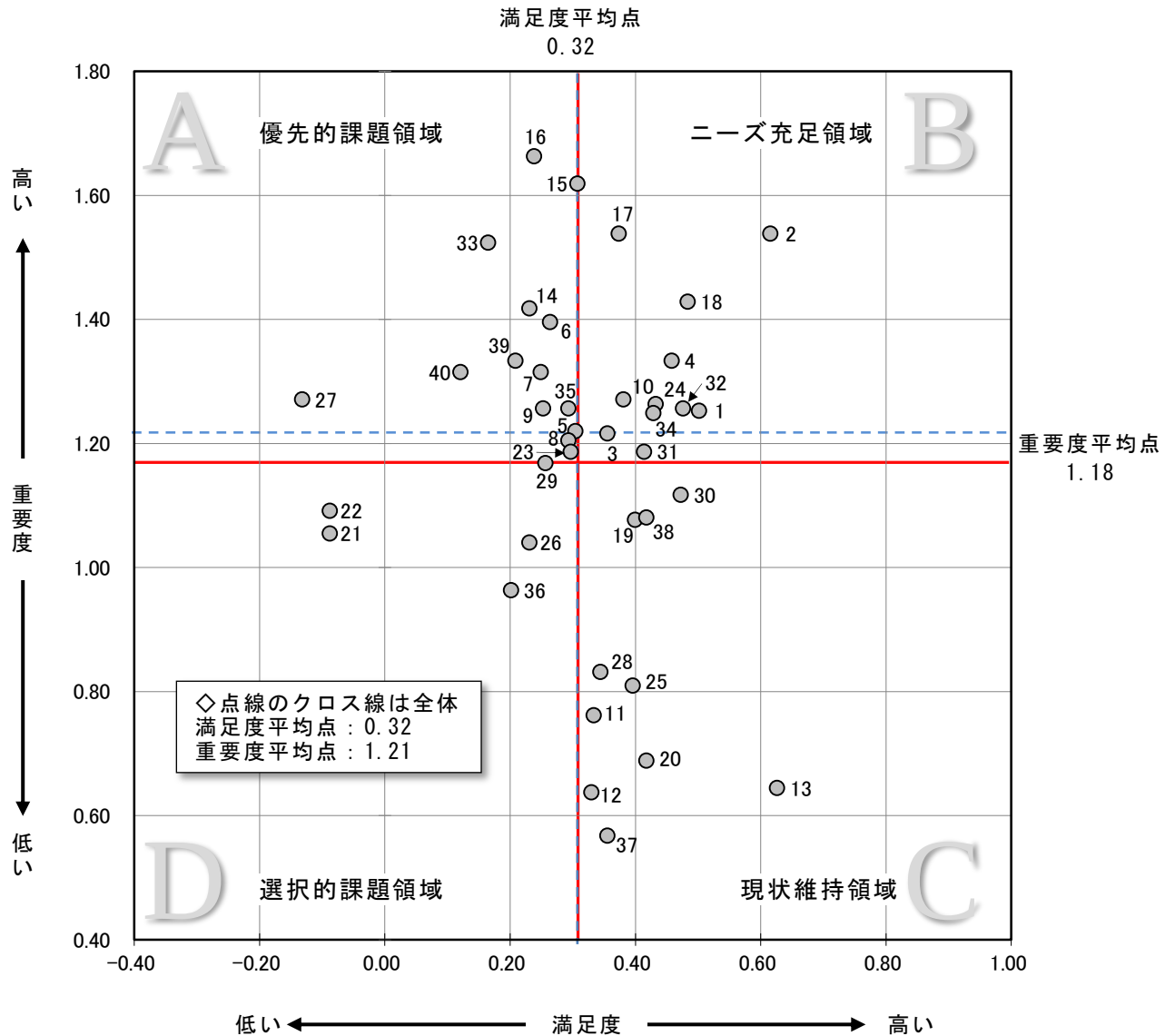


領域	施策	施策No.	領域	施策	施策No.
A	子育て家庭への支援の充実	6	B	地域公共交通の充実	32
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7		都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8	C	多様な連携による地域福祉の推進	3
	きめ細やかな教育の推進	9		学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14		誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	いざという時の危機対応力の強化	15		歴史・文化遺産の活用と継承	13
	交流がひろがる拠点の形成	27		人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	安全な交通環境の整備	33		平和と多文化共生社会の推進	20
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35		地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	健全で安定した財政運営の強化	39		シティプロモーションの推進	25
	市民に信頼される市政の推進	40		自然共生社会の構築	30
B	こころと体の健康づくりの推進	1	D	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	安心できる地域医療体制の充実	2		地域を支える商業・工業の振興	21
	高齢者の地域生活支援の充実	4		誰もが働きやすい環境の整備	22
	障がい者の地域生活支援の充実	5		地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	安全で快適な教育環境の整備	10		個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16		快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17		低炭素・循環型社会の構築	31
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18		みんなで楽しめる公園づくりの推進	36
	魅力ある観光の振興	24		市民協働と地域コミュニティの活性化	37

伊勢原南地区

40本の施策について、伊勢原南地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.32、重要度の平均値は1.18（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



領域	施策	施策No.
A	障がい者の地域生活支援の充実	5
	子育て家庭への支援の充実	6
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	きめ細やかな教育の推進	9
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	交流がひろがる拠点の形成	27
	安全な交通環境の整備	33
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
B	こころと体の健康づくりの推進	1
	安心できる地域医療体制の充実	2
	多様な連携による地域福祉の推進	3
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	安全で快適な教育環境の整備	10
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17

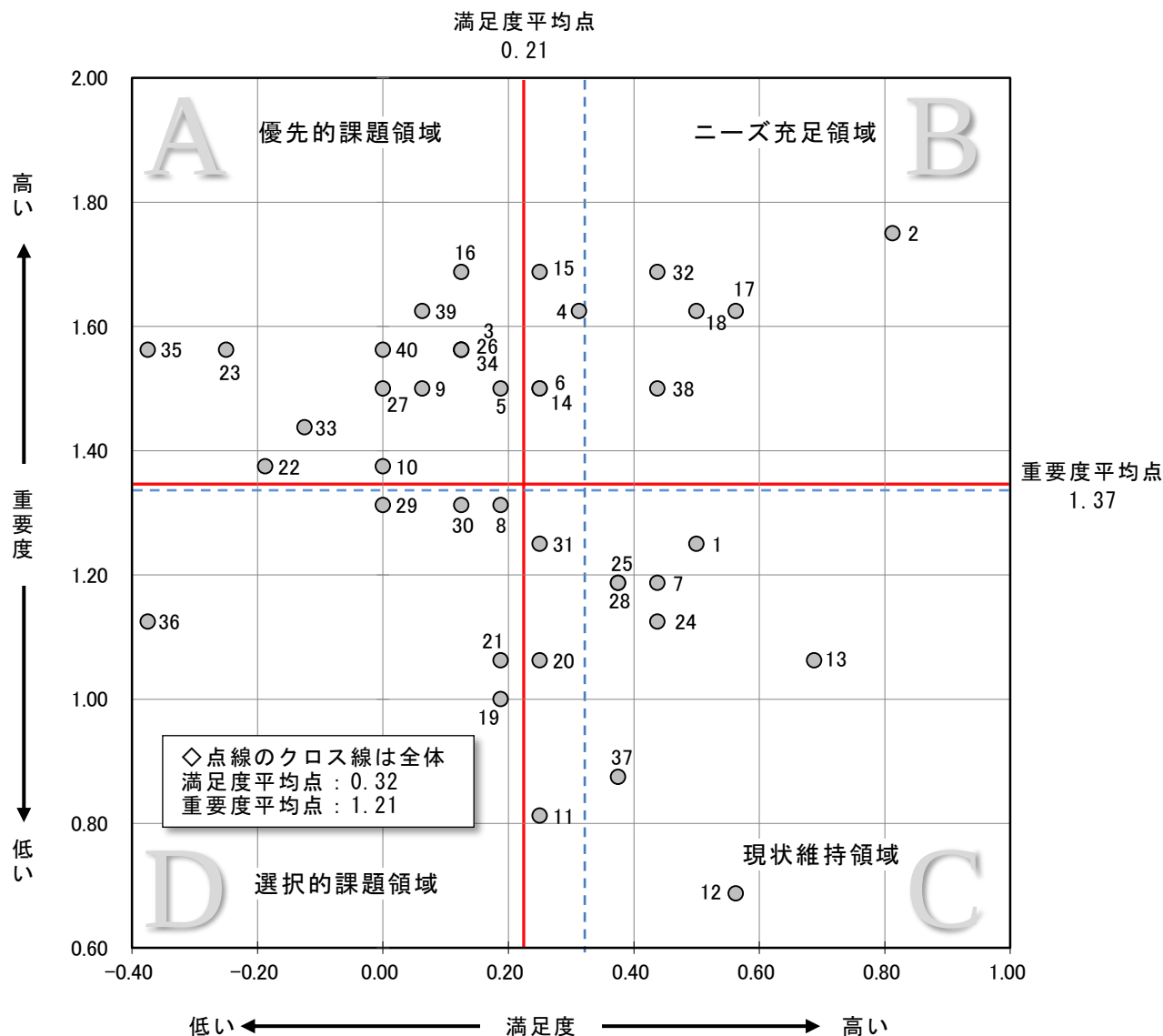
領域	施策	施策No.
B	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	魅力ある観光の振興	24
	低炭素・循環型社会の構築	31
	地域公共交通の充実	32
	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
C	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	平和と多文化共生社会の推進	20
	シティプロモーションの推進	25
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	自然共生社会の構築	30
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	地域を支える商業・工業の振興	21
D	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36

第3章 調査結果〔40本の施策〕

大山地区

40本の施策について、大山地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.21、重要度の平均値は1.37（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



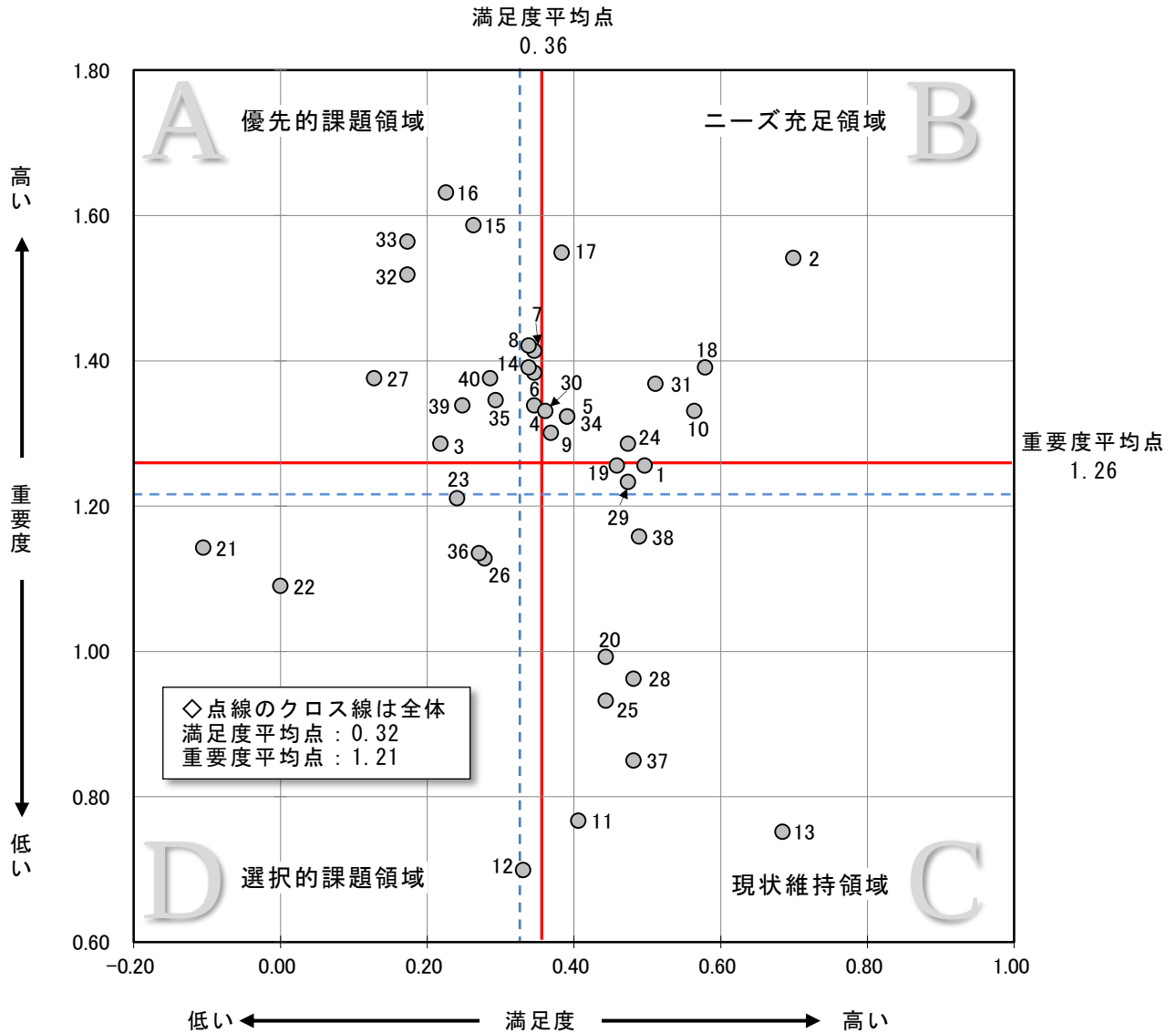
領域	施策	施策No.
A	多様な連携による地域福祉の推進	3
	障がい者の地域生活支援の充実	5
	きめ細やかな教育の推進	9
	安全で快適な教育環境の整備	10
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	交流がひろがる拠点の形成	27
	安全な交通環境の整備	33
	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
B	安心できる地域医療体制の充実	2
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	子育て家庭への支援の充実	6
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17

領域	施策	施策No.
B	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	地域公共交通の充実	32
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
C	こころと体の健康づくりの推進	1
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	平和と多文化共生社会の推進	20
	魅力ある観光の振興	24
	シティプロモーションの推進	25
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	低炭素・循環型社会の構築	31
D	市民協働と地域コミュニティの活性化	37
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	地域を支える商業・工業の振興	21
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	自然共生社会の構築	30
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36

高部屋地区

40本の施策について、高部屋地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.36、重要度の平均値は1.26（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



領域	施策	施策No.
A	多様な連携による地域福祉の推進	3
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	子育て家庭への支援の充実	6
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	交流がひろがる拠点の形成	27
	地域公共交通の充実	32
	安全な交通環境の整備	33
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
B	安心できる地域医療体制の充実	2
	障がい者の地域生活支援の充実	5
	きめ細やかな教育の推進	9
	安全で快適な教育環境の整備	10
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18

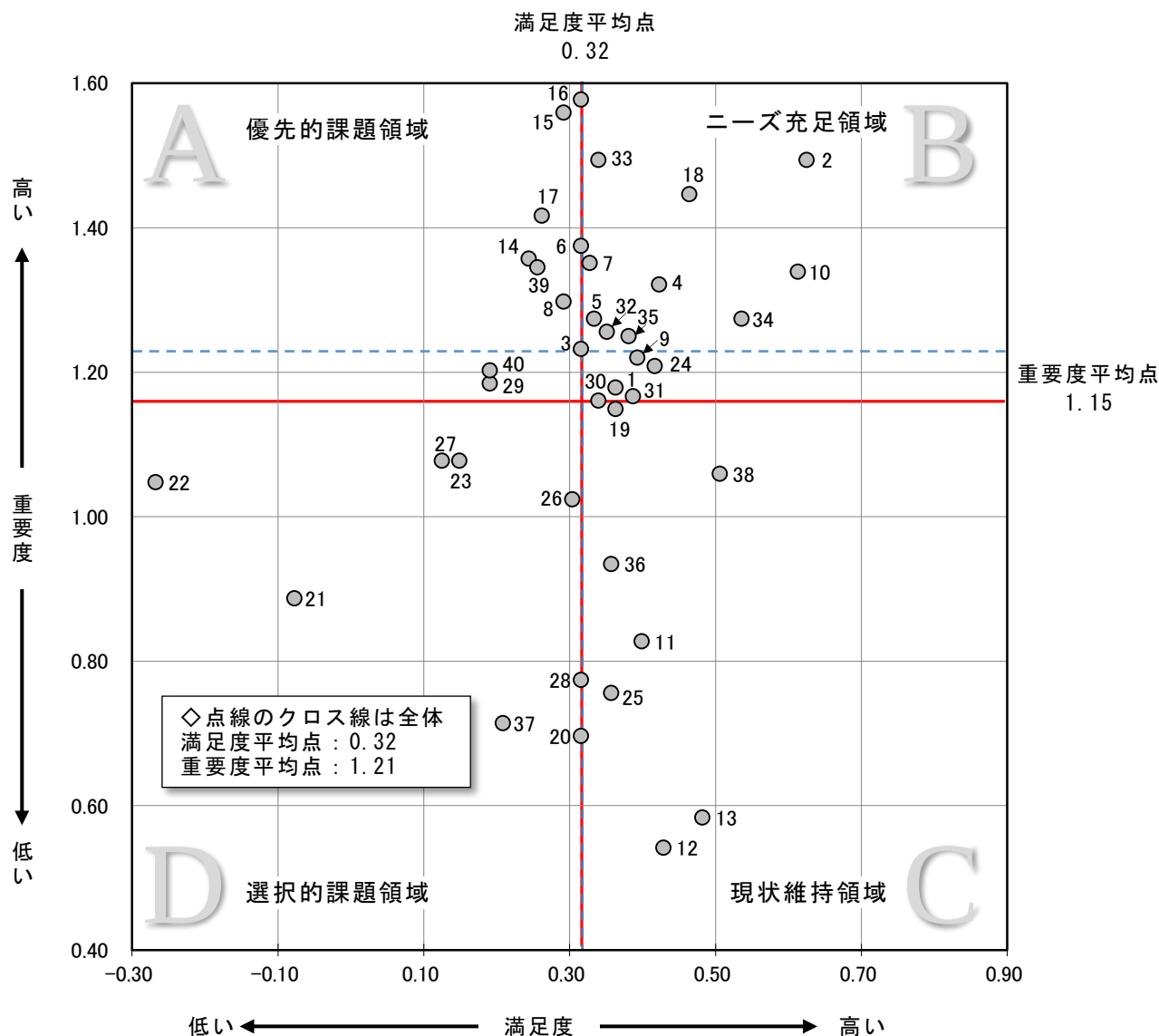
領域	施策	施策No.
B	魅力ある観光の振興	24
	自然共生社会の構築	30
	低炭素・循環型社会の構築	31
	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	こころと体の健康づくりの推進	1
C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	平和と多文化共生社会の推進	20
	シティプロモーションの推進	25
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
D	地域を支える商業・工業の振興	21
	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36

第3章 調査結果〔40本の施策〕

比々多地区

40本の施策について、比々多地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.32、重要度の平均値は1.15（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



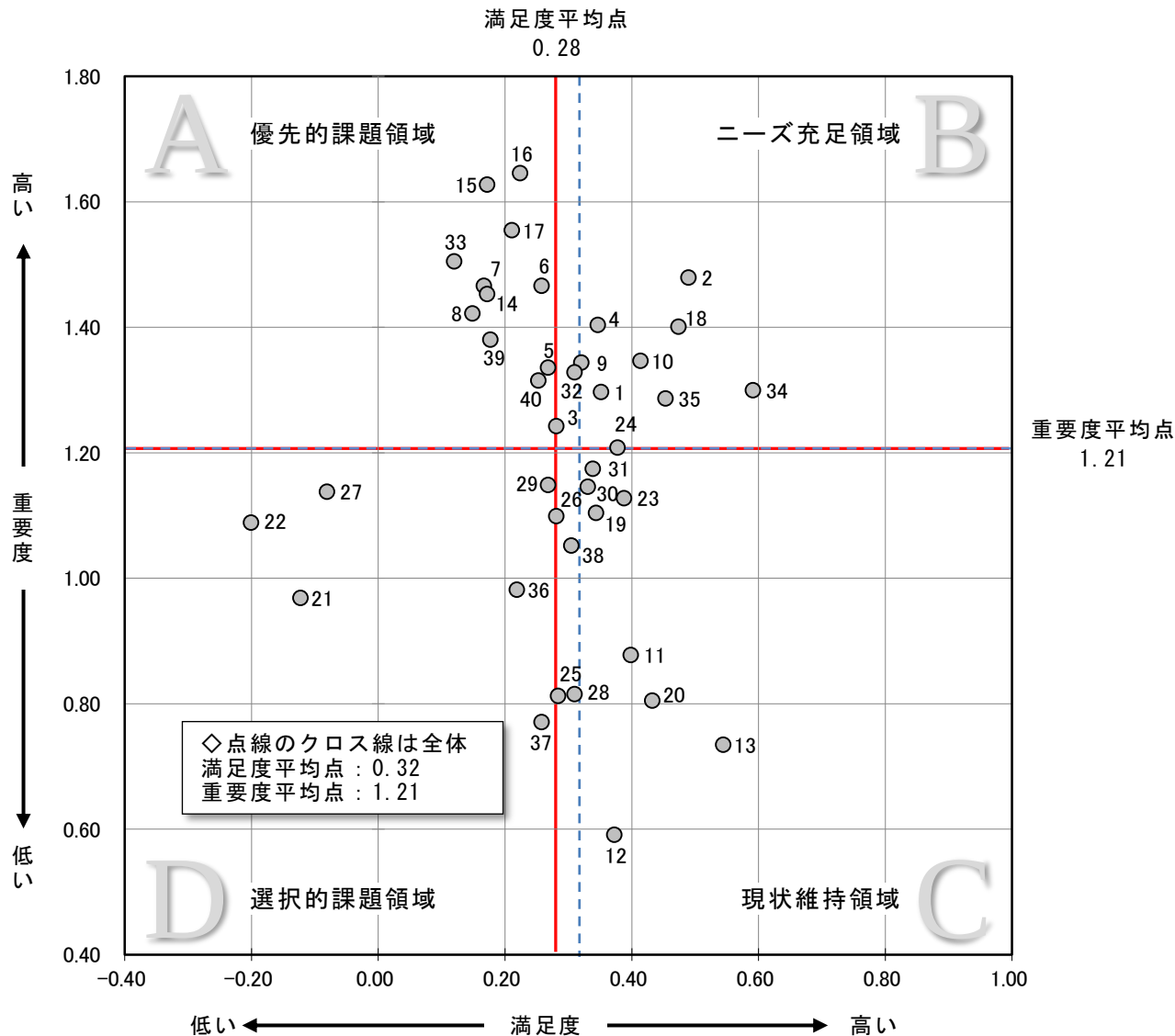
領域	施策	施策No.
A	多様な連携による地域福祉の推進	3
	子育て家庭への支援の充実	6
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
B	こころと体の健康づくりの推進	1
	安心できる地域医療体制の充実	2
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	障がい者の地域生活支援の充実	5
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	きめ細やかな教育の推進	9
	安全で快適な教育環境の整備	10
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	魅力ある観光の振興	24
	自然共生社会の構築	30

領域	施策	施策No.
B	低炭素・循環型社会の構築	31
	地域公共交通の充実	32
	安全な交通環境の整備	33
	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	シティプロモーションの推進	25
D	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	平和と多文化共生社会の推進	20
	地域を支える商業・工業の振興	21
	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	交流がひろがる拠点の形成	27
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37

成瀬地区

40本の施策について、成瀬地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.28、重要度の平均値は1.21（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



領域	施策	施策No.
A	障がい者の地域生活支援の充実	5
	子育て家庭への支援の充実	6
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	いざという時の危機対応力の強化	15
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17
	安全な交通環境の整備	33
	健全で安定した財政運営の強化	39
B	市民に信頼される市政の推進	40
	こころと体の健康づくりの推進	1
	安心できる地域医療体制の充実	2
	多様な連携による地域福祉の推進	3
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	きめ細やかな教育の推進	9
	安全で快適な教育環境の整備	10
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	魅力ある観光の振興	24
	地域公共交通の充実	32

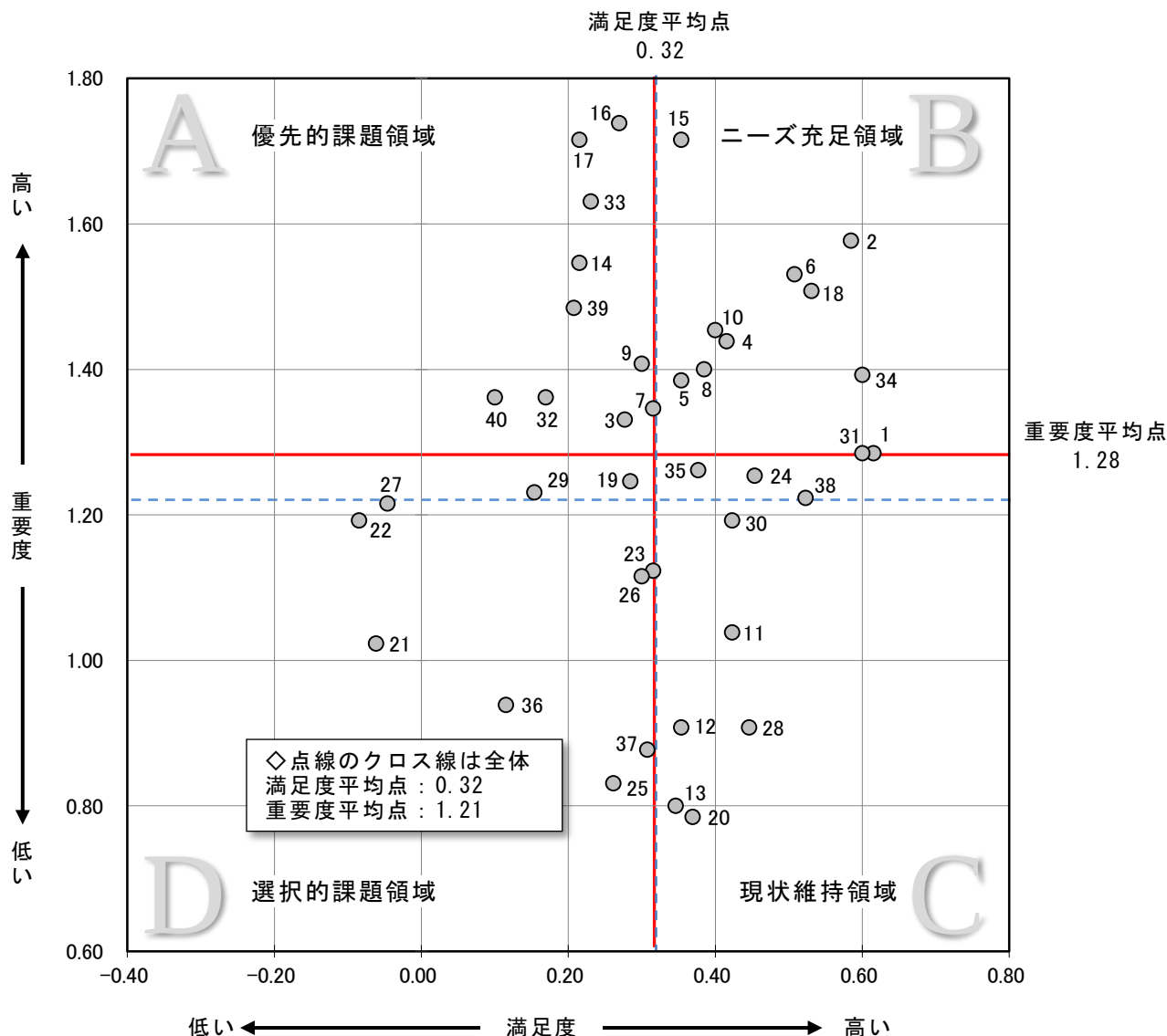
領域	施策	施策No.
B	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	平和と多文化共生社会の推進	20
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	シティプロモーションの推進	25
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	自然共生社会の構築	30
D	低炭素・循環型社会の構築	31
	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	地域を支える商業・工業の振興	21
	誰もが働きやすい環境の整備	22
	交流がひろがる拠点の形成	27
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37

第3章 調査結果〔40本の施策〕

大田地区

40本の施策について、大田地区の属する領域の施策は以下のとおりである。

満足度の平均値は0.32、重要度の平均値は1.28（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.21）となっている。



領域	施策	施策No.
A	多様な連携による地域福祉の推進	3
	多様な働き方が選択できる保育の充実	7
	きめ細やかな教育の推進	9
	みんなで取り組む地域防災力の強化	14
	被害を最小限に抑える減災対策の推進	16
	地域とともに取り組む防犯対策の推進	17
	地域公共交通の充実	32
	安全な交通環境の整備	33
	健全で安定した財政運営の強化	39
	市民に信頼される市政の推進	40
B	こころと体の健康づくりの推進	1
	安心できる地域医療体制の充実	2
	高齢者の地域生活支援の充実	4
	障がい者の地域生活支援の充実	5
	子育て家庭への支援の充実	6
	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	8
	安全で快適な教育環境の整備	10
	いざという時の危機対応力の強化	15
	迅速で適切な消防・救急体制の強化	18
	低炭素・循環型社会の構築	31

領域	施策	施策No.
B	都市の機能を高める基盤施設の整備	34
C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	11
	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	12
	歴史・文化遺産の活用と継承	13
	平和と多文化共生社会の推進	20
	魅力ある観光の振興	24
	個性と魅力あふれるまちづくりの推進	28
	自然共生社会の構築	30
	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	35
D	市民に身近な市役所づくりの推進	38
	人権尊重・男女共同参画社会の推進	19
	地域を支える商業・工業の振興	21
	誰もが働きやすい環境の整備	22
	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	23
	シティプロモーションの推進	25
	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	26
	交流がひろがる拠点の形成	27
	快適で親しみのある地域づくりの推進	29
	みんなで楽しめる公園づくりの推進	36
	市民協働と地域コミュニティの活性化	37

9. 調査結果のまとめ

（１）回答者の属性

①世帯の状況

回答者の世帯の状況は、「単身（一人世帯）」が13.3%、「夫婦のみ」が28.5%、「親と子（二世帯世帯）」が47.4%、「親と子と孫（三世帯世帯）」が8.1%、その他が1.9%、無回答が0.9%となっている。

平成27年度に実施した市民意識調査における回答者の世帯状況と比較すると、全体の構成比率では大きな違いはみられないが、「単身（一人世帯）」「夫婦のみ」の世帯が微増、「親と子と孫（三世帯世帯）」「その他」の世帯が微減となっている。

②居住状況

回答者の居住年数では、21年以上の「長期」が67.6%、6年以上20年以下の「中期」が20.8%、1年以上5年以下の「短期」が9.4%である。

平成27年度に実施した市民意識調査における回答者の居住状況と比較すると、「長期」「短期」が微増、「中期」が微減となっている。

（２）施策の評価のまとめ

①評価結果の概要

現状の満足度について最も評価点が高かった施策は、「安心できる地域医療体制の充実」で、「歴史・文化遺産の活用と継承」「都市の機能を高める基盤施設の整備」「迅速で適切な消防・救急体制の強化」が続いている。

今後の重要度について最も評価点が高かった施策は、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」で、「いざという時の危機対応力の強化」「地域とともに取り組む防犯対策の推進」「安心できる地域医療体制の充実」「安全な交通環境の整備」が続いている。

一方、評価点が最も低かった施策は、現状の満足度では、「誰もが働きやすい環境の整備」で、「地域を支える商業・工業の振興」「交流がひろがる拠点の形成」が続いている。

今後の重要度で最も評価点が低かった施策は、「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」で、「歴史・文化遺産の活用と継承」「市民協働と地域コミュニティの活性化」「平和と多文化共生社会の推進」が続いている。

②居住地区別、年齢別の上位施策

現状の満足度で全体1位の「安心できる地域医療体制の充実」は居住地区別でも全ての地区で満足度が高くなっており、2位の「歴史・文化遺産の活用と継承」も5つの地区で、4位の「迅速で適切な消防・救急体制の強化」も6つの地区で上位に位置した。

伊勢原北地区では「平和と多文化共生社会の推進」「魅力ある観光の振興」が、伊勢原南地区では「地域公共交通の充実」が、大山地区では「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」「地域とともに取り組む防犯対策の推進」が、比々多地区では「市民に身近な市役所づくりの推進」が、成瀬地区では「公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」が、大田地区と高部屋地区では「低炭素・循環型社会の構築」が他の地区とは異なる満足項目として上位に位置した。

年齢別では、全体3位の「都市の機能を高める基盤施設の整備」は30～39歳を除く全ての年齢層で上位に位置した。また、「安心できる地域医療体制の充実」は50歳以上の各層で1位となっている。

今後の重要度で全体1位の「被害を最小限に抑える減災対策の推進」と2位の「いざという時の危機対応力の強化」、4位の「安心できる地域医療体制の充実」は全ての地区で重要度が高くなっており、3位の「地域とともに取り組む防犯対策の推進」も6地区で上位に位置した。

伊勢原北地区では「多様な働き方が選択できる保育の充実」、大山地区では「地域公共交通の充実」「高齢者の地域生活支援の充実」「健全で安定した財政運営の強化」が、比々多地区と大山地区では「迅速で適切な消防・救急体制の強化」が他の地区とは異なる重要項目としてあげられている。

年齢別では、全体1位の「被害を最小限に抑える減災対策の推進」、2位の「いざという時の危機対応力の強化」、3位の「地域とともに取り組む防犯対策の推進」は全ての年齢層であげられ、4位の「安心できる地域医療体制の充実」も30～39歳以降の年齢層で重要度が高くなっている。

18～29歳と30～39歳では「多様な働き方が選択できる保育の充実」「子育て家庭への支援の充実」が他の年齢層とは異なる重要項目として上位に位置した。

③前回調査から領域が変化した施策

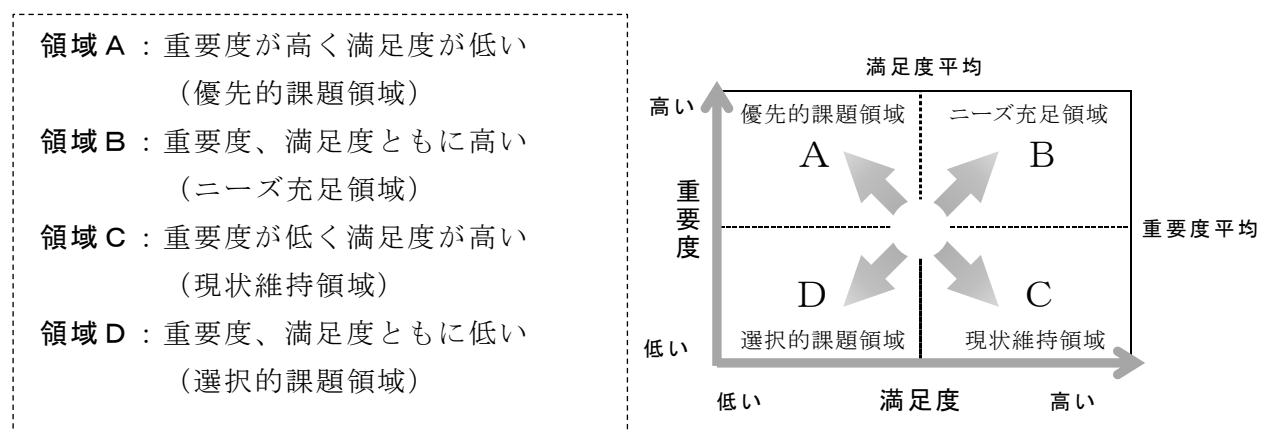
「こころと体の健康づくりの推進」「地域公共交通の充実」「都市の機能を高める基盤施設の整備」「公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」^(※1)は前回調査からニーズ充足領域（B）に変化した施策である。

一方、「多様な働き方が選択できる保育の充実」「次代を担う子ども・若者の育成支援の推進」「みんなで取り組む地域防災力の強化」「いざという時の危機対応力の強化」「地域とともに取り組む防犯対策の推進」は、いずれもニーズ充足領域（B）から優先的課題領域（A）に変化した施策である。

ニーズ充足領域（B）に関連しない施策では、「快適で親しみのある地域づくりの推進」は前回調査の優先的課題領域（A）から選択的課題領域（D）に、「交流がひろがる拠点の形成」「市民に信頼される市政の推進」は選択的課題領域（D）から優先的課題領域（A）に、「地域特性を生かした新たな産業基盤の創出」は現状維持領域（C）から選択的課題領域（D）に変化した施策である。

一方、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」及び「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」^(※2)、「人権尊重・男女共同参画社会の推進」及び「平和と多文化共生社会の推進」^(※3)、「個性と魅力あふれるまちづくりの推進」は選択的課題領域（D）から現状維持領域（C）に変化した。

- （※1）：前期基本計画の「公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」に含まれていた公園に関する内容は、今回「みんなで楽しめる公園づくりの推進」として分割され、こちらは前回の選択的課題領域（D）から変化なし。
- （※2）：前期基本計画の「学習成果を生かせる生涯学習の推進」に含まれていたスポーツ環境の整備、生涯スポーツの振興は「誰もが親しめるスポーツ活動の推進」として分割され、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」とともに現状維持領域（C）に変化した。
- （※3）：前期基本計画の「互いに尊重し合うまちづくりの推進」は、「人権尊重・男女共同参画社会の推進」と「平和と多文化共生社会の推進」に分割され、どちらも現状維持領域（C）に変化した。



第3章 調査結果〔40本の施策〕

※「令和元年度調査」欄で太字になっている施策は、前回調査から領域に変化があった施策、かつ網掛け白字は優先的課題領域（A）に変化した施策

◇令和元年度調査

第5次総合計画後期基本計画(施策40本)			
	領域	平満均足点度	平重均要点度
暮らし力(誰もが明るく暮らせるまち)			
健康やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる			
01 こころと体の健康づくりの推進	B	0.43	1.27
02 安心できる地域医療体制の充実	B	0.60	1.52
みんなで支え合う福祉のまちをつくる			
03 多様な連携による地域福祉の推進	A	0.30	1.24
04 高齢者の地域生活支援の充実	B	0.41	1.36
05 障がい者の地域生活支援の充実	B	0.33	1.30
子どもの成長をみんなで見守るまちづくり			
子どもを産み育てやすいまちをつくる			
06 子育て家庭への支援の充実	A	0.31	1.43
07 多様な働き方が選択できる保育の充実	A	0.26	1.40
子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる			
08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	A	0.27	1.36
人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり			
子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる			
09 きめ細やかな教育の推進	B	0.32	1.31
10 安全で快適な教育環境の整備	B	0.45	1.35
いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる			
11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	C	0.39	0.86
12 誰もが親しめるスポーツ活動の推進	C	0.38	0.66
13 歴史・文化遺産の活用と継承	C	0.54	0.72

◇平成27年度調査

第5次総合計画前期基本計画(施策37本)			
	領域	平満均足点度	平重均要点度
暮らし力(誰もが明るく暮らせるまち)			
健康やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる			
01 自ら取り組む健康づくりの推進	C	0.39	1.17
02 安心できる地域医療体制の充実	B	0.96	1.67
みんなで支え合う福祉のまちをつくる			
03 多様な連携による地域福祉の推進	A	0.32	1.29
04 高齢者の地域生活支援の充実	B	0.41	1.36
05 障害者の地域生活支援の充実	B	0.45	1.33
子どもの成長をみんなで見守るまちづくり			
子どもを産み育てやすいまちをつくる			
06 子育て家庭への支援の充実	A	0.31	1.48
07 多様な働き方が選択できる保育の充実	B	0.52	1.42
子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる			
08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	B	0.37	1.31
人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり			
子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる			
09 きめ細やかな教育の推進	B	0.36	1.37
10 安全で快適な教育環境の整備	B	0.52	1.25
いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる			
11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	D	0.29	0.65
12 歴史・文化遺産の継承	C	0.58	0.93

安心力(地域で助け合う安全で安心なまち)			
災害に強い安全なまちづくり			
災害から市民のいのちを守るまちをつくる			
14 みんなで取り組む地域防災力の強化	A	0.24	1.41
15 いざという時の危機対応力の強化	A	0.27	1.62
16 被害を最小限に抑える減災対策の推進	A	0.27	1.64
暮らしの安心がひろがるまちづくり			
暮らしの安全を守るまちをつくる			
17 地域とともに取り組む防犯対策の推進	A	0.30	1.54
18 迅速で適切な消防・救急体制の強化	B	0.50	1.43
一人ひとりが大切にされるまちをつくる			
19 人権尊重・男女共同参画社会の推進	C	0.38	1.13
20 平和と多文化共生社会の推進	C	0.42	0.79

安心力(地域で助け合う安全で安心なまち)			
災害に強い安全なまちづくり			
災害から市民のいのちを守るまちをつくる			
13 みんなで取り組む地域防災力の強化	B	0.44	1.57
14 いざという時の危機対応力の強化	B	0.33	1.60
15 被害を最小限に抑える減災対策の推進	A	0.12	1.58
暮らしの安心がひろがるまちづくり			
暮らしの安全を守るまちをつくる			
16 地域とともに取り組む防犯対策の推進	B	0.35	1.61
17 迅速で適切な消防・救急体制の充実	B	0.80	1.54
一人ひとりが大切にされるまちをつくる			
18 互いに尊重し合うまちづくりの推進	D	0.22	1.07

◇令和元年度調査

第5次総合計画後期基本計画（施策40本）			
	領域	平満 均足 点度	平重 均要 点度
活力（個性豊かで活力あるまち）			
産業の活力があふれる元気なまちづくり			
地域の産業が盛んなまちをつくる			
21 地域を支える商業・工業の振興	D	-0.08	1.01
22 誰もが働きやすい環境の整備	D	-0.13	1.10
23 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D	0.31	1.15
多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる			
24 魅力ある観光の振興	B	0.44	1.26
25 シティプロモーションの推進	C	0.35	0.84
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり			
都市の骨格を支えるまちをつくる			
26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	D	0.27	1.11
27 交流がひろがる拠点の形成	A	-0.03	1.23

◇平成27年度調査

第5次総合計画前期基本計画（施策37本）			
	領域	平満 均足 点度	平重 均要 点度
活力（個性豊かで活力あるまち）			
産業の活力があふれる元気なまちづくり			
地域の産業が盛んなまちをつくる			
19 地域を支える商業・工業の振興	D	-0.10	0.95
20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D	0.21	1.07
多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる			
21 伊勢原ならではの観光魅力づくり	B	0.48	1.23
22 いせはらシティセールスの推進	C	0.42	0.78
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり			
都市の骨格を支えるまちをつくる			
23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	C	0.37	1.05
24 交流がひろがる拠点の形成	D	-0.31	1.12

都市力（住み続けたい快適で魅力あるまち）			
自然と調和した住みよいまちづくり			
愛着のある美しいまちをつくる			
28 個性と魅力あふれるまちづくりの推進	C	0.35	0.87
29 快適で親しみのある地域づくりの推進	D	0.27	1.19
みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる			
30 自然共生社会の構築	C	0.38	1.18
31 低炭素・循環型社会の構築	C	0.39	1.21
快適で暮らしやすいまちづくり			
安全で円滑な移動ができるまちをつくる			
32 地域公共交通の充実	B	0.34	1.33
33 安全な交通環境の整備	A	0.21	1.51
便利で機能的なまちをつくる			
34 都市の機能を高める基盤施設の整備	B	0.51	1.31
35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	B	0.36	1.28
36 みんなで楽しめる公園づくりの推進	D	0.24	1.02

都市力（住み続けたい快適で魅力あるまち）			
自然と調和した住みよいまちづくり			
愛着のある美しいまちをつくる			
25 地域の個性あふれるまちづくりの推進	D	-0.20	0.65
26 生活環境美化の推進	A	0.29	1.23
みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる			
27 自然共生社会の構築	C	0.34	1.11
28 低炭素・循環型社会の構築	C	0.38	1.09
快適で暮らしやすいまちづくり			
安全で円滑な移動ができるまちをつくる			
30 移動しやすい交通対策の推進	A	0.21	1.26
29 バリアフリー対策の推進	A	0.17	1.44
便利で機能的なまちをつくる			
31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進	A	0.32	1.20
32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	D	0.24	1.19

自治力（みんなで考え行動するまち）			
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり			
地域の力が発揮できるまちをつくる			
37 市民協働と地域コミュニティの活性化	D	0.31	0.74
38 市民に身近な市役所づくりの推進	C	0.40	1.11
次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる			
39 健全で安定した財政運営の強化	A	0.20	1.38
40 市民に信頼される市政の推進	A	0.20	1.32

自治力（みんなで考え行動するまち）			
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり			
地域の力が発揮できるまちをつくる			
33 市民や様々な団体との市民協働の推進	D	0.26	0.62
34 多様なつながりで支える地域運営の推進	D	0.26	0.69
35 市民に身近な市役所づくり	C	0.44	1.04
次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる			
36 健全で安定した財政運営	A	0.03	1.36
37 市民に信頼される市政の推進	D	0.27	1.16

（3）評価結果の考察

今回の市民意識調査の結果のうち、現状の満足度が高い施策と低い施策を整理し、施策に対する市民意識を考察した。

暮らし力 まちづくり目標1：誰もが明るく暮らせるまち

施策「1 こころと体の健康づくりの推進」「2 安心できる地域医療体制の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、いつまでも心身ともに健康に暮らせる環境づくりや、地域の医療環境と救急医療体制の維持等の取組が評価を受けていると推察される。

施策「4 高齢者の地域生活支援の充実」「5 障がい者の地域生活支援の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、高齢者がいつまでも自分らしく暮らせる環境づくりや、障がい者が住み慣れた地域で生活できる環境づくりの取組が評価を受けていると推察される。

施策「9 きめ細やかな教育の推進」「10 安全で快適な教育環境の整備」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、小中学校へのエアコン設置や中学校給食の導入に向けた準備等、安全で快適な教育環境を整備する取組が評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「6 子育て家庭への支援の充実」「7 多様な働き方が選択できる保育の充実」「8 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進」の重要度は平均値より高いが、満足度は平均値より低くなっており、子どもを産み育てやすい環境づくり等の取組の充実が求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

- ・高齢者が増えてくる今、シルバーの方が短時間でも仕事出来るように、工夫をしてもらいたい。市からも事業者の方に声かけをしてほしい。たとえばシルバー人材センターなど。
- ・今後、高齢化がより進むので、高齢者が住みやすいまちづくりを強化し、モデル都市になる行政を行って下さい。
- ・障がい者にやさしいまち・充実したまち（暮らしや雇用）になってほしいです。そうなれば、他から注目してもらえそうです。
- ・小学生・中学生が学びやすい学校の環境を整えてほしい。
- ・中学の給食の実施の実現
- ・少子化の現在、子育て中の女性の働き手もとても大切です。今現在、子供を保育園に預けて仕事をしていても、急に具合が悪くなると、迎えにいくようです。保育園と医療の体制を整えて、安心して子育てと仕事ができると良いと思います。
- ・財源が少ないのもわかりますが、未来の担い手である子ども達や、子育て世代の方々に、住みやすい環境を作ってあげてほしいと思います。

安心力 まちづくり目標2：地域で助け合う安全で安心なまち

施策「18 迅速で適切な消防・救急体制の強化」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、消防・救急体制の強化の取組が評価を受けていると推察される。

施策「19 人権尊重・男女共同参画社会の推進」「20 平和と多文化共生社会の推進」の重要度は平均値より低い、満足度は平均値より高くなっており、人権・男女共同参画の意識啓発や、平和の継承と多文化共生社会の構築に向けた取組が一定の評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「14 みんなで取り組む地域防災力の強化」「15 いざという時の危機対応力の強化」「16 被害を最小限に抑える減災対策の推進」の重要度は平均値より高いが、満足度は平均値より低くなっており、自然災害の多発による安心・安全な暮らしに対する意識の高まりを背景に、災害から市民の命を守るまちをつくるための取組の充実が求められていると推察される。

また、施策「17 地域とともに取り組む防犯対策の推進」の重要度は平均値より高いが、満足度は平均値より低くなっており、犯罪被害に対する不安感を背景に、犯罪が起こりにくい安全なまちをつくるための取組の充実が求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

- ・災害の際の避難場所が自分たちの住んでいるところから遠すぎるので近くに必要人数を収容できる場所があればと思います。
- ・台風や地震などの災害に対応できる安全なまちづくりを、なお一層お願いいたします。
- ・過去に見ない自然環境の変化に対し、防災対策強化と市民の意識向上に引き続き尽力をお願いしたい。
- ・消防署の人員及び施設の数も多くしてほしいです。今後、新東名も出来、救急の件数も増えるため、救急車を増やし、分署も増やしてほしいです。
- ・外国人も多いので、国際フェスティバルなどで交流を図ると良いと思う。
- ・街灯をもう少し増やしてほしい。

活力 まちづくり目標3：個性豊かで活力あるまち

施策「24 魅力ある観光の振興」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、平成大山講プロジェクトの推進をはじめとする、地域資源等を活用した交流の活性化の取組が評価を受けていると推察される。

施策「25 シティプロモーションの推進」の重要度は平均値より低い、満足度は平均値より高くなっており、メディアに取り上げられる件数の増加や市公式イメージキャラクター クルリンの活用など、市の認知度向上や都市イメージ向上の取組が一定の評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「27 交流がひろがる拠点の形成」の重要度は平均値より高いが、満足度は平均値より低くなっており、多くの人が行き交う賑わいのあるまちづくりに向け、市の玄関口である伊勢原駅周辺整備の着実な推進が求められていると推察される。

第3章 調査結果〔40本の施策〕

また、施策「22 誰もが働きやすい環境の整備」は、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっており、深刻な労働力不足を背景に、働き方改革が進められるなど、働く人を取り巻く環境が大きく変化する中、様々な人々が自分の希望に沿って働くことができる環境づくりのための取組の充実が求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

- ・歴史のある大山をもっとアピールし高尾山のように整備して、大山を訪れる人が増えるようにしてほしい。
- ・伊勢原は10万人規模の市なので、拡大路線では勝負出来ません。勝負どころは「品質」です。品のよい街、品のよいお店、品のよい食べ物、これにより単価の高いビジネスが展開出来ます。違いも出せます。
- ・伊勢原駅北口前の整備、開発事業の進捗を願っています。
- ・子ども2人（男、女）は市外へ…つまり仕事が伊勢原にはなかったということです。若者が働ける職場が少ないのではと思います。高齢者ばかりが残っていては活気が出ないです。何か施策をお願いします。

都市力 まちづくり目標4：住み続けたい快適で魅力あるまち

施策「32 地域公共交通の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、伊勢原駅へのロマンスカーの常時停車化など、公共交通の利便性向上に向けた取組が評価を受けていると推察される。

施策「34 都市の機能を高める基盤施設の整備」「35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、幹線道路や公共下水道等の都市基盤施設の整備や、公共施設・インフラの適切な維持管理の取組が評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「33 安全な交通環境の整備」は、重要度は平均値よりも高いが、満足度は平均値よりも低い結果となっており、重大な交通事故の報道が相次ぐ中、誰もが安全に移動できる環境づくりのための取組の充実が求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

- ・市役所、病院に行く時、交通の不便を感じるため、できればシャトルバスをお願いしたいと思います。
- ・小田急小田原線の新宿行の始発を早めてほしい（伊勢原発4時台の電車がなし）。また、駅にロマンスカーの停車数を増やしてほしい（夕方、夜の新宿発のロマンスカーの伊勢原停車 ※土日祝、平日も含めて）。
- ・市民が便利に使いやすい公共施設の整備。
- ・自転車すごいスピードで歩道を走っている。危ないので対策をしてほしい。
- ・高速道路など便利になるのでありがたいです。交通事故が増えないように祈っています。

自治力 まちづくり目標5：みんなで考え行動するまち

施策「38 市民に身近な市役所づくりの推進」の重要度は平均値より低い、満足度は平均値より高くなっており、多様な情報媒体を活用した市政広報活動の充実や、オンライン化等による行政サービスの拡大の取組が一定の評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「39 健全で安定した財政運営の強化」「40 市民に信頼される市政の推進」は、重要度は平均値よりも高いが、満足度は平均値よりも低い結果となっており、社会環境の変化に柔軟に対応できる健全で安定した財政運営の推進や、様々な課題に柔軟に対応できる行政サービスの提供体制が求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

- ・市民にもう少し市政がどう行なわれているか、各部門別の行政を知られるよう工夫して頂きたい。市職員には非常に親切に対応していただき感謝しています。
- ・公式ホームページはなんとなく閲覧しにくい。また申請書類がダウンロード出来るが、直接入力出来ると思便利だと思う。（入力方法があると思いますが）
- ・自然、農業を守りつつ新たに伊勢原に住み始めた人に優しいまち。定年後に地元で働きたい人に地元で貢献出来る仕事を。商店街の活性化。どの年代にも優しく活気のある市。
- ・財政を健全化し、市民が喜ぶ政策をすぐに実行する市政を希望します。
- ・市政を身近に感じた事がないです。それでも特に不満があるわけでもないです。それもひとつの良い点であり、価値かもしれません。

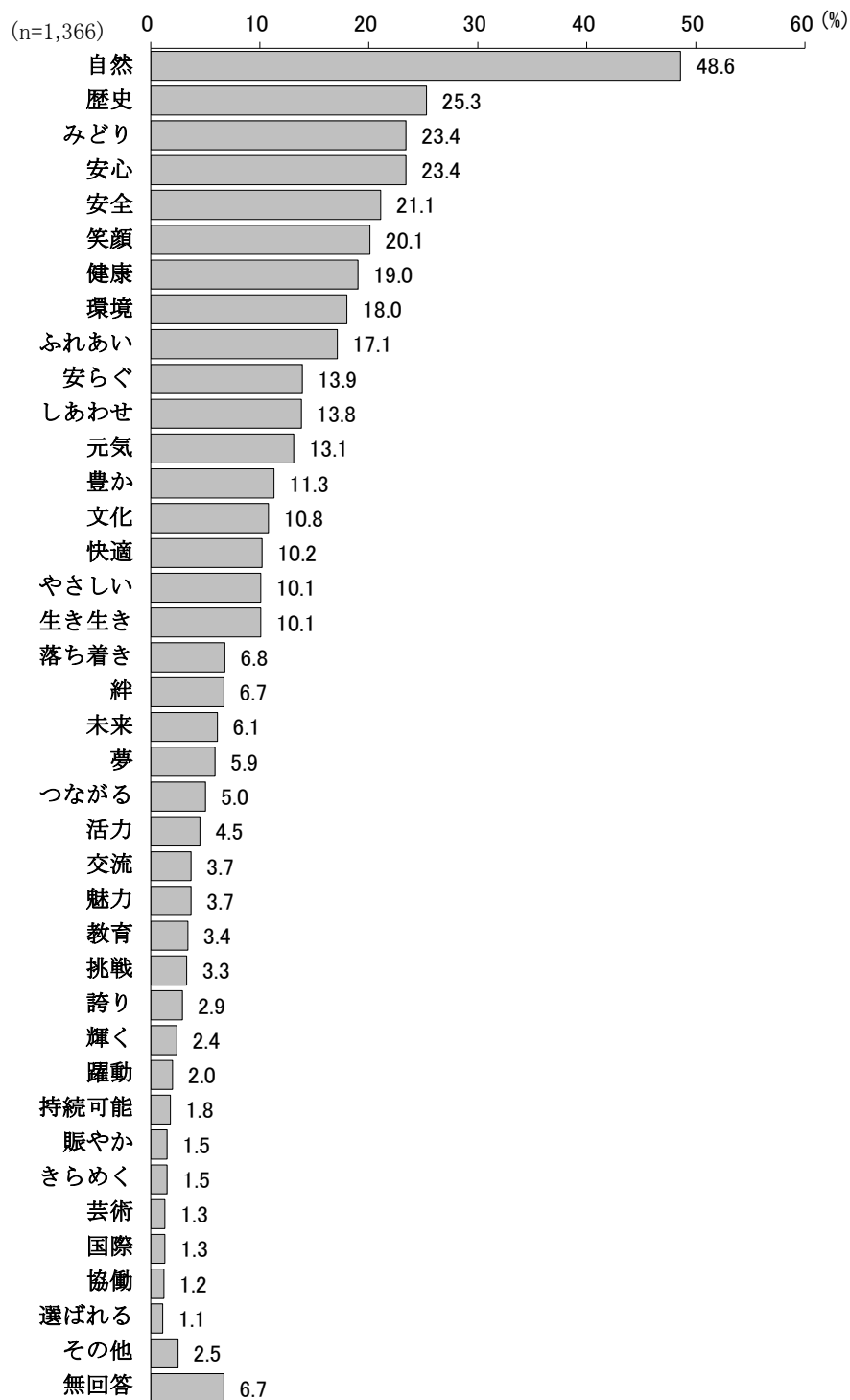
第4章 調査結果〔その他〕

1. 今後のまちづくりについて

（1）未来の伊勢原市のキャッチフレーズ

未来の伊勢原のまちを表す言葉（キャッチフレーズ）として、どのような言葉がふさわしいと思いますか。（〇は5つまで）

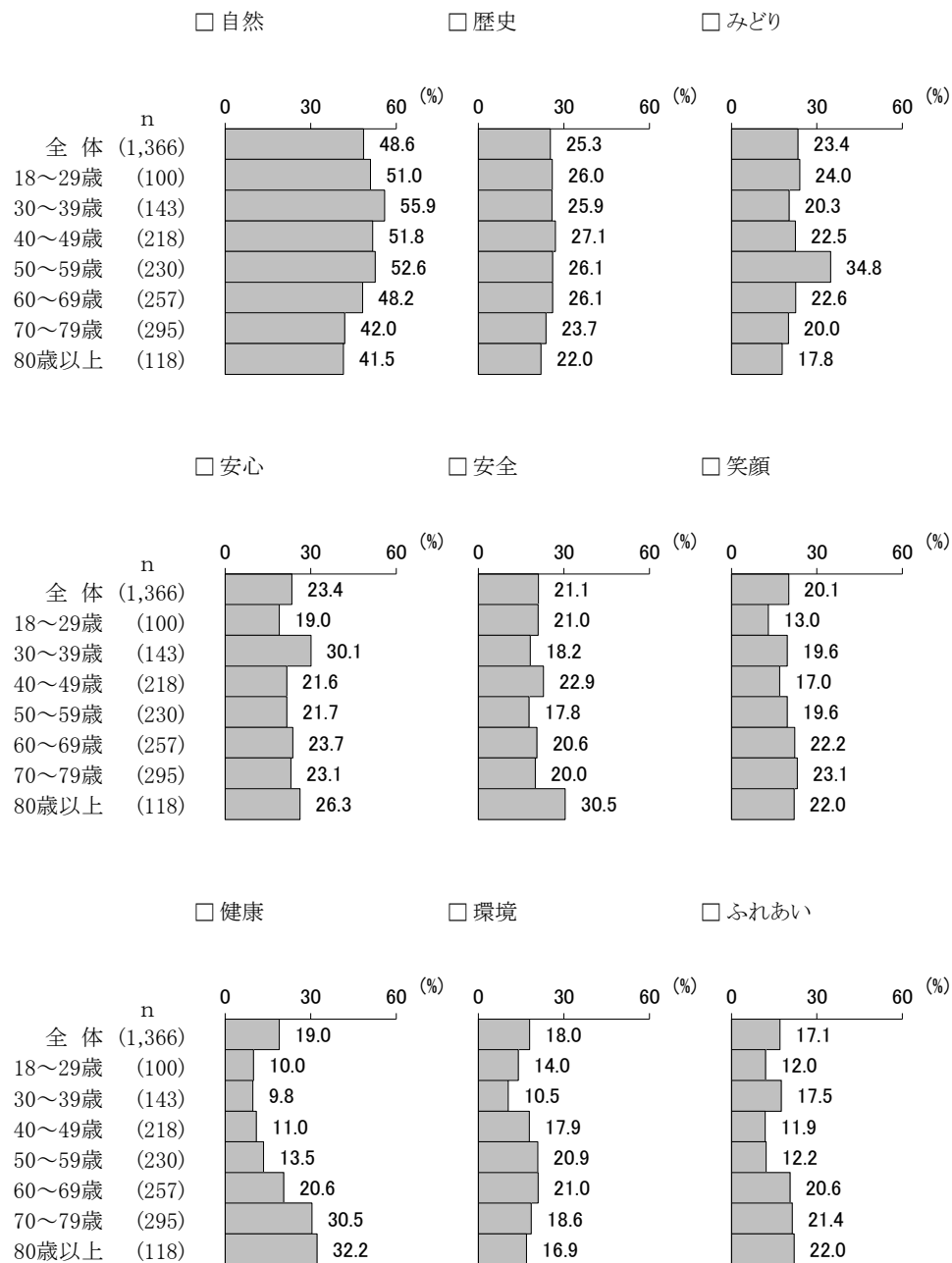
未来の伊勢原のまちを表す言葉（キャッチフレーズ）でふさわしいと思う言葉は、「自然」が48.6％と特に多く、以下、「歴史」（25.3％）、「みどり」、「安心」（23.4％）、「安全」（21.1％）、「笑顔」（20.1％）が2割台で続いている。



第4章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、全ての年齢で「自然」が4割から5割台と最も多く、「歴史」も2割台となっている。この他、「みどり」は50～59歳（34.8%）、「安心」は30～39歳（30.1%）、「安全」は80歳以上（30.5%）で3割台と他の年齢層より多く、「健康」は年齢層が上がるにつれて多くなり、70歳以上の年齢で3割台となっている。

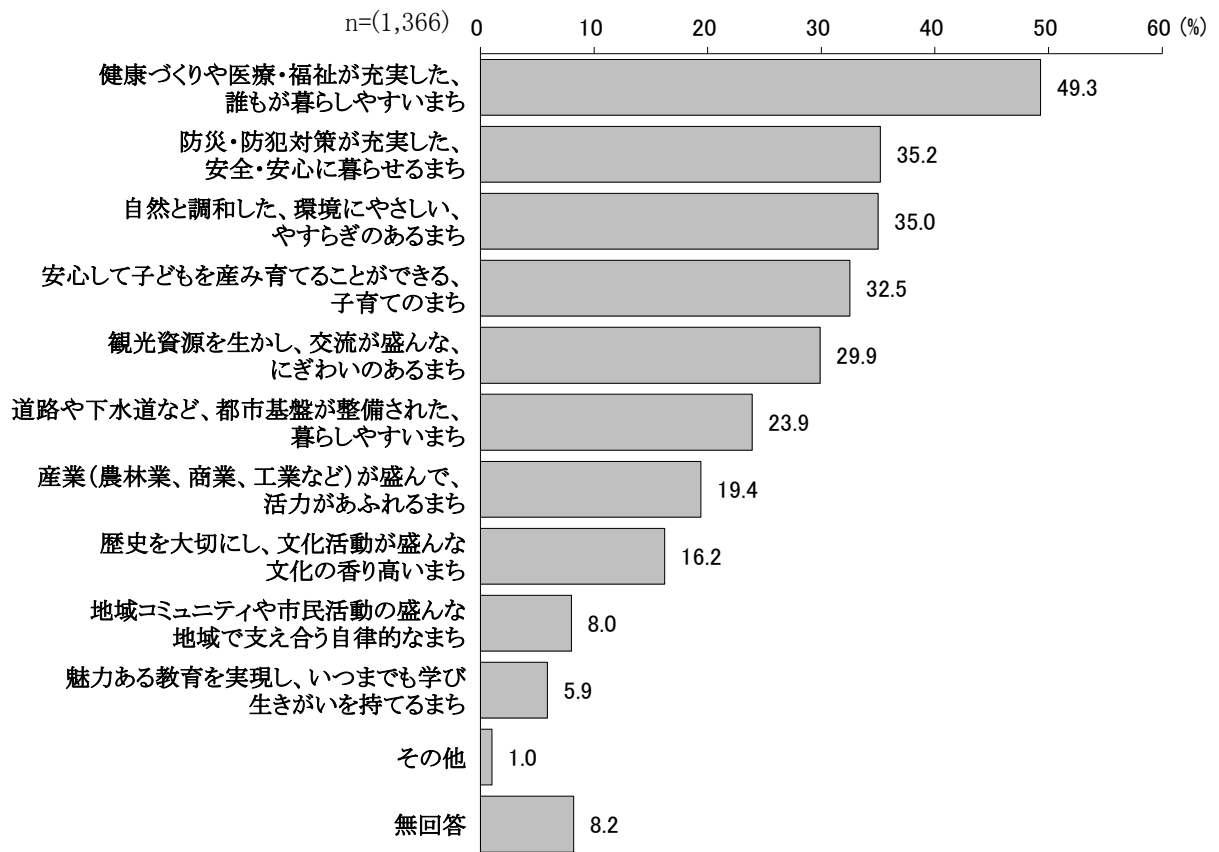
年齢別 未来の伊勢原市のキャッチフレーズ（上位9項目）



(2) 市が今後目指すべきまち

伊勢原市は今後どのようなまちを目指したらよいと思いますか。(〇は3つまで)

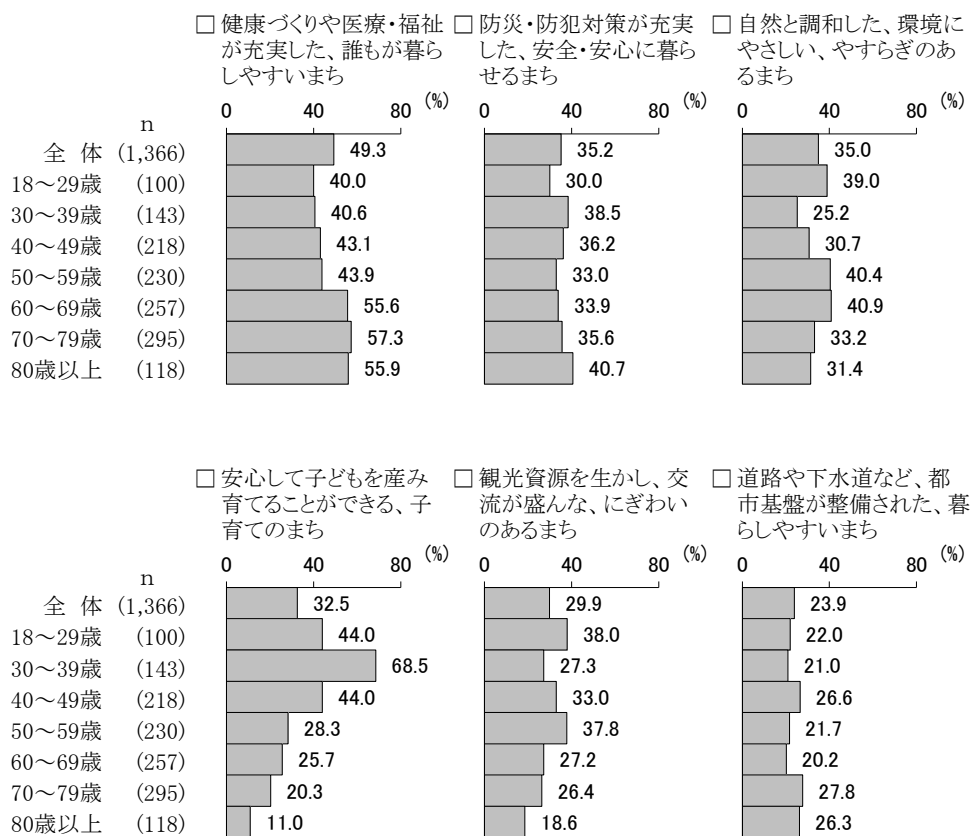
伊勢原市が今後目指すべきまちとしては、「健康づくりや医療・福祉が充実した、誰もが暮らしやすいまち」が49.3%で特に多く、以下、「防災・防犯対策が充実した、安全・安心に暮らせるまち」(35.2%)、「自然と調和した、環境にやさしい、やすらぎのあるまち」(35.0%)、「安心して子どもを産み育てることができる、子育てのまち」(32.5%)が3割台と比較的多くなっている。



第4章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、「健康づくりや医療・福祉が充実した、誰もが暮らしやすいまち」と「防災・防犯対策が充実した、安全・安心に暮らせるまち」は全ての年齢から支持されている。「安心して子どもを産み育てることができる、子育てのまち」は30～39歳で68.5%と特に多く、18～29歳、40～49歳でも4割台となり、この年齢では最も支持されている。

年齢別 市が今後目指すべきまち（上位6項目）



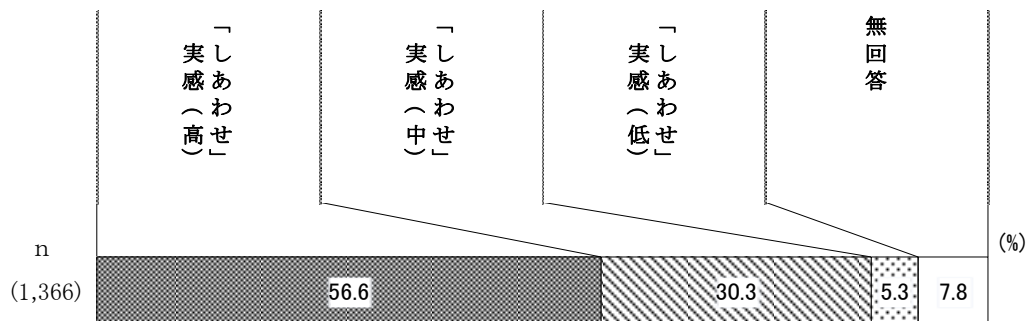
2. 「しあわせ」実感について

(1) 「しあわせ」実感

現在、あなたは実感としてどの程度「しあわせ」ですか。最高を10点、最低を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

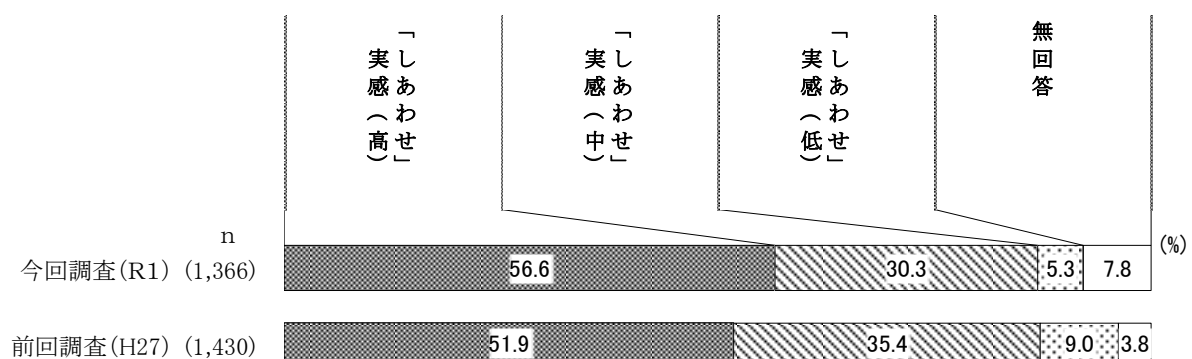
現在の「しあわせ」実感の平均点は6.88であった。

評価いただいた点数のうち、10～7点を「しあわせ実感（高）」、6～4点を「しあわせ実感（中）」、3～0点を「しあわせ実感（低）」の3段階の区分で算出すると、「しあわせ実感（高）」は56.6%、「しあわせ実感（中）」は30.3%、「しあわせ実感（低）」は5.3%となっている。



平成27年度実施の前回調査と比較すると、「しあわせ実感（高）」は4.7ポイント増加、「しあわせ実感（低）」は3.7ポイント減少となっており、「しあわせ」実感の平均点は前回調査の6.38から0.5上昇している。

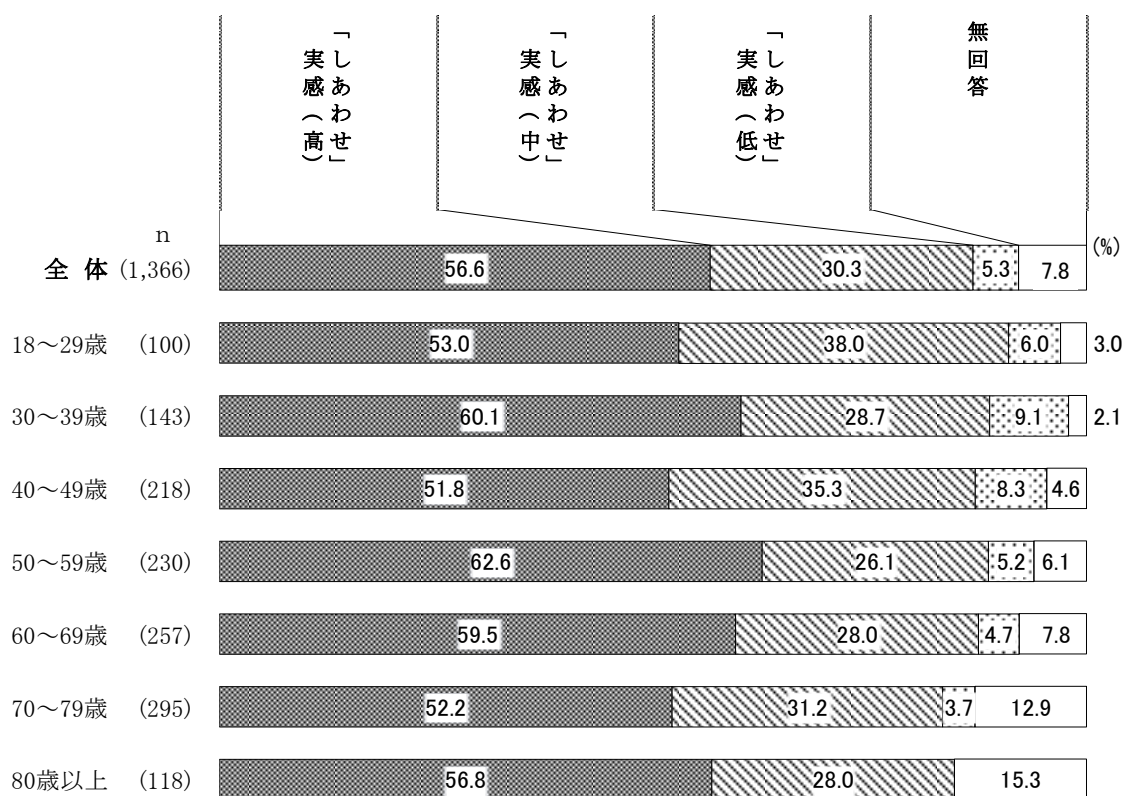
前回調査との比較 「しあわせ」実感



第4章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、全ての年齢層で「しあわせ実感（高）」は5割以上となっており、30～39歳、50～59歳、60～69歳で6割前後となっている。一方、「しあわせ実感（低）」は全ての年齢層で1割未満となっている。

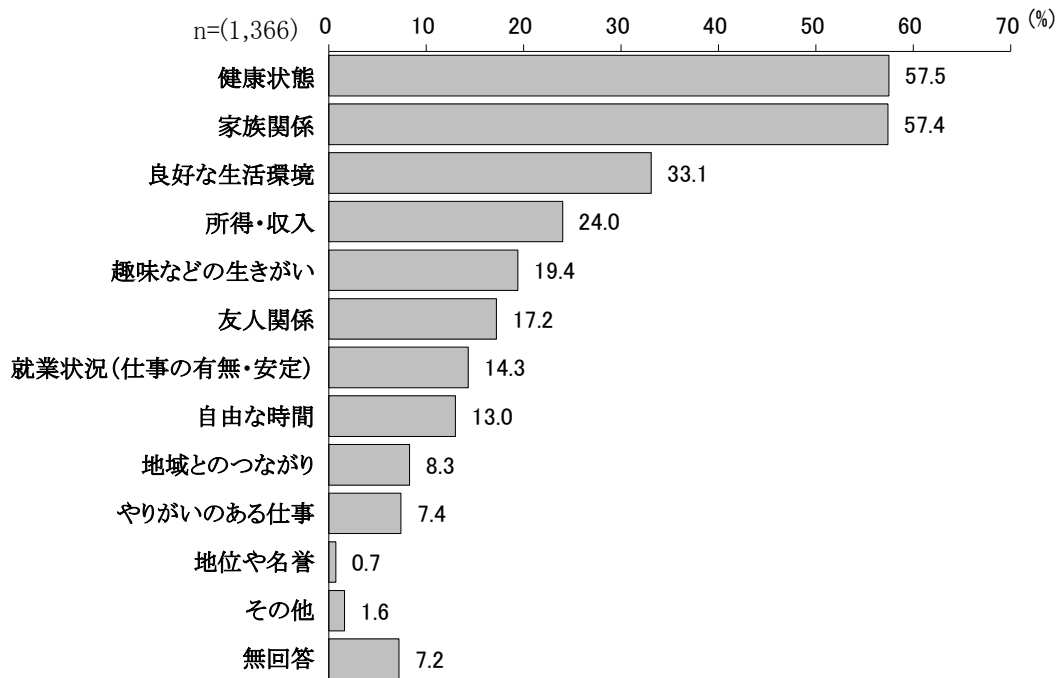
年齢別 「しあわせ」 実感



(2) 「しあわせ」実感を判断する上で重視した事項

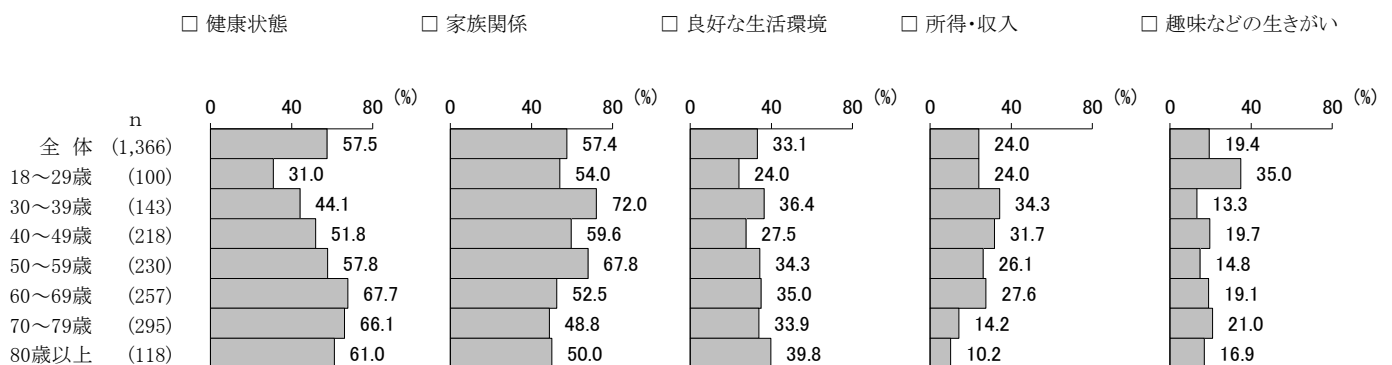
「しあわせ」実感を判断する上で、あなたが重視したことは何ですか。(〇は3つまで)

「しあわせ」実感を判断する上で重視した事項は、「健康状態」(57.5%)と「家族関係」(57.4%)の2項目が5割台で特に多く、以下、「良好な生活環境」が33.1%、「所得・収入」が24.0%、「趣味などの生きがい」が19.4%と続いている。



年齢別にみると、「健康状態」は年齢層が高いほど多く、60～69歳以降で6割台と多くなっている。「家族関係」はほとんどの年齢層で5割以上と多く、30～39歳で72.0%となっている。「良好な生活環境」は30～39歳と50～59歳以降の年齢層で、「所得・収入」は30～39歳から40～49歳の年齢層で、「趣味などの生きがい」は18～29歳で3割台と比較的多くなっている。

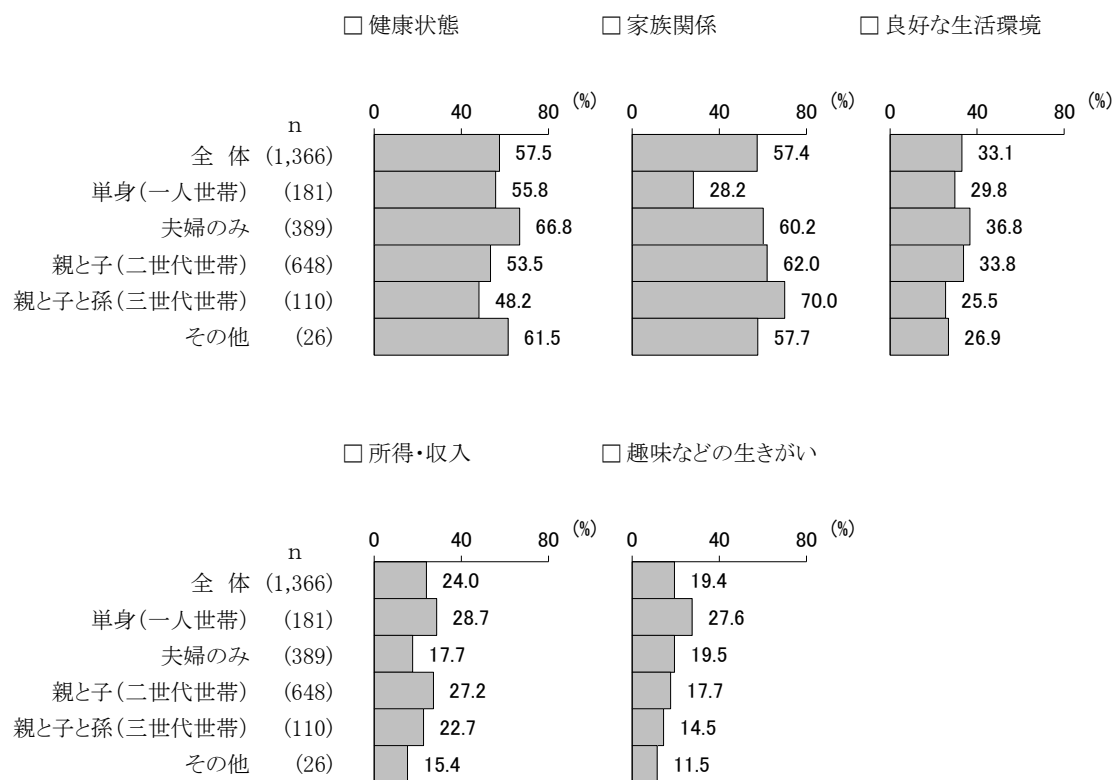
年齢別 「しあわせ」実感を判断する上で重視した事項（上位5項目）



第4章 調査結果〔その他〕

世帯の状況別にみると、「健康状態」はほとんどの世帯状況で5割から6割台となり、特に“夫婦のみ”では66.8%と多い。「家族関係」は“単身（一人世帯）”以外で5割以上となっており、“親と子と孫（三世代世帯）”では70.0%と特に多い。また、「良好な生活環境」は“夫婦のみ”と“親と子（二世代世帯）”で3割台、「趣味などの生きがい」は“単身（一人世帯）”で27.6%と他の世帯状況よりやや多くなっている。

世帯の状況別 「しあわせ」実感を判断する上で重視した事項（上位5項目）



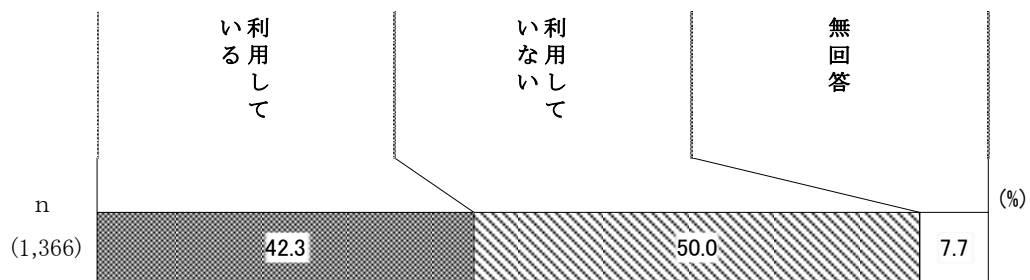
3. 市政情報について

(1) SNSの利用状況

あなたは、日頃SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。

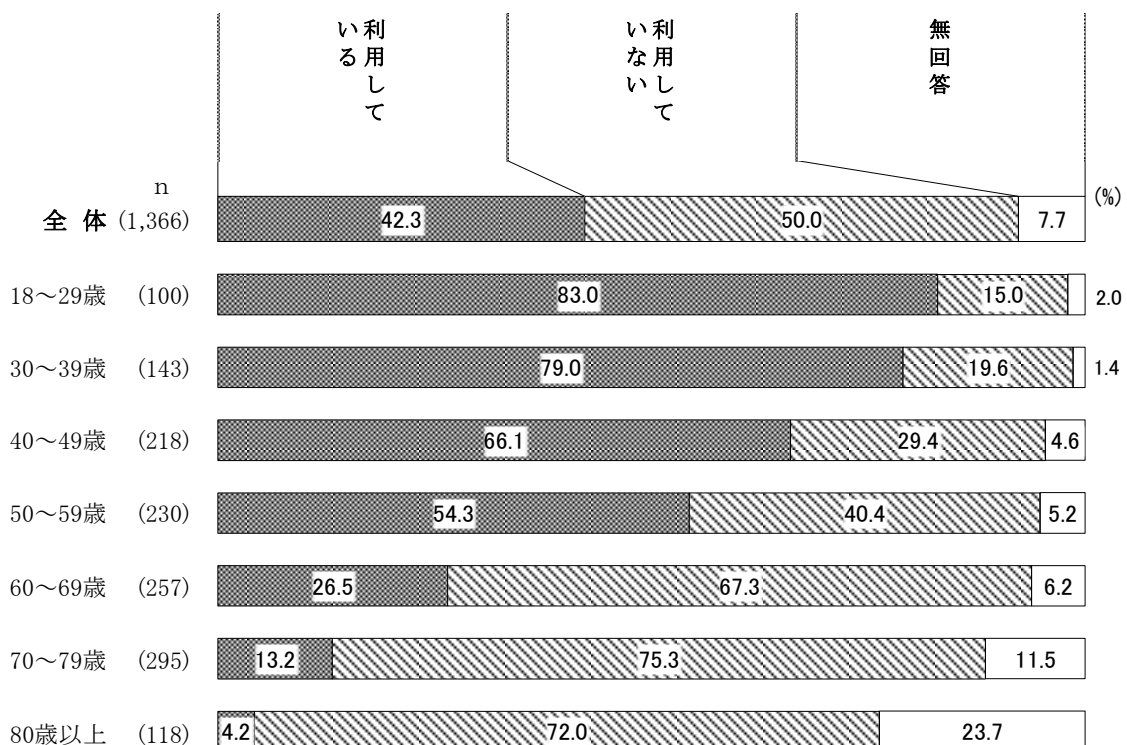
* SNSとは、インターネット上の交流を通して、社会的なつながりを構築するサービスをいいます。
代表的なものとして、ツイッターやLINE、フェイスブックなどがあります。

日頃SNSを「利用している」は42.3%、「利用していない」は50.0%となっている。



年齢別にみると、「利用している」は若い年齢層ほど多く、18～29歳で83.0%となっているが、年齢が上がるにつれて少なくなり、60～69歳を境に「利用していない」が6割以上で「利用している」を上回っている。

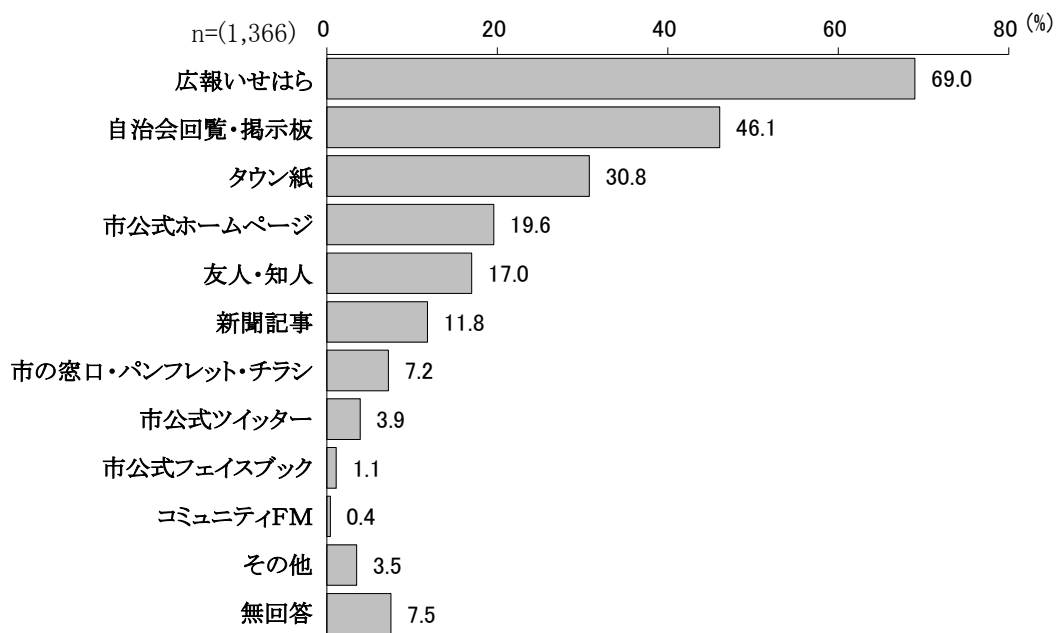
年齢別 SNSの利用状況



(2) 市からの情報の入手源

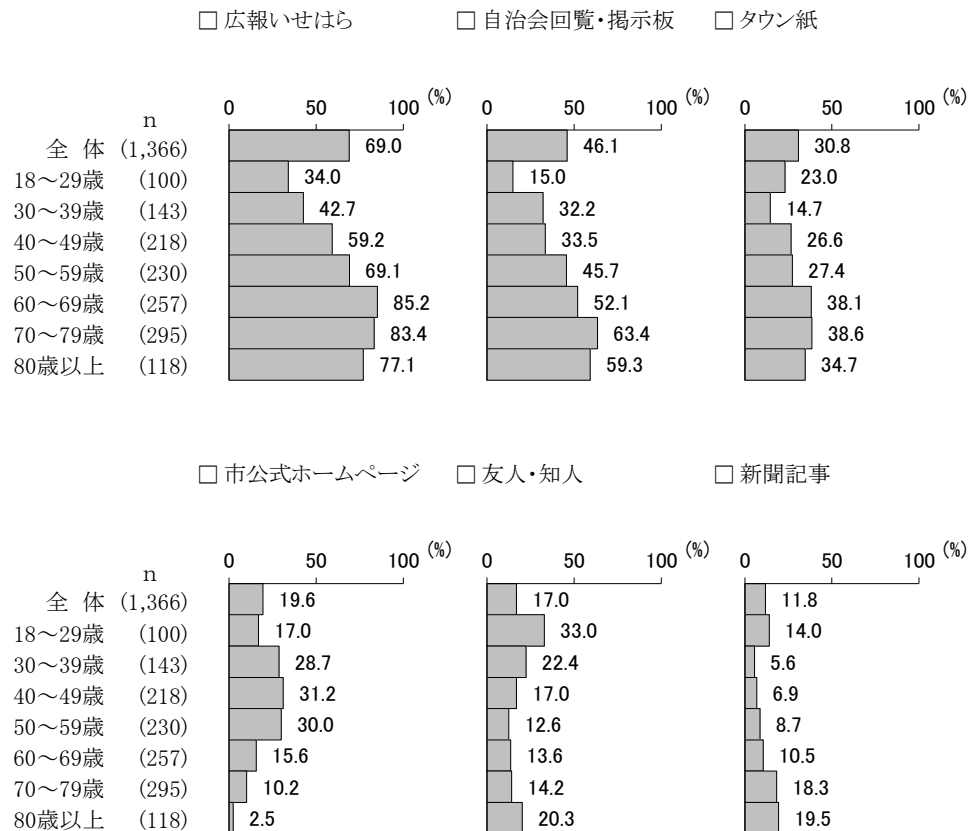
あなたは、市からの情報を、主に何から得ていますか。(〇は3つまで)

市からの情報の入手源は、「広報いせはら」が69.0%で最も多く、以下、「自治会回覧・掲示板」が46.1%、「タウン紙」が30.8%が続いている。また、「市の窓口・パンフレット・チラシ」や「市公式ツイッター」、「市公式フェイスブック」の利用者は1割未満となっている。



年齢別にみると、「広報いせはら」は60～69歳以降の年齢層で7割から8割台と多く、「自治会回覧・掲示板」は60～69歳以降の年齢層では5割から6割台、「タウン紙」は60～69歳と70～79歳で4割近くとなっており、これらの情報入手源は年齢が上がるにつれて多くなる傾向がみられる。「市公式ホームページ」は30～39歳から50～59歳で3割前後であるが、以降、年齢層が上がるにつれて少なくなる。また、「友人・知人」は18～29歳で33.0%、「新聞記事」は70～79歳と80歳以上で2割近くと他の年齢層より多くなっている。

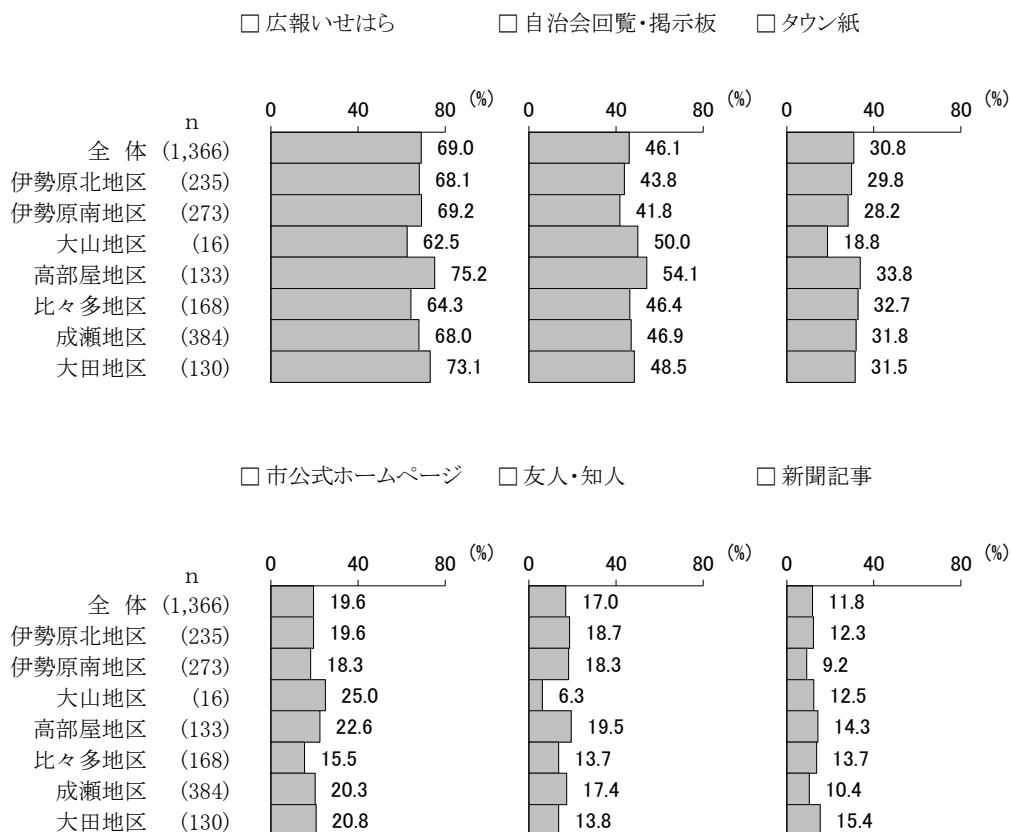
年齢別 市からの情報の入手源（上位6項目）



第4章 調査結果〔その他〕

地区別にみると、「広報いせはら」は高部屋地区と大田地区で7割台、それ以外の地区では6割台となっている。「自治会回覧・掲示板」は大山地区と高部屋地区で5割台、それ以外の地区では4割台となっている。「タウン紙」は大山地区を除く地区で3割前後、「市公式ホームページ」もほとんどの地区で2割前後となっており、地区による各情報の入手格差は比較的小さくなっている。

地区別 市からの情報の入手源（上位6項目）

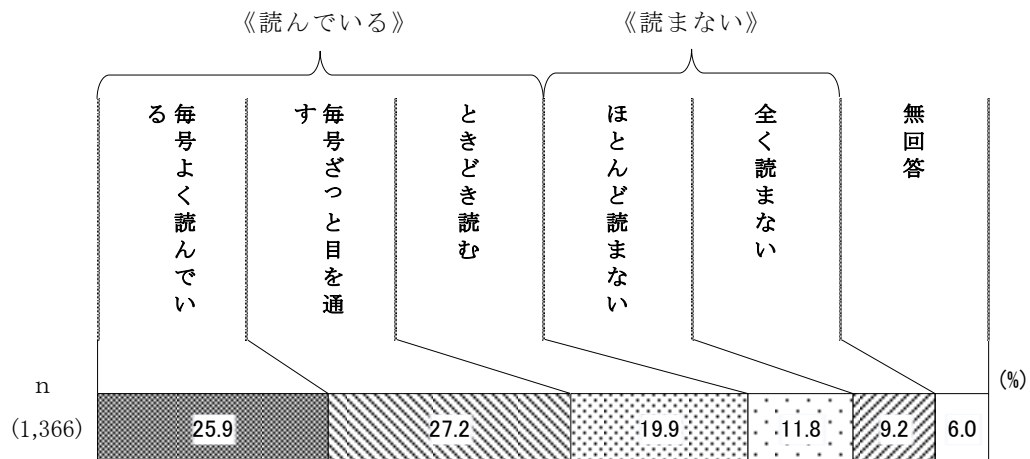


今後とも、情報源として最有力である「広報いせはら」を中心に、地域コミュニティに立脚する「自治会回覧・掲示板」「タウン紙」の活用、また、利用者が増加しており、情報伝達の即時性が期待できるSNS（市公式ツイッター、市公式フェイスブック）など、多様な情報媒体を複合的に活用していくことが必要である。

(3)「広報いせはら」の閲読状況

あなたは、「広報いせはら」をどの程度読んでいますか。(○は1つ)

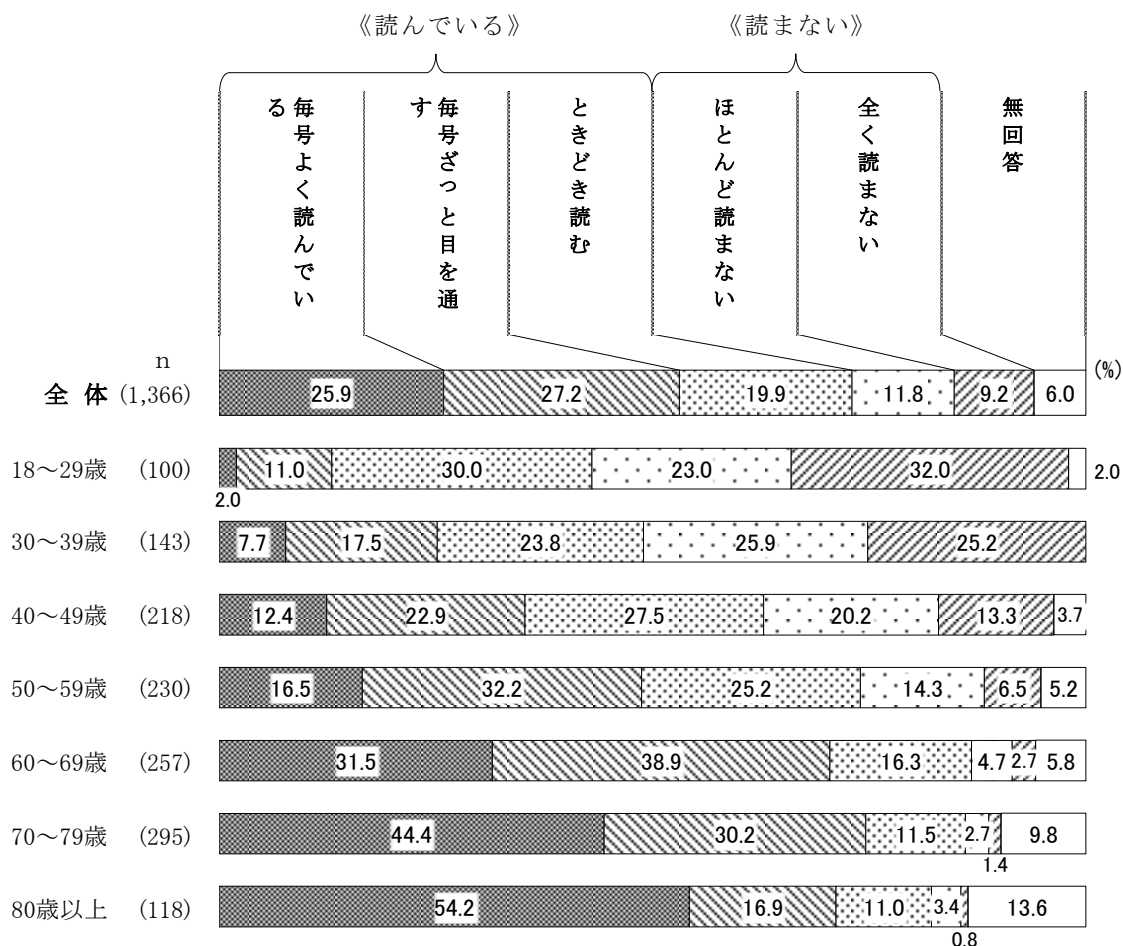
「広報いせはら」の閲読状況としては、「毎号よく読んでいる」が25.9%、「毎号ざっと目を通す」が27.2%、「ときどき読む」が19.9%で、これらをあわせた《読んでいる》は73.0%となっている。一方、「全く読まない」(9.2%)と「ほとんど読まない」(11.8%)をあわせた《読まない》は21.0%となっている。



第4章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、「毎号よく読んでいます」は80歳以上で54.2%、70～79歳で44.4%となっているが、年齢層が下がるにつれて少なくなる。「毎号ざっと目を通す」は50～59歳から70～79歳で3割台となっている。《読んでいます》でみると、50～59歳以降で7割から8割台を占めている。一方、《読まない》は18～29歳、30～39歳で5割台となっている。

年齢別 「広報いせはら」の阅读状況

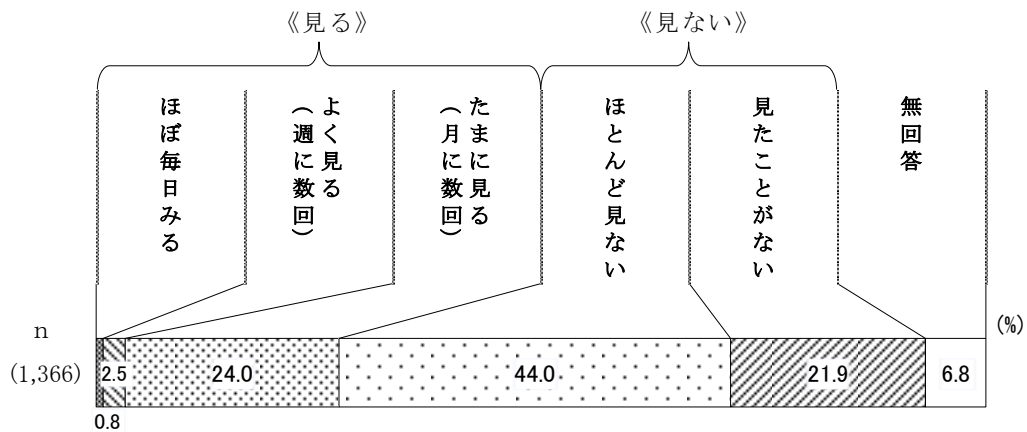


新聞未購読世帯が増加傾向にある中で、新聞折り込みを補完するため、ポスティング配布やスマートフォンアプリによる配信の継続的な実施が求められる。また、18～39歳代の若年・子育て世代にも親しまれる紙面作りに努める必要がある。

(4) 市のホームページの閲覧状況

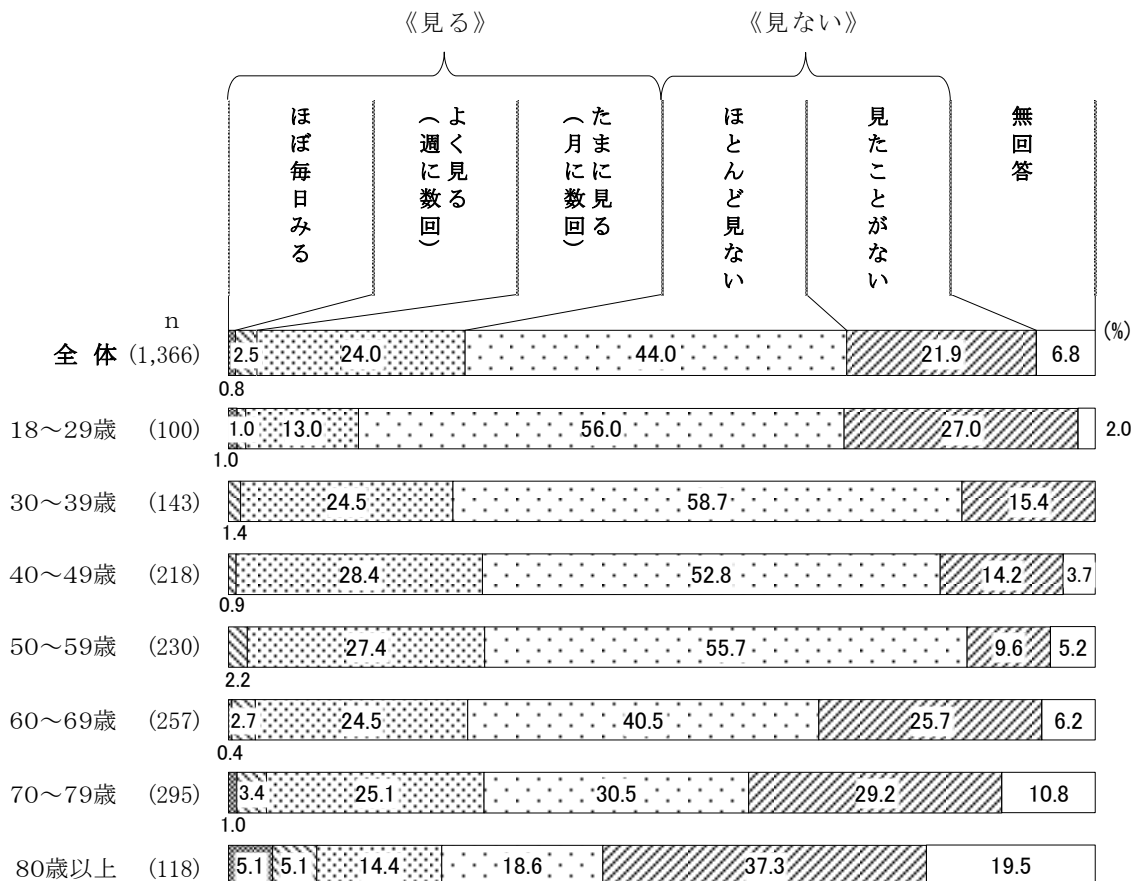
あなたは、市のホームページをどの程度見ますか。(〇は1つ)

市のホームページの閲覧状況は、「ほぼ毎日見る」(0.8%)、「よく見る(週に数回)」(2.5%)はわずかであるが、「たまに見る(月に数回)」が24.0%となっており、これらをあわせた《見る》は27.3%となっている。一方、「見たことがない」(21.9%)と「ほとんど見ない」(44.0%)をあわせた《見ない》は65.9%となっている。



年齢別にみると、《見る》は30～39歳以降の年齢層で2割台となっている。《見ない》は、18～29歳が83.0%と多く、30～39歳から60～69歳の年齢層でも6割から7割台となっている。

年齢別 市のホームページの閲覧状況

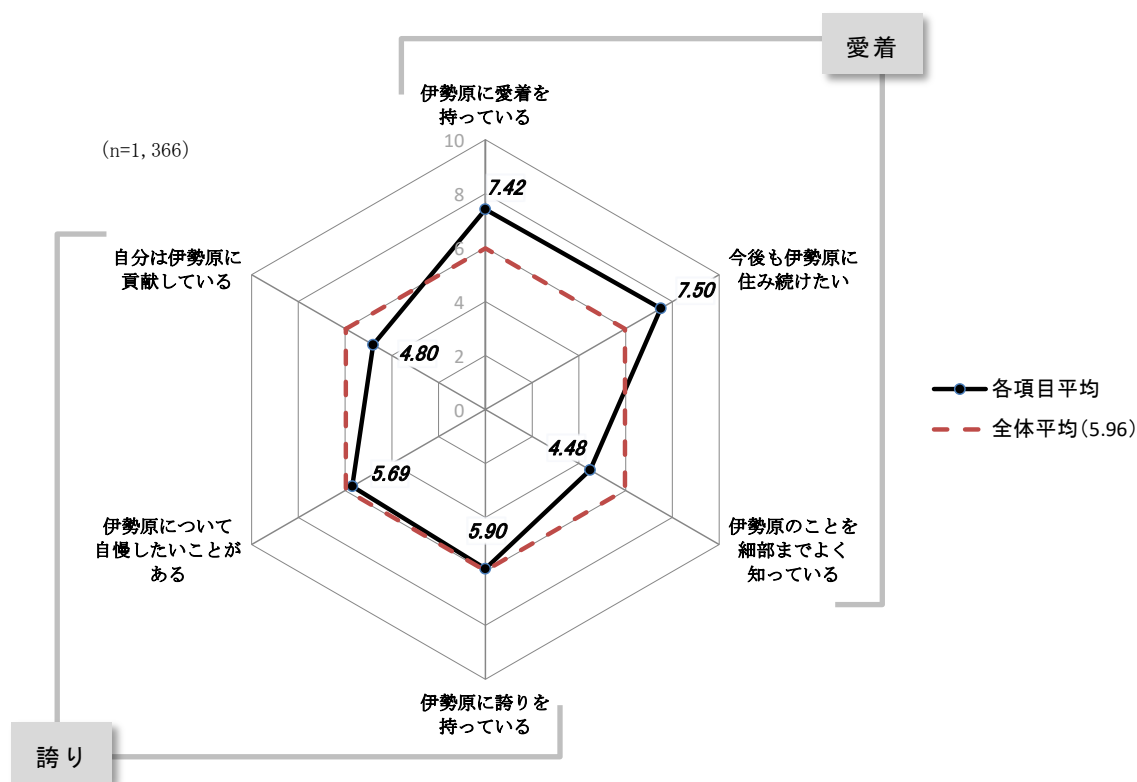


4. 伊勢原に対する愛着や誇り等について

以下の項目それぞれについて、あなたご自身はどのくらい感じていますか。最高を10点、最低を0点として、いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

（1）伊勢原に対する愛着や誇り

伊勢原に対する愛着や誇り等に関する6項目の点数の平均点をグラフ化したものが以下の図である。6項目中「今後も伊勢原に住み続けたい」（7.50）や「伊勢原に愛着を持っている」（7.42）の2項目は7点台と高く、平均値以上となっている。一方、「自分は伊勢原に貢献している」（4.80）、「伊勢原のことを細部までよく知っている」（4.48）は4点台にとどまっている。



全体の平均点：5.96

項目		各項目平均点	分野別平均点
愛着	伊勢原に愛着を持っている	7.42	6.47
	今後も伊勢原に住み続けたい	7.50	
	伊勢原のことを細部までよく知っている	4.48	
誇り	伊勢原に誇りを持っている	5.90	5.46
	伊勢原について自慢したいことがある	5.69	
	自分は伊勢原に貢献している	4.80	

年齢別にみると、「愛着」「誇り」とも80歳以上が7.31と最も高い評価を示し、「愛着」では18・19歳と60歳以上で、「誇り」では18・19歳と50歳以上で平均点を上回っている。

居住年数別にみると、「愛着」「誇り」とも21年以上の長期居住者が最も高い評価を示しており、平均点を上回っている。

年齢別 伊勢原に対する愛着や誇り

	全 体	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
「愛着」関連項目の 分野別平均点	6.47	6.69	5.47	5.66	6.12	6.33	6.73	6.94	7.31
「誇り」関連項目の 分野別平均点	5.46	5.49	4.49	4.70	4.99	5.49	5.67	5.90	6.40

居住年数別 伊勢原に対する愛着や誇り

	全 体	1 年 未 満	1 ～ 5 年	6 ～ 10年	11～ 20年	21年 以上
「愛着」関連項目の 分野別平均点	6.47	4.64	5.01	5.34	6.01	6.92
「誇り」関連項目の 分野別平均点	5.46	3.62	4.32	4.31	4.98	5.89

今後、「愛着」「誇り」関連項目において低評価であり、他の項目向上にも影響すると思われる「伊勢原のことを細部までよく知っている」「自分は伊勢原に貢献している」を引き上げることに注力すべきであると考えられる。

（２）市外への推奨度

ネットプロモータースコア（NPS）の手法を用い、市外への「推奨度」を指標化するため、推奨意向を10（非常に薦めたい）～0（全く薦めたくない）の11段階のスケールで測定し、以下の例に基づいて「推奨者」、「中立者」、「批判者」に区分して、「推奨者－批判者」のスコアを算出する。

NPSの手法では、「推奨者」の配点構成が小さいことから、一般的に数値はマイナス寄りに算出される傾向となる。以下に例を示す。

例：設問ごとに“各点数をつけた人数”に着目し、

「推奨する立場」の人（推奨者）の構成比（8～10点をつけた割合）、

「推奨も批判もしない受動的な立場」の人（中立者）の構成比（6～7点をつけた割合）、

「批判的な立場」の人（批判者）の構成比（0～5点をつけた割合）を算出する。

ここでは、20.0%から25.0%を減じた数値マイナス5.0がNPSとなる。

点数	各点数をつけた人数		各立場の構成比
10点	◎人	「推奨する立場」 (推奨者)	20.0%
9点	◎人		
8点	◎人		
7点	△人	「推奨も批判もしない受動的な立場」 (中立者)	55.0%
6点	△人		
5点	×人	「批判的な立場」 (批判者)	25.0%
4点	×人		
3点	×人		
2点	×人		
1点	×人		
0点	×人		

上記の算出例に基づき、「推奨度」について算出したところ、「伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい」がマイナス14.0、「伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい」がマイナス25.3となっている。

				(推奨者－批判者)
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	推奨 29.7%	中立 26.6%	批判 43.7%	-14.0
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	推奨 25.1%	中立 24.6%	批判 50.4%	-25.3

年齢別にみると、「伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい」（以降「訪問を薦めたい」と略す）、「伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい」（以降「居住を薦めたい」と略す）ともに80歳以上で特に高く、若年層ほど低い傾向にある。

居住年数別にみると、「訪問を薦めたい」「居住を薦めたい」とともに居住年数に比例して上昇している。

年齢別

	全 体	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	-14.0	-53.8	-47.6	-41.2	-26.1	-10.6	-9.5	0.7	20.5
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	-25.3	-46.1	-50.0	-46.1	-42.1	-24.4	-20.8	-15.2	16.9

居住年数別

	全 体	1年 未満	1～ 5年	6～ 10年	11～ 20年	21年 以上
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	-14.0	-56.5	-35.2	-33.1	-23.6	-5.7
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	-25.3	-60.9	-48.4	-49.5	-34.4	-16.7

第 5 章 自由意見

1. 自由意見

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

①意見総数

今後のまちづくりや市政について、意見を自由に記述していただいたところ、全体で834件の自由意見が寄せられた。なお、1人で2つ以上の分野にわたって回答している場合は、延べ件数としてカウントした。

5つの力	基本政策	件数
暮らし力	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	55
	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	79
	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	33
安心力	災害に強い安全なまちづくり	39
	暮らしの安心がひろがるまちづくり	22
活力	産業の活力があふれる元気なまちづくり	146
	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり	62
都市力	自然と調和した住みよいまちづくり	37
	快適で暮らしやすいまちづくり	187
自治力	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	118
その他		56
合計		834

②自由意見の概要

基本政策ごとの自由意見について、関連する意見を項目ごとに分類し概要としてまとめた。

◆暮らし力

健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

【健康・医療】	29
・医療機関や医療体制への意見、要望	10
・健（検）診に関する意見、要望	7
・健康施策に関する意見、要望	6
・医療費や健康保険料に関する意見、要望	4
・医療機関や医療体制に対する安心感	2
【高齢者・介護】	13
・高齢者施策や介護保険制度に関する意見、要望	8
・高齢者が優先のまちづくりに関する評価	1
・就労などへの支援	1

第5章 自由意見

・「いせはら救急安心セット」に対する評価	1
・高齢者向け温泉割引券の充実	1
・自動車免許返納後の生活基盤の充実	1
【障がい者】	12
・高齢者や障がい者が住みやすいまちづくり	11
・障がい者施策の充実	1
【生活保護】	1
・生活保護者受給資格の厳格なチェックの実施	1

子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

【保育・子育て】	76
・子育て支援施策や施設の充実	41
・小児医療費助成制度や予防接種費用の充実	14
・子どもの遊び場（屋内・屋外）に関する意見、要望	8
・保育所の充実	4
・子育てしながら就労しやすい環境づくり	2
・母子保健手帳に関する不満、要望	2
・子どものいる貧困世帯への支援	2
・マタニティマークのデザインへの不満	1
・街中の授乳場所の増設	1
・保育士の処遇改善	1
【青少年育成】	3
・高校生・大学生の子のいる世帯への支援	2
・若者のひきこもり対策	1

人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり

【学校・教育】	15
・中学校給食に関する意見、要望	4
・教育環境の整備、安全強化	2
・学校教育の充実	2
・中学校における通学や学校内での服装の改善	2
・I T教育の推進	1
・P T Aの活動時間帯の改善	1
・教職員の待遇改善	1
・特別支援教育の推進	1
・中学生の自転車通勤区域の条件緩和	1

【生涯学習、スポーツ活動】	10
・運動関連施設に関する意見、要望	9
・生涯学習施設に関する意見	1
【歴史・文化】	8
・市内外へのPRの充実	3
・まちの歴史を知る機会、教育の推進	2
・文化的施設の整備不足	1
・歴史アドバイザーの有効活用	1
・歴史を感じる街並の整備促進	1

◆安心力

災害に強い安全なまちづくり

【防災】	39
・避難方法や避難所に関する意見、要望	13
・防災用行政無線や情報提供に関する意見、要望	11
・減災の推進	8
・河川氾濫や大雨浸水、水害対策の推進	5
・市民参加の防災訓練の充実	1
・消防署の人員や施設、救急体制の充実	1

暮らしの安心がひろがるまちづくり

【防犯、救急】	19
・防犯灯や街灯、防犯カメラの増設	11
・治安に対する不安、要望	5
・近隣の空き家に対する不安	1
・暴力団の排除	1
・訪問販売やセールス等を規制する条例等の制定	1
【多文化共生】	3
・イベント等での外国人との交流促進	1
・市役所窓口での外国人居住者のための通訳サポートの導入	1
・近隣諸国との付き合い方	1

◆活力

産業の活力があふれる元気なまちづくり

【商業・工業】	30
・大型ショッピングモールやレジャー施設、娯楽の充実	8
・買い物難民対策	8
・賑わいのある商業地の形成	4

第5章 自由意見

・道の駅の整備	4
・遊びに来てもらえる魅力あるまちづくり	3
・産業の発展	2
・個人事業の活性化	1
【雇用環境】	7
・企業誘致の促進	5
・就労支援	2
【農業】	12
・地産地消の推進、地場産品に関する要望	8
・農業支援	3
・農業体験の実施	1
【観光・イベント】	65
・大山や日向薬師への観光客受け入れ態勢整備	24
・道灌まつりや花火大会に関する評価、意見、要望	10
・市民が盛り上がるための行事、イベントの実施	7
・温泉施設の整備	6
・観光資源を活かした積極的な施策の推進	5
・市内回遊を促進する移動手段などの工夫	3
・イベントの一覧などの情報提供	3
・土産品のクオリティ向上	3
・観光施策の実態把握と柔軟な思考力を持つ人材の登用	2
・駅前に伊勢原観光会館の建設	1
・若者のアイデアを中心にしたまちの資源活用	1
【シティプロモーション】	32
・伊勢原市のPRの工夫、充実	14
・クルリンに関する評価、要望	7
・大山以外のアピールポイントの創出	6
・ふるさと納税を利用したPR	2
・伊勢原品質の創出	1
・市の四季のポストカード作成	1
・「聖地巡礼」の場としてメディアとのコラボレーション	1

都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

【交流拠点】	58
・伊勢原駅周辺のまちづくり、再開発に関する意見、要望	48
・駅前トイレに関する意見、要望	5
・愛甲石田駅周辺のまちづくりに関する意見、要望	3
・伊勢原駅、ターミナルに関する意見、要望	2

【その他】	4
・他市から来た人へのわかりやすいロードマップの作成	1
・電線や電柱の地中化	1
・ベンチ設置に関する要望	1
・広い区画をもった住宅地整備	1

◆都市力

自然と調和した住みよいまちづくり

【生活環境、美化】	26
・ゴミ集積所や回収に関する要望	7
・自然環境を活かした景観づくりや、まちづくりの推進	6
・鳥獣や野良犬、猫、害虫対策	3
・自然環境の保全	3
・企業に対する自然環境保護の啓発	2
・河川の美化や土手の整備	2
・ゴミの減量化	2
・資源ごみ回収に関する評価	1
【住民の意識】	10
・ペット飼育者のマナー啓発	4
・個人宅の越境樹木や臭気マナーの啓発	3
・ゴミの不法投棄の撲滅	2
・家庭内で余った介護用品やベビー用品の有効活用	1
【土地利用、農地】	1
・遊休、休耕農地の活用	1

快適で暮らしやすいまちづくり

【道路、歩道】	66
・道路整備や歩道整備、標識整備、信号機設置	47
・渋滞の解消や交通規制	10
・専用道（自転車専用や散歩道）の整備	3
・駅付近に送迎用スペースや駐車場の確保	2
・伊勢原大山 I C や伊勢原 J C T 完成による活性化	2
・視覚障がい者用点字ブロックに関する要望	1
・伊勢原駅付近の踏切廃止	1
【公園、緑地】	28
・子どもが遊んだり身体を動かせる公園、広場に関する要望	19
・公園の美化や管理に関する要望	5
・まちの緑化推進	4

【交通】	43
・コミュニティバスやバス路線の充実	23
・交通安全や安全運転指導、交通事故対策	7
・交通利便性の改善	7
・駐車違反や交通違反取り締まり強化	3
・公共の無料駐車場の整備	2
・ドライブレコーダー購入補助制度の創設	1
【上下水道】	8
・上下水道や排水設備に関する要望	6
・上水道の水質調査実施に関する要望	1
・水道管の更新に関する要望	1
【公共施設】	31
・公共施設に関する要望（公民館、図書館、児童館、子ども科学館）	20
・小動物の動物園や自然を重視した安らぐ施設の整備	2
・温水プール等に関する要望	2
・市役所の駐車場に関する要望	2
・市職員の接遇に関する要望	2
・集会所の整備	1
・公園墓地の設置	1
・公共施設の相互利用に温泉割引を追加	1
【インフラ】	2
・生活インフラの整備	1
・都市ガス化の推進	1
【その他】	9
・住みたい、住んでよかった安心のまちづくり	8
・調整区域を撤廃した新しいまちづくり	1

◆自治力

市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

【市民活動、市民協働】	12
・自治会や子ども会、老人会に関する要望	6
・ボランティア活動に関する要望	4
・自助、共助、公助の認識、実践の推進	1
・市民コミュニティの場の提供	1
【市役所】	61
・職員の接遇等に関する要望	10
・市政や行事等の情報提供に関する要望	10
・広報誌の充実や配布に関する要望	7

・職員数や職務意識に関する不満、要望	6
・他市に遅れのない取組	5
・若者から高齢者まですべての世代が住みよいまちづくり	5
・総合戦略（人口問題）に関する要望	3
・オンライン化の推進	2
・市民の声を広く聴く機会の設置	2
・市ウェブサイトの充実	2
・箱物行政より今必要とされている施策の実施	2
・市や各課での目標の明確化	2
・情報格差のない施策	1
・データセキュリティ保護とA Iの導入	1
・職員を増員して事務作業のスピードアップ化	1
・将来都市像について市民との共通認識の形成	1
・若者の柔軟な考えの採用	1
【行財政運営】	30
・市税の使い道に関する不満、要望	9
・財政再建、改革に関する要望	8
・税金徴収に関する要望	6
・財源確保や税収に関する要望	5
・ふるさと納税に関する要望	2
【その他】	15
・現状で問題ない	7
・議員や選挙に関する意見、要望	6
・地域格差の是正	2

その他

・アンケートに関する意見 (アンケート手法、市の施策を知った、難しい内容で評価しづらい 等)	47
・その他	9

第 6 章 使用した調査票

令和元年度「伊勢原市まちづくり市民意識調査」へのご協力をお願い

日ごろより、伊勢原市の市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、本市が進めるまちづくりについて、市民の皆さまのお考えやご意見をお聞かせ
いただくため、市民意識調査を実施いたします。

調査の実施にあたっては、市内に居住する満18歳以上の方3,000人を無作為で選ば
せていただきました。

お忙しいところ、ご面倒をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいます
よう、お願いいたします。

令和元年11月

伊勢原市長 高山 松太郎

◆回答にあたって◆

- 質問への回答は、宛名にあるご本人がお答えください。
- お名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、
11月22日（金）までに郵便ポストへ投函してください。
* 切手は不要です。

<問い合わせ先>

伊勢原市役所 企画部経営企画課

電話：0463-94-4845（直通）

I あなた自身のことについておうかがいします（令和元年11月時点でお答えください）

次の各項目について、あてはまるものを1つ選んで数字に○を付けてください。

1 性別

1 男性 2 女性

2 年齢

1 18・19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～79歳 8 80歳以上

3 世帯の状況

1 単身（一人世帯） 2 夫婦のみ 3 親と子（二世帯世帯）
4 親と子と孫（三世帯世帯） 5 その他（ ）

4 伊勢原市にお住まいの年数

1 1年未満 2 1～5年 3 6～10年 4 11～20年 5 21年以上

5 お住まいの町（字）名（東大竹1丁目 など）

伊勢原市（ ）

6 職業など

1 自営業主 2 会社などの役員 3 正規の職員・従業員
4 パート・アルバイト・派遣社員など 5 家事従業者 6 専業主婦・主夫
7 学 生 8 無 職 9 その他（ ）

伊勢原市では、第5次総合計画 後期基本計画（平成30年度～令和4年度） に基づくまちづくりを計画的に進めています

この調査票では、総合計画に掲げる40本の施策などについて、あなた様のお考えをうかがいます。

■伊勢原市第5次総合計画とは

総合計画は、長期的な展望に立ったまちづくりの指針です。人口減少や少子高齢化の進展をはじめとする様々な課題に対応するため、平成25（2013）年度から令和4（2022）年度を計画期間とする「第5次総合計画」に基づくまちづくりを進めています。

豊かな自然の中でみんなが力を合わせ、さらに発展した新しいまちを創造し、誰もがしあわせを実感できる明るい未来を築いていくことをめざし、将来都市像を「しあわせ創造都市 いせはら」と定め、その実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。



伊勢原市第5次総合計画の詳細は、HPでご覧いただけます。

<http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2013111300011/>

Ⅱ 伊勢原市のまちづくりの施策についておうかがいします

この項目では、「伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画」に掲げる40本の施策に関する現状の満足度や今後の重要度についてうかがいます。

回答欄の左側にある施策の概要等をお読みいただき、あなたの実感やお考えに近いものを、それぞれ1つ選んで番号に○を付けてください。

【記入例】

施策 01 こころと体の健康づくりの推進	あなたの判定
健康づくりの支援や生活習慣の改善を促し、いつまでも心身ともに健康に暮らせる環境を整えます。	① 満足である
■これまでの主な取組	2 やや満足である
・糖尿病予防等の健康教育や、保健師・栄養士による相談助言の実施	3 あまり満足でない
・各種がん健診や、健康パス測定会の実施 など	4 満足でない
□成果の一例	① 重要である
・特定保健指導 ^(※1) 実施率 13.1% (H28) → 15.5% (H30)	2 やや重要である
・健康パス測定会 ^(※2) の参加者数 449人 (H28) → 555人 (H30)	3 あまり重要でない
(※1) 特定健診の結果から、生活習慣病の発症の可能性が高いと判定された方への食事や運動などの改善指導	4 重要でない
(※2) 健康測定機器を搭載した車両で地域に出向く測定会	

施策の概要、これまでの主な取組、これまでの成果を記載しています。

あなたの実感やお考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、該当する番号に○を付けてください。

■「暮らし力」に関する質問です。

施策 01 こころと体の健康づくりの推進		あなたの判定	
健康づくりの支援や生活習慣の改善を促し、いつまでも心身ともに健康に暮らせる環境を整えます。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・糖尿病予防等の健康教育や、保健師・栄養士による相談助言の実施 ・各種がん健診や、健康バス測定会の実施 など □成果の一例 ・特定保健指導 ^(※1) 実施率 13.1% (H28) → 15.5% (H30) ・健康バス測定会 ^(※2) の参加者数 449 人 (H28) → 555 人 (H30) (※1) 特定健診の結果から、生活習慣病の発症の可能性が高いと判定された方への食事や運動などの改善指導 (※2) 健康測定機器を搭載した車両で地域に出向く測定会		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 02 安心できる地域医療体制の充実		あなたの判定	
いつでも適切な医療を受けられるよう、地域の医療環境と救急医療体制の維持を図ります。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・かかりつけ医の普及・定着に向けた講座などの開催 ・安定した救急医療環境を確保するための財政支援の実施 など □成果の一例 ・かかりつけ医の普及啓発講座の参加者数 未実施 (H29) → 24 名 (H30) ・市内医療機関における救急医療の実施率 (内科、外科) 100% (H28) → 100% (H30)		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 03 多様な連携による地域福祉の推進		あなたの判定	
共助に関する理解を促進し、市民や事業者と連携しながら、地域の福祉活動が活発なまちづくりを推進します。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・地域住民による支え合い組織への側面支援 ・成年後見制度 ^(※1) の利用促進及び市民後見人の育成 など □成果の一例 ・福祉ボランティアの人数 3,835 人 (H29) → 4,047 人 (H30) ・地域福祉の推進に関する講座などの受講者数 73 人 (H28) → 154 人 (H30) (※1) 判断能力が不十分な人や加齢に伴い将来に不安がある方などを、法的に保護し、支えるための制度		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 04 高齢者の地域生活支援の充実		あなたの判定	
高齢者の社会参加を促すとともに、地域で生活を支える仕組みをつくり、高齢者がいつまでも自分らしく暮らせる環境を整えます。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・介護予防教室の開催やミニデイ（サロン）の活動支援 ・地域包括支援センター ^(※1) による高齢者とその家族への支援 など □成果の一例 ・介護予防教室の参加者数 12,407 人 (H28) → 19,877 人 (H30) ・地域包括支援センターの設置箇所数 地域型 4 箇所、ブランチ 1 箇所 (H29) → 地域型 5 箇所、ブランチ 1 箇所 (H30) (※1) 高齢者や介護のことでお困りの方などの地域の総合相談窓口		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 05 障がい者の地域生活支援の充実		あなたの判定	
障がい者の地域での暮らしや就労を支援し、障がい者が住み慣れた地域で生活できる環境を整えます。		満足度	1 満足である
■これまでの主な取組 ・相談支援事業所の機能強化や、設置箇所を増設 ・就労移行支援 ^(※1) などの実施 など □成果の一例 ・相談支援事業所数 12 事業所 (H28) → 14 事業所 (H30) ・就労移行支援及び就労継続支援のサービス利用者数 272 人 (H28) → 357 人 (H30) (※1) 一般企業等へ就労を希望する方の能力向上のための訓練支援			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		2 やや重要である	
		3 あまり重要でない	
		4 重要でない	
施策 06 子育て家庭への支援の充実		あなたの判定	
子育て家庭の相談・交流の場の提供や、経済的支援を通じて、子育てしやすい環境を整えます。		満足度	1 満足である
■これまでの主な取組 ・地域の子育て支援拠点として、子育て支援センターや「つどいの広場」、 「子育てひろば」を運営 ・妊婦健康診査費用や妊婦歯科検診費用の助成 など □成果の一例 ・妊婦健康診査の受診率 80% (H28) → 83% (H30) ・子どもの貧困対策について、現状やニーズを把握するため、緊急度の高い子どもを抱える世帯に対するアンケートの実施 (H30)			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		2 やや重要である	
		3 あまり重要でない	
		4 重要でない	
施策 07 多様な働き方が選択できる保育の充実		あなたの判定	
保育環境の充実により、仕事と子育てを無理なく両立できる環境を整備します。		満足度	1 満足である
■これまでの主な取組 ・保育の提供体制の拡充に向けた保育関連施設の整備 ・児童コミュニティクラブの効率的な運営の推進 など □成果の一例 ・保育関連施設（認定こども園、認可保育所、小規模保育施設）の施設数 22 施設 (H29) → 24 施設 (H30) ・子育てに関する出張相談、休日・夜間相談の実施箇所数 0 箇所 (H29) → 2 箇所 (H30)			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		2 やや重要である	
		3 あまり重要でない	
		4 重要でない	
施策 08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		あなたの判定	
子どもや若者が安全・安心な環境で健やかに成長し、自立できる環境を整えます。		満足度	1 満足である
■これまでの主な取組 ・放課後の児童の安心・安全な居場所として、地域住民の協力を得て行う「放課後子ども教室」の新規開設 ・青少年に関する相談や街頭指導の実施 など □成果の一例 ・放課後子ども教室の設置箇所数 4 箇所 (H29) → 5 箇所 (H30) ・婚活セミナーなどの開催数 0 回 (H29) → 1 回 (H30)			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		2 やや重要である	
		3 あまり重要でない	
		4 重要でない	

施策 09 きめ細やかな教育の推進		あなたの判定	
社会環境の変化や個々のニーズに対応した指導体制の充実により、児童生徒の成長を支える環境を整えます。 ■これまでの主な取組 ・小・中学校へのALT（外国語指導助手）の配置や小学校高学年における教科担当制の推進 ・スクールカウンセラーや教育相談員の配置 など □成果の一例 ・小学校3～6年生の各学級におけるALT授業数(平均) 5,6年生17回/年(H29) → 3,4年生10回/年 5,6年生17回/年(H30) ・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 1,600回(H28) → 2,368回(H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 10 安全で快適な教育環境の整備		あなたの判定	
児童生徒の心身の健やかな成長を支えるために、安全で快適な教育環境を整えます。 ■これまでの主な取組 ・普通教室等へのエアコン設置や、小中学校校舎・体育館におけるトイレの洋式化などのリニューアルの推進（R元年度2施設リニューアル） ・令和2年1月から試行する中学校給食の導入に向けた準備 など □成果の一例 ・エアコン設置に係る設計業務(H30～R元年度) ・中学校給食の導入に向けた取組状況 方針決定(H29)→導入準備(H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進		あなたの判定	
市民が生涯にわたって学習できる機会を充実させ、様々な世代の交流や地域の活性化を促します。 ■これまでの主な取組 ・市民活動団体や地域団体との連携事業の実施（いせはら市民大学講座 など） ・図書館事業を支援するボランティアの育成・支援講座の開催 など □成果の一例 ・社会教育に関するホームページの閲覧数 863件(H28) → 3,507件(H30) ・図書館事業を支援するボランティアの人数 48名(H29) → 64名(H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 12 誰もが親しめるスポーツ活動の推進		あなたの判定	
市民誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境を整えます。 ■これまでの主な取組 ・市選手権大会、市総合体育大会、スポーツ指導者養成講座の実施や、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加 ・タグラグビーや、パラリンピックの正式競技種目であるボッチャなどの教室や講習会などの実施 など □成果の一例 ・健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数 590人(H28) → 792人(H30) ・パラリンピックの正式競技種目であるボッチャの教室や講習会などの開催数 未実施(H29) → 4回(H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない

施策 13 歴史・文化遺産の活用と継承		あなたの判定	
文化財の保護や多角的な活用により、様々な人が本市の歴史や文化に親しみ、継承していく仕組みづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・展示会や文化財ウォークなどの文化財関連イベントの開催 ・日本遺産事業を推進する伊勢原市日本遺産協議会の運営支援 など □成果の一例 ・文化財を活用したイベントの参加者数 4,000 人(H27) → 6,517 人(H30) ・日本遺産関連のイベント数 4 回／年(H28) → 6 回／年(H30)		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

■ここからは、「安心力」に関する質問です。

施策 14 みんなで取り組む地域防災力の強化		あなたの判定	
地域住民や事業者等と協働し、地域の防災体制を整えます。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・防災アドバイザー制度の創設や防災協力事業所数の拡大に向けた取組 ・大規模災害の発生を想定した総合防災訓練の実施 など		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
□成果の一例 ・防災講話・防災教室の参加者数 3,000 人(H29) → 3,031 人(H30) ・女性防災リーダー研修会の参加者数 未実施(H29) → 28 人(H30)			

施策 15 いざという時の危機対応力の強化		あなたの判定	
様々な災害や危機事態から市民を守る、危機管理体制を強化します。			
■これまでの主な取組 ・民間事業者などとの災害時協力協定の締結に向けた取組 ・新東名高速道路の高架下を利用した中央備蓄倉庫の整備に向けた取組 など		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
□成果の一例 ・事業者や他自治体などとの災害時協力の協定数 53 本(H29) → 55 本(H30) ・首都直下地震の避難者数を想定した主な公的備蓄品の備蓄率 55.1%(H29) → 85.2%(H30)		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 16 被害を最小限に抑える減災対策の推進		あなたの判定	
平時からの計画的な備えにより、災害による被害が最小限となるまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・公共下水道の耐震対策工事・浸水対策工事の実施 ・浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの情報を掲載するハザードマップの更新に向けた取組 など □成果の一例 ・公共下水道汚水管（幹線）の耐震化率 42.3%（H28）→ 48.5%（H30） ・防災・医療拠点の流下機能の確保率^{（※1）} 76%（H29）→ 80%（H30） （※1）防災・医療拠点の排水を受ける管路の総延長に対する耐震対策済み延長の割合		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 17 地域とともに取り組む防犯対策の推進		あなたの判定	
地域における防犯体制の整備と防犯意識の啓発により、安全なまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・防災、防犯などに関する緊急情報や、市民生活に役立つ情報を配信する「いせはらくらし安心メール」の運用 ・犯罪の発生抑止などを目的とした防犯カメラの設置 など □成果の一例 ・くらし安心メールの登録者数 10,554 人(H29) → 12,141 人(H30) ・防犯カメラの設置箇所数 11 箇所(H29) → 13 箇所(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 18 迅速で適切な消防・救急体制の強化		あなたの判定	
市民の生命や財産が守られ、安全・安心を実感できるまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・消防水利が不足する地域への消火栓の計画的な整備 ・新東名高速道路のトンネル災害に対応する資機材の整備 など □成果の一例 ・消防水利施設整備計画に基づく消防水利の整備箇所数 1,032 カ所(H29) → 1,033 カ所(H30) ・新東名の開通を見据えた救助資機材及びトンネル災害対応資機材の整備 未実施(H29) → 資機材整備(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 19 人権尊重・男女共同参画社会の推進		あなたの判定	
すべての人が尊重され、男女が自らの意思で様々な分野の活動に参画できる社会を築きます。 ■これまでの主な取組 ・男女共同参画フォーラムや啓発講座の開催 ・児童や高齢者、障がい者に対する虐待の未然防止に向けた啓発の実施 など □成果の一例 ・児童虐待防止に関する啓発事業の参加者数 1,000 人(H29) → 1,913 人(H30) ・高齢者虐待防止研修会などの参加者数 247 人(H28) → 256 人(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 20 平和と多文化共生社会の推進		あなたの判定	
平和な社会を次代へ継承するとともに、国籍などの異なる人々が、多様な価値観を認め合いながら、ともに暮らせる社会を築きます。 ■これまでの主な取組 ・平和の尊さを未来へ語り継ぐ「平和のつどい」の開催 ・外国籍市民などとの交流活動の実施 など □成果の一例 ・平和関連事業の参加人数 1,143 人(H29) → 1,331 人(H30) ・外国籍市民などとの交流活動の参加人数 100 人(H29) → 300 人(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

■ここからは、「活力」に関する質問です。

施策 21 地域を支える商業・工業の振興		あなたの判定	
地域経済を支える工業やまちに賑わいを生む商業の振興により、地域経済の活性化を図ります。 ■これまでの主な取組 ・関係機関などと連携した企業誘致活動の実施 ・商店街活性化イベントへの支援や、空き店舗補助金制度を活用した創業者などへの支援の実施 など □成果の一例 ・企業立地促進条例の適用件数（税制上の優遇措置） 2件(H30) ・商店街団体等による活性化イベントの開催件数 15回(H28) → 16回(H30)		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 22 誰もが働きやすい環境の整備		あなたの判定	
女性や高齢者等、様々な人々が市内で自分の希望に沿って働くことのできる環境を整えます。 ■これまでの主な取組 ・関係機関などと連携した創業相談や創業セミナーの実施 ・ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催 など □成果の一例 ・就労・創業などに関連する事業件数 5件(H28) → 5件(H30) ・ワーク・ライフ・バランスに関するホームページでの情報提供数 未実施(H29) → 3件(H30)		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 23 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		あなたの判定	
農業経営の安定化と農畜産物の付加価値向上により、持続的に農業が営まれる環境づくりを推進します。 また、市の貴重な財産である森林資源が、次代に確実に引き継がれる環境を整えます。 ■これまでの主な取組 ・担い手への農地の集積、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲や防除対策の実施 ・関係機関との連携による地域ブランド「日本遺産のまち 伊勢原うまいものセレクト」制度の立ち上げ など □成果の一例 ・農地の集積・集約化面積 97ha(H28) → 119ha(H30) ・いせはらブランドの選定数 35品目(H29) → 74品目(H30)		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 24 魅力ある観光の振興		あなたの判定	
地域資源等を活用した交流の活性化により、1年を通じて国内外から多くの観光客で賑わうまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・観光行事・イベントの実施や観光客の受入態勢の強化 ・日向地区におけるハイキングコースの整備や、比々多地区における観光企画イベント・登山道修繕の実施 など □成果の一例 ・伊勢原に迎え入れる観光客数 185万8千人(H28) → 194万9千人(H30) ・観光客が市内で消費する観光消費額 22億2千9百万円(H28) → 24億1千9百万円(H30)		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 25 シティプロモーションの推進		あなたの判定	
積極的な情報発信により市内外に伊勢原の魅力を分かりやすく伝え、認知度や都市イメージの向上、愛郷心の醸成を図ります。 ■これまでの主な取組 ・市公式イメージキャラクター「クルリン」の活用 ・若者のアイデアを活かしたシティプロモーション動画の作成・配信など □成果の一例 ・シティプロモーション公認サポーター^(※1) 数 25 団体(個人) (H28) → 49 団体(個人) (H30) ・シティプロモーション動画の作成・配信 5 本 (H30～R 元) (※1) 市に愛着を持ち、その魅力を発信してくれる個人や団体	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出		あなたの判定	
新たな産業用地の創出によって、企業を集積し雇用機会を拡充することで、地域経済の活性化を図ります。 ■これまでの主な取組 ・成瀬地域の東部第二土地区画整理組合に対する技術的・財政的支援 ・高部屋地域の伊勢原大山インター周辺地区における、土地区画整理組合の設立に向けた取組 など □成果の一例 ・東部第二地区における基盤整備工事の進捗率 42% (H28) → 77% (H30) ・伊勢原大山インター周辺地区における土地区画整理事業の推進 事業化検討(H28) → 事業化準備(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 27 交流がひろがる拠点の形成		あなたの判定	
伊勢原駅周辺の市街地整備が進み、多くの人が行き交う賑わいのあるまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・都市計画道路伊勢原駅前線の用地先行取得 など □成果の一例 ・都市計画道路伊勢原駅前線の用地取得率 41% (H28) → 48% (H30) ・伊勢原駅北口暫定バス乗降場等の整備、 利用開始による交通環境改善 (H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

■ここからは、「都市力」に関する質問です。

施策 28 個性と魅力あふれるまちづくりの推進		あなたの判定	
様々な主体との協働により、豊かな自然や地域の魅力を生かした景観まちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・大山地区における景観まちづくりの考え方をまとめた「大山まちなみ継承地区ガイドライン」の作成 ・景観写真展及び景観シンポジウムの開催や、地域景観資源の登録 など □成果の一例 ・景観協議の件数 (累計) 127 件(H28) → 204 件(H30) ・景観写真展の応募件数 (累計) 2,500 点(H28) → 3,862 点(H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 29 快適で親しみのある地域づくりの推進		あなたの判定	
市民が主体となって取り組む良好で身近な生活環境づくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・ポイ捨てなどの防止パトロールや監視カメラの貸し出しの実施 ・公園の美化活動を推進する公園愛護会への支援 など □成果の一例 ・不法投棄物の回収数 8.1 t (H28) → 7.5 t (H30) ・公園愛護会の団体数 68 団体 (H29) → 69 団体 (H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 30 自然共生社会の構築		あなたの判定	
市民の自然環境を大切にする意識を高め、人と自然が共生できる地域づくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・市民環境団体との協働による環境啓発イベントの開催 ・単独処理浄化槽^(※1) などから合併処理浄化槽^(※2) への転換に対する補助の実施 など □成果の一例 ・環境学習や啓発イベントへの参加者数 5,716 人 (H28) → 8,020 人 (H30) ・補助事業による合併処理浄化槽の設置基数 1,410 基 (H28) → 1,414 基 (H30) (※1) トイレの汚水のみを処理し、浄化する浄化槽 (※2) トイレの汚水だけでなく、台所、お風呂の雑排水も一緒に処理する浄化槽	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 31 低炭素・循環型社会の構築		あなたの判定	
限りある資源を有効に活用することにより、環境負荷の少ない持続可能な社会を構築します。 ■これまでの主な取組 ・市民向け省エネルギーセミナーの開催や、みどりのカーテン育て方教室の実施 ・燃やすごみのうち、せん定枝などの資源化の推進 など □成果の一例 ・省エネ推進講座などの参加人数 70 人 (H28) → 102 人 (H30) ・一般廃棄物の総ごみ排出量 31,939 t (H28) → 30,835 t (H30)	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 32 地域公共交通の充実		あなたの判定	
公共交通の利便性の向上により、安全・安心に移動できるまちづくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・公共交通事業者と連携した、公共交通の利用啓発や情報提供の実施 ・国やバス事業者との協調によるノンステップバス^(※1) 導入の促進 など □成果の一例 ・公共交通機関の利用促進に関する普及啓発活動などへの参加者数 未実施 (H29) → 200 人 (H30) ・ノンステップバスの導入台数 (累計) 10 台 (H29) → 12 台 (H30) (※1) 乗降ステップをなくし、高齢者や児童にも乗り降りが容易なバス	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 33 安全な交通環境の整備		あなたの判定	
歩行空間の改善や交通ルール遵守とマナー向上により、誰もが安全に移動できる環境づくりを推進します。 ■これまでの主な取組 ・通学路点検などに基づく歩道整備工事などの実施 ・小中学校などにおける、警察などと連携した交通安全教室の開催 など □成果の一例 ・歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長 3,670m(H28) → 6,546m(H30) ・安全点検などで把握した道路の危険箇所数 29箇所(H28) → 20箇所(H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 34 都市の機能を高める基盤施設の整備		あなたの判定	
広域幹線道路や市域の幹線道路、公共下水道の整備などにより、都市の機能向上と快適な生活環境の充実に図ります。 ■これまでの主な取組 ・都市計画道路田中笠窪線の整備推進や、新東名高速道路等の広域幹線道路の整備促進 (H31年3月 新東名 厚木南 IC～伊勢原 JCT 開通) ・公共下水道未整備地区の解消に向けた整備工事の実施 など □成果の一例 ・都市計画道路田中笠窪線整備事業の進捗率 44.3% (H28) → 63% (H30) ・公共下水道の整備率 (市街化区域内) 84.6% (H28) → 87.2% (H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 35 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		あなたの判定	
公共施設やインフラの適切な維持管理や有効活用により、公共施設を長期間にわたり安全・安心に利用できる環境をつくります。 ■これまでの主な取組 ・震災時の緊急輸送路などに位置付けられている橋りょうの修繕や耐震化の実施 ・大田公民館と大田ふれあいセンターとの機能統合や、公共施設使用料見直しの実施 など □成果の一例 ・修繕及び耐震化済みの橋りょう数 7橋 (H28) → 9橋 (H30) ・統廃合や機能集約を行った公共施設数 0施設 (H28) → 5施設 (H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない
施策 36 みんなで楽しめる公園づくりの推進		あなたの判定	
魅力ある公園づくりや公園の計画的な維持管理を推進することにより、多くの市民が集い、憩える場を形成します。 ■これまでの主な取組 ・総合運動公園の再整備に向けた実施設計の実施 ・スポーツ施設の更新や身近な公園の老朽化した遊具などの更新整備の実施 など □成果の一例 ・総合運動公園施設整備の実実施設計の実施 (H30) ・公園遊具の更新数 54基 (H29) → 64基 (H30)		満足度	1 満足である 2 やや満足である 3 あまり満足でない 4 満足でない
		重要度	1 重要である 2 やや重要である 3 あまり重要でない 4 重要でない

■ここからは、「自治力」に関する質問です。

施策 37 市民協働と地域コミュニティの活性化		あなたの判定	
自治会をはじめとする様々な主体が協働しながら、地域課題の解決に取り組む自律的なまちづくりを推進します。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・市民活動を支援する市民活動サポートセンターの運営 ・運営交付金や地域集会所修繕の補助などによる自治会活動への支援など □成果の一例 ・市民活動サポートセンターの年間利用者数 9,291 人 (H28) → 11,016 人 (H30) ・市民協働事業^(※1)の実施件数 18 件 (H28) → 19 件 (H30) (※1) 市民活動団体と市が、相互の提案に基づき、協力して実施する公益的な事業		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 38 市民に身近な市役所づくりの推進		あなたの判定	
市民誰もが必要とする情報を共有し、行政サービスを容易に利用することができる透明性の高い行政運営を推進します。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・広報いせはらや公式ホームページなどの充実に向けた取組 ・マイナポータル^(※1)による子育てワンストップサービスへの対応 など □成果の一例 ・市ホームページの掲載情報数 4,972 件 (H28) → 5,557 件 (H30) ・消費生活相談の件数 552 件 (H29) → 772 件 (H30) (※1) 子育てに関する手続きなどができる、政府が運営するオンラインサービス		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 39 健全で安定した財政運営の強化		あなたの判定	
財政健全化の推進により、将来にわたって持続可能な財政構造の構築を図ります。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・財政健全化の実現に向けた、事務事業や補助金の見直しなど、歳出の節減合理化の取組 ・債権差押を中心とした滞納処分の強化や、不動産や自動車などの差押財産の公売の推進 など □成果の一例 ・財政調整基金^(※1)の残高 12 億円 (H28) → 16.8 億円 (H30) ・市税徴収率 95.1% (H28) → 97.0% (H30) (※1) 年度間の財源の不均衡を調整するための自治体の積立金		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 40 市民に信頼される市政の推進		あなたの判定	
市の財源、組織、職員などの効果的な活用により、市民に必要な行政サービスを適切に提供します。		満足度	1 満足である
			2 やや満足である
			3 あまり満足でない
			4 満足でない
■これまでの主な取組 ・市役所職員の定員の適正な管理 ・様々な分野における課題解決を目的とした産業能率大学との連携・協力に関する包括協定の締結 など □成果の一例 ・職員数 666 人 (H29) → 661 人 (H30) ・事務事業の見直し件数 40 件 (H30)		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

Ⅲ 伊勢原に対する愛着や誇りなどについておうかがいします

現在、「いせはらシティプロモーション推進計画」に基づき、市民の皆さんが伊勢原に住むことに喜びを感じ、市外からも「訪れたい」「住みたい」と思っただけのよう、市民、関係機関が協力してシティプロモーション活動に取り組んでいます。

市民の皆さんの思い（現状値）を把握するため、以下の項目についてうかがいます。

以下の（１）から（８）の項目それぞれについて、あなたご自身はどのくらい感じていますか。
最高を１０点、最低を０点として、いずれかの数字を１つだけ選び、○で囲んでください。

（１）伊勢原に愛着を持っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（２）今後も伊勢原に住み続けたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（３）伊勢原のことを細部までよく知っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（４）伊勢原に誇りを持っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（５）伊勢原について自慢したいことがある

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（６）自分は伊勢原に貢献している

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（７）伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（８）伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Ⅳ 「しあわせ」実感についておうかがいします

市では、第5次総合計画の将来都市像に「しあわせ創造都市 いせはら」を掲げ、誰もが「しあわせ」を実感できる明るい未来を築いていくことをめざし、さまざまな取組を進めています。

そこで、「しあわせ」の実感について、今後の市政の参考とさせていただくため、ご意見をうかがいます。

1 現在、あなたは実感としてどの程度「しあわせ」ですか。

最高を10点、最低を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

「とても幸せ」 ←————→ 「とても不幸」

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 上記1を判断する上で、あなたが重視したことは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1 家族関係 | 2 友人関係 |
| 3 健康状態 | 4 所得・収入 |
| 5 就業状況（仕事の有無・安定） | 6 やりがいのある仕事 |
| 7 趣味などの生きがい | 8 地域とのつながり |
| 9 地位や名誉 | 10 良好な生活環境 |
| 11 自由な時間 | 12 その他（ ） |

Ⅴ 今後のまちづくりについておうかがいします

1 未来の伊勢原のまちを表す言葉（キャッチフレーズ）として、どのような言葉がふさわしいと思いますか。（○は5つまで）

- | | | | |
|----------|--------------------------------|---------|---------|
| 1 しあわせ | 2 笑顔 | 3 元気 | 4 夢 |
| 5 ふれあい | 6 やさしい | 7 絆 | 8 つながる |
| 9 交流 | 10 誇り | 11 未来 | 12 選ばれる |
| 13 歴史 | 14 文化 | 15 芸術 | 16 健康 |
| 17 教育 | 18 快適 | 19 環境 | 20 持続可能 |
| 21 国際 | 22 自然 | 23 みどり | 24 魅力 |
| 25 活力 | 26 輝く | 27 賑やか | 28 生き生き |
| 29 落ち着いた | 30 安らぐ | 31 安全 | 32 安心 |
| 33 協働 | 34 躍動 | 35 きらめく | 36 挑戦 |
| 37 豊か | 38 その他（ ） | | |

2 伊勢原市は今後どのようなまちを目指したらよいと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 産業（農林業、商業、工業など）が盛んで、活力があふれるまち
- 2 観光資源を生かし、交流が盛んな、にぎわいのあるまち
- 3 健康づくりや医療・福祉が充実した、誰もが暮らしやすいまち
- 4 安心して子どもを産み育てることができる、子育てのまち
- 5 自然と調和した、環境にやさしい、やすらぎのあるまち
- 6 防災・防犯対策が充実した、安全・安心に暮らせるまち
- 7 魅力ある教育を実現し、いつまでも学び生きがいを持てるまち
- 8 歴史を大切にし、文化活動が盛んな文化の香り高いまち
- 9 道路や下水道など、都市基盤が整備された、暮らしやすいまち
- 10 地域コミュニティや市民活動の盛んな、地域で支え合う自律的なまち
- 11 その他（ ）

VI 市政情報の入手方法などについておうかがいします

1 あなたは、日頃SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※SNSとは、インターネット上の交流を通して、社会的なつながりを構築するサービスをいいます。代表的なものとして、ツイッターやLINE、フェイスブックなどがあります。

2 あなたは、市からの情報を、主に何から得ていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 広報いせはら | 2 市公式ホームページ |
| 3 市公式ツイッター | 4 市公式フェイスブック |
| 5 新聞記事 | 6 タウン紙 |
| 7 コミュニティFM | 8 自治会回覧・掲示板 |
| 9 友人・知人 | 10 市の窓口・パンフレット・チラシ |
| 11 その他（ ） | |

3 あなたは、「広報いせはら」をどの程度読んでいますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎号よく読んでいる | 2 毎号ざっと目を通す |
| 3 ときどき読む | 4 ほとんど読まない |
| 5 全く読まない | |

4 あなたは、市のホームページをどの程度見ますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 ほぼ毎日みる | 2 よく見る（週に数回） |
| 3 たまに見る（月に数回） | 4 ほとんど見ない |
| 5 見たことがない | |

- 最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

調査項目は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

* この調査票を同封の返信用封筒に入れ、11月22日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

編集・発行／伊勢原市企画部経営企画課
〒259-1188
伊勢原市田中348番地
電話 0463-94-4845